

# 真庭市田園環境整備マスターplan

平成18年3月

岡山県 真庭市

# 目 次

<b>第1章 計画策定の概要</b>		
(1) 目的	• • • •	1
(2) 調査策定の基本的な考え方	• • • •	1
(3) 計画の性格	• • • •	1
(4) 計画範囲	• • • •	2
(5) 計画期間	• • • •	2
<b>第2章 地域の概要</b>		
(1) 位置	• • • •	3
(2) 地勢	• • • •	4
(3) 交通	• • • •	7
(4) 地域特性	• • • •	9
<b>第3章 自然環境調査</b>		
3-1 気象		10
3-1-(1) 気温	• • • •	10
3-1-(2) 降水量	• • • •	10
3-1-(3) 積雪量	• • • •	11
3-1-(4) 風向・風速	• • • •	11
3-2 地形・地質		12
3-2-(1) 地形図	• • • •	12
3-2-(2) 地質図	• • • •	15
3-2-(3) 土壌図	• • • •	15
3-3 水環境		19
3-3-(1) 水源・水量・水質状況	• • • •	19
3-3-(2) 河川・水路・湖沼等の分布状況	• • • •	20
3-3-(3) その他市が定めたもの	• • • •	29
3-4 植物		30
3-4-(1) 植物群落の種類と分布	• • • •	30
3-4-(2) 貴重な植物及び植物群落の分布状況	• • • •	34
3-4-(3) 身近な植物等、市が定めた植物	• • • •	39
3-4-(4) 昔の植物の生息状況	• • • •	44
3-5 動物		46
3-5-(1) 野生動物の生息状況	• • • •	46
3-5-(2) 貴重な動物の生息状況	• • • •	47
3-5-(3) 身近な動物等、市が定めた動物	• • • •	51
3-5-(4) 昔の動物の生息状況	• • • •	54
3-6 景観		60
3-6-(1) 地形上・土地利用上の景観特性	• • • •	60
3-6-(2) 集落景観	• • • •	62
3-6-(3) 代表的な景観	• • • •	63
3-6-(4) その他市が定めた景観	• • • •	65
3-6-(5) 昔の代表的な景観	• • • •	66
<b>第4章 社会環境調査</b>		
4-1 地域指定		
4-1-(1) 國際的な措置（ラムサール条約）	• • • •	67
4-1-(2) 国立公園等の指定地域	• • • •	67

4-1-(3) 県立公園等の指定地域	68
4-2 地域指標	
4-2-(1) 人口と世帯数	73
4-2-(2) 産業構造	75
4-2-(3) 農業の動向	76
4-3 観光レクリエーション	
4-3-(1) 主要な観光レクリエーション資源 施設の位置及び機能	83
4-4 土地利用	
4-4-(1) 現況土地利用	89
4-4-(2) 土地利用規制	92
4-4-(3) 土地利用状況の変遷	93
4-5 関連計画	
4-5-(1) 環境に関する上位計画、既存計画や 実施中事業の内容及び進捗状況等	94
4-6 歴史・文化財	
4-6-(1) 地域の歴史・文化	103
4-6-(2) 地域開発の歴史	106
4-6-(3) 文化財・史跡の位置及び概要	107
第5章 田園環境整備マスターplan作成検討事項	
5-1 現況と課題の整理（環境評価）	114
5-2 環境保全の基本的な考え方	116
5-3 地域の整備計画・関連上位計画の整理	118
5-4 環境保全対策の在り方	119
5-5 環境保全目標・基本方針の検討	120
第6章 添付図面	
田園環境整備マスターplanエリア図	1枚
田園環境整備マスターplanゾーニング図	1枚
土地利用計画図	9枚

# 第 1 章

## 計画策定の概要

## 第1章 計画策定の概要

### (1) 【目的】

農業農村整備事業においての、環境に対する国民の関心が高まってきている中で、また土地改良法の改正に伴い、農業農村整備事業においても各方面からの環境保全の要請に対応し、独自の総合的かつ効果的な環境保全対策を講じることが必要になってきている。

このため、よりよい農村環境を保全することにより、魅力的で持続的な農業を実現し、地域全体の環境特性を把握すると共に、地域住民の意見を踏まえながら、将来的に望ましい地域全体の環境整備のあり方及び環境保全に対する基本的な考え方を明らかにする。またこれを踏まえ、地域の環境整備に関わる農業農村整備事業における基本的な対応策等を示すことを目的とする。

### (2) 【計画策定の基本的な考え方】

農業農村整備事業については、従来から環境に配慮して事業を実施してきたところであるが、環境に対する関心が高まる中で、平成11年（1999年）7月に施行された「食料・農業・農村基本法」の中で農業生産の基盤の整備において「環境との調和に配慮」した施策を講ずることと位置づけられた。さらに、今回改訂された「土地改良法」においても「環境との調和への配慮」が農業農村整備事業の基本原則に位置づけられ、全ての農業農村整備事業で実現し、農地、水路、集落が有機的なつながりを有する農村地域において、食料の安定供給とともに自然と共生する田園環境を創造してゆくため、田園環境整備マスターplanを策定し、これに即して「自然と共生する環境創造型事業」を展開していくものである。

### (3) 【計画の性格】

この計画は平成13年(2001年) 6月29日公布された改正土地改良法の趣旨を具体化するための計画で、市で作成する構想である。

(4) 【計画の範囲】

この計画の範囲は、当時における農業振興地域の整備に関する法律（昭和47年）  
第6条第1項の規程に基づき指定された農業振興地域、及び農業振興地域外である  
が生態系統性や農道・水路等土地改良施設の一体性・連続性から考えてマスター  
プランに取り込むべき農地山林等区域

(5) 【計画の期間】

この計画の策定後、5年以内を目途に「農村環境計画」に移行して行くものと  
する。

※「農村環境計画」・・・・第5章の3- (2) 参照

## 第 2 章

### 地 域 の 概 要

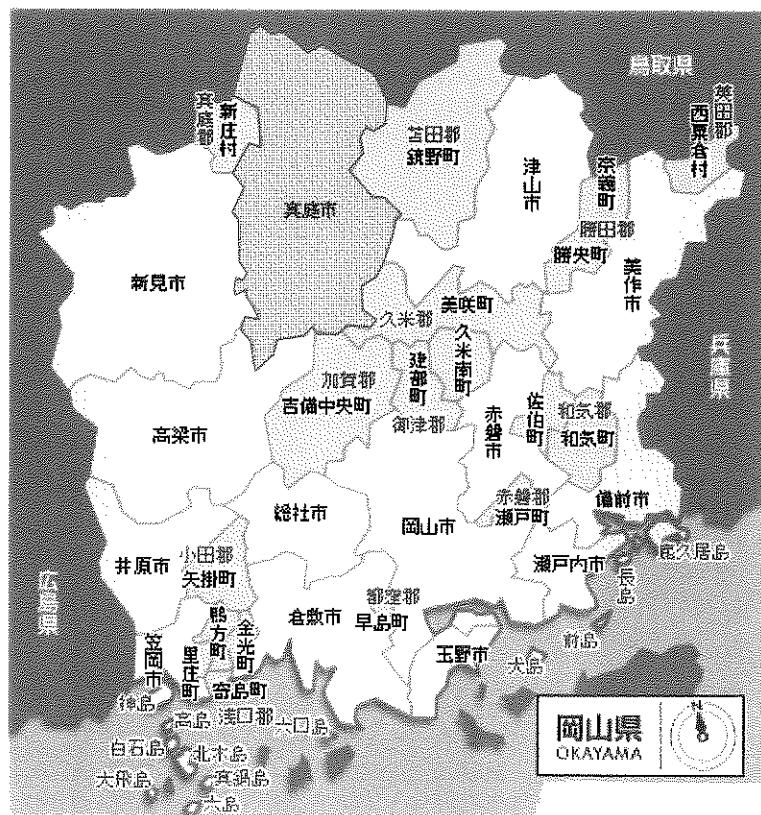
第2章 地域の概要

### (1) 【位置】

本地域は岡山県の北部に位置し、東は津山市、鏡野町、美咲町、西は新見市新庄村、南は高梁市、吉備中央町、北は鳥取県倉吉市、東伯郡三朝町、日野郡江府町と境を接しており、総面積は県全体の約12%を占め県下の自治体の中で現在最大である。

また、市域の中央に瀬戸内海に注ぐ県下三大河川のひとつ一級河川旭川源流が流下している。

県内位置図



## 第2 地域の概要

### (2) 【地勢】

#### ○北房地域

市の南西部に位置し、南は高梁市、西は新見市に接している。地勢は、吉備高原の北部に位置し、標高450～650mの低山地が北部、南部に広がり中央部を横断する備中川に向けて緩やかに傾斜し、その周囲を耕地が点在している。

#### ○落合地域

市の南部に位置し、南は加賀郡吉備中央町、東は久米郡美咲町に接している。地勢は、周囲を中国山地の標高450～650mの低山地に囲まれ、中央部を流下する旭川及び各支流に向けて緩やかに傾斜し、その周辺を小規模盆地が点在している。

#### ○久世地域

市の中東部に位置し、東は若田郡鏡野町に接している。地勢は、北部を中国山地の標高400～900mの山々が連山し、南部を流下する旭川に向けて傾斜しつつ、その周辺を久世盆地、目木盆地が形成されている。

#### ○勝山地域

市の中西部に位置し、西は新見市に接している。地勢は、周囲を中国山地の標高500～900mの山々に囲まれ、地域内を北～南に流れる旭川に流れ込む新庄川が西～東に向けて傾斜し、その周辺に小規模な耕地が点在している。

#### ○湯原地域

市の中北部に位置し、東は若田郡鏡野町、西は真庭郡新庄村に接している。地勢は、周囲を中国山地の標高700～1,000mの山並みに囲まれ、中央部を流下する旭川に向けて傾斜し、その周辺に耕地が点在している。

#### ○美甘地域

市の北西部に位置し、西は真庭郡新庄村、南西は新見市に接している。地勢は、南北に中国山地の標高650～1,100mが連山し、中央部を流れる新庄川に向けて傾斜しつつ河川沿いに耕地が点在している。

## ○中和地域

市の北東部に位置し、東に苦田郡鏡野町、北に県境を隔てて鳥取県三朝町が隣接している。地勢は、南東部に位置する湯原奥津県立自然公園に連なる津黒山(1,118m)、山乗山(1,048m)、白髪山(1,117m)、入道山(1,040m)の山々が北西に向けて傾斜し、北部の山地は、比較的に緩やかに傾斜し、中央を流れる初和川沿いに平坦地が点在している。

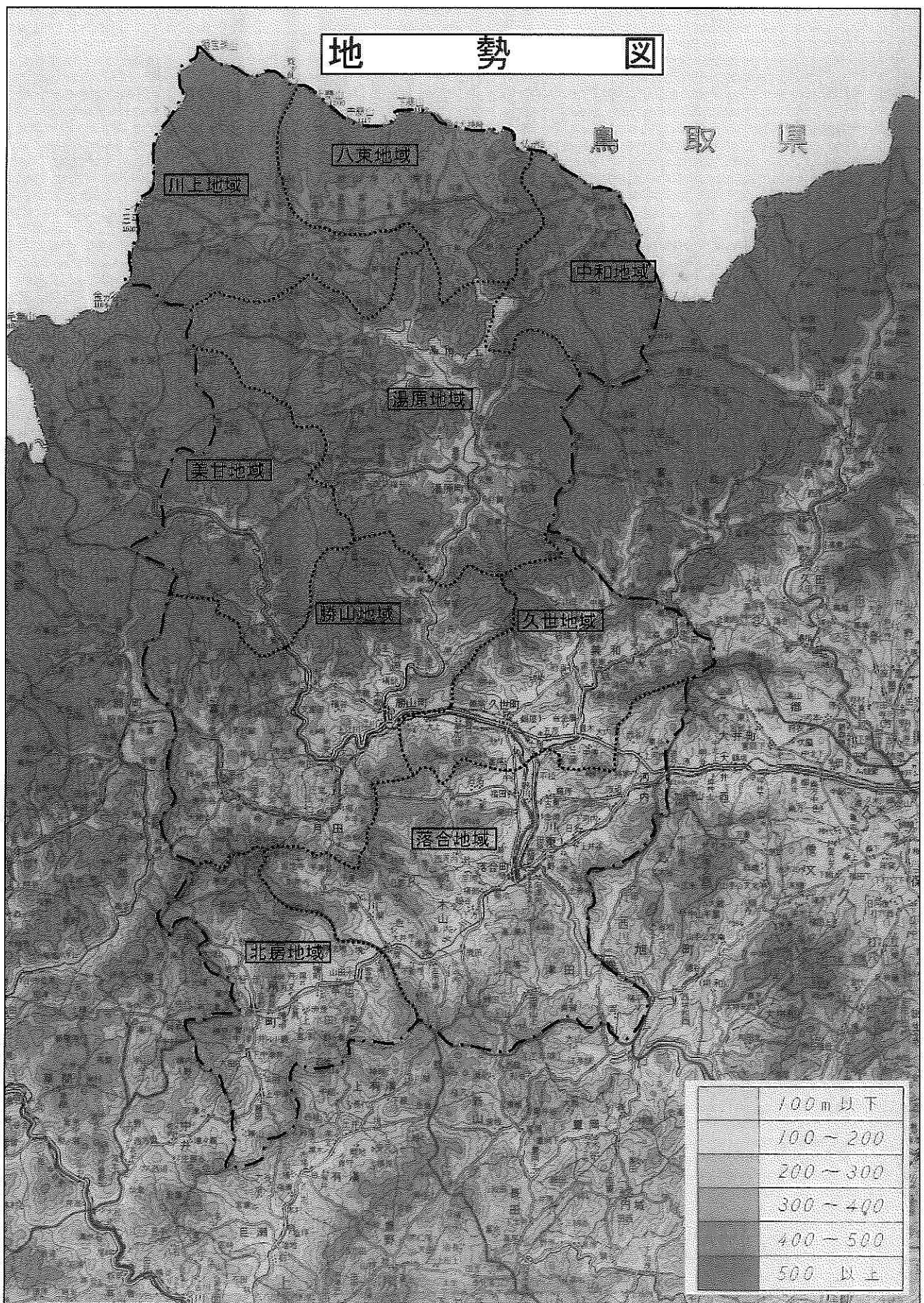
## ○八東地域

市の北部に位置し、県境を隔てて北に鳥取県倉吉市が隣接している。地勢は、大山隠岐国立公園からなる蒜山三座(上蒜山、中蒜山、下蒜山)が北部に連山し南方に緩やかに傾斜しつつ蒜山高原を形成している。

## ○川上地域

市の北部に位置し、県境を隔てて北に鳥取県倉吉市、北西に江府町に接している。地勢は、北部に展開する大山隠岐国立公園の山岳地帯(1,000m級)に囲まれつつ、南向に傾斜し、高原状の盆地を形成している。

# 地勢圖



## 第2 地域の概要

### (3) 【交通】

江戸時代末から大正時代にかけて、旭川を一週間程度で往復する高瀬舟が岡山など瀬戸内の物資と中国山地の物資の輸送の中心的役割を果たしたが、大正期になって鉄道の開通により、高瀬舟は衰退の一途を辿った。現在はモータリゼーションの時代であり、昭和50年開通の中国自動車道、平成4年米子自動車道、平成8年岡山自動車道の開通により市内に北房IC、落合IC、久世IC、湯原IC、蒜山ICが建設され飛躍が期待されています。

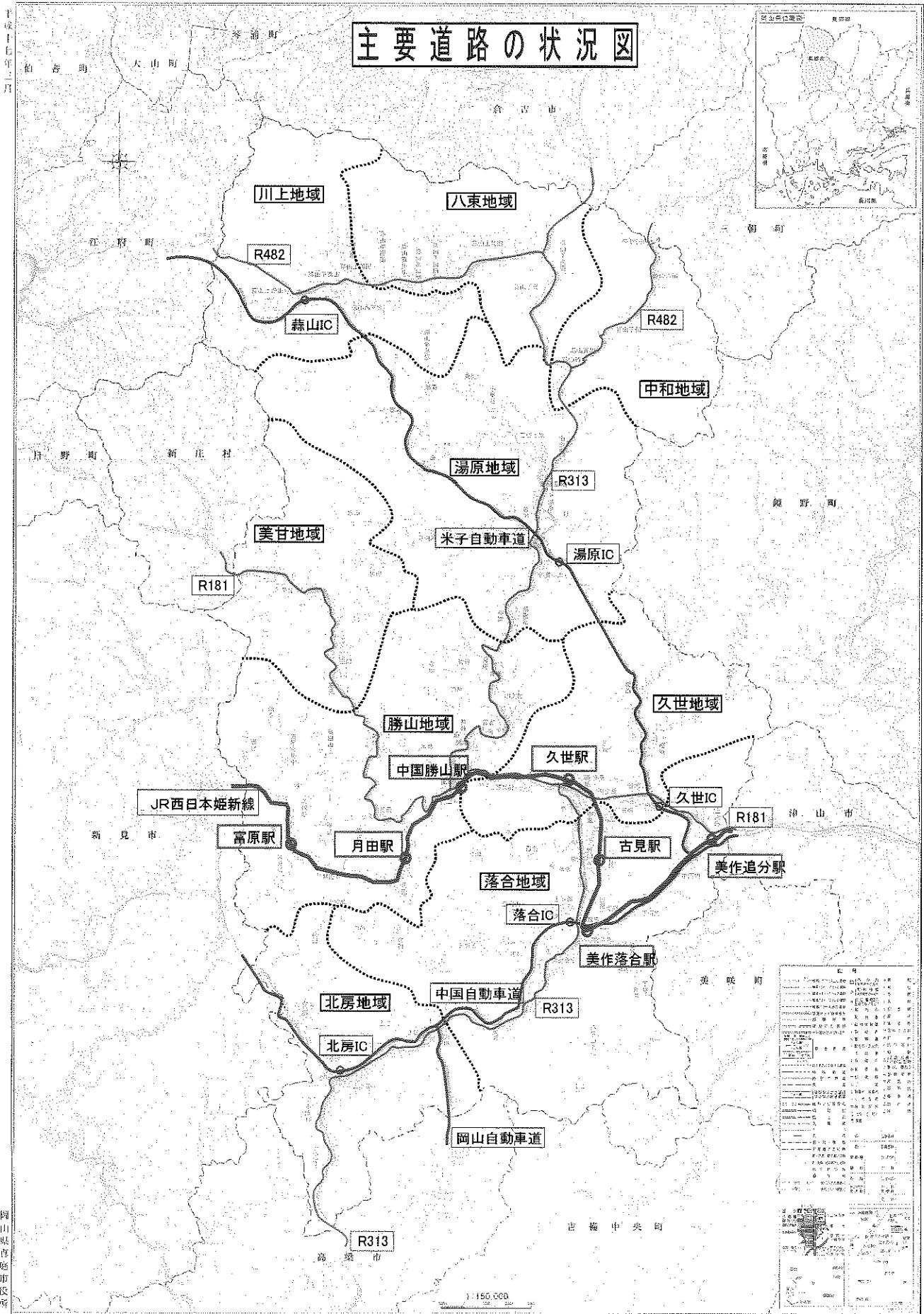
また、国道181号、313号、482号及び県道42路線を基幹道路とした道路網が生活、産業の基盤となっています。しかしながら、地形上、未整備路線も多く高速道路へのアクセスや、地域内外を結ぶ道路ネットワークの形成などが不十分な地域もみられます。

さらに、市道の改良率は以下のように低く、まだまだ未整備路線も多くあり、公共施設または基幹道路へのアクセスが不十分な地域もみられます。集落内においては緊急車両の通行が困難な道路もあり、地域住民の生活道路として、快適な道路環境づくりを進めいく必要があります。

#### 主要道路の整備状況

区分	実延長 (m)	実延長のうち (m)		改良率 (%)	舗装率 (%)	備考
		改良済延長	舗装済延長			
高速道						
中国自動車道	28,500	28,500	28,500	100.0	100.0	
岡山自動車道	4,100					
米子自動車道	39,300					
国 道						
一般国道	124,822	124,822	124,822	100.0	100.0	3路線
県 道						
主要地方道	104,066	94,142	104,066	90.5	100.0	
一般県道	198,972	159,753	197,952	80.3	99.5	
市 道						
1級市道	159,934	135,249	156,021	84.6	97.6	94路線
2級市道	178,487	120,925	168,936	67.8	94.6	118路線
その他市道	809,559	351,233	665,630	43.4	82.2	1,587路線

資料・・・真庭市維持管理課（平成17年3月31日現在）



## 第2 地域の概要

### (4) 【地域特性】

地 域 名	農業地域類型区分		農業振興地域		農業整備計画策定期		市 計 画 区 域 指 定 年	都 市 計 画 区 域 指 定 年	振 興 山 村 地 域 指 定 年	特 定 農 山 村 地 域 指 定 年	豪 雪 地 帶 指 定 年	過 疎 地 域 指 定 年	過 辺 地 地 城 指 定 年	自然 公 園 區 域 指 定 年	自然 環 境 保 全 地 域 指 定 年	酪 肉 生 產 近 代 化 計 畫 認 定 年	野 菜 指 定 產 地	果 樹 廣 域 農 業 濃 密 生 產 振 興 團 地 (一) 画	年 品 目
	地 域 指 定 年 月 日	地 域 指 定 年 月 日	整 備 計 画 策 定期	整 備 計 画 策 定期															
○北房地域	中	46. 8. 17	48. 7. 26	47 (吉備高原)			12	5		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	58	48	13	○	(49) もも, ぶどう, (2) なし
○落合地域	中	45. 8. 28	47. 6. 2	53 (真庭)	34	45	12	5		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	13	13	○	(2) もも, ぶどう, なし, かき	
○久世地域	山	47. 9. 1	49. 3. 30	53 (真庭)	23	44	12	5		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	13	13	○	(2) もも, ぶどう, なし, かき	
○勝山地域	山	47. 9. 1	49. 3. 30	53 (真庭)	32	42	12	5		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	45	13	○	(2) もも, ぶどう, なし, かき	
○湯原地域	山	46. 8. 17	48. 11. 27	53 (真庭)	46	45	12	5		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	45	13	○		
○美甘地域	山	46. 8. 17	49. 3. 30	53 (真庭)		40	12	5		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	54	13	○		
○中和地域	山	46. 8. 17	47. 6. 2	53 (真庭)		44	12	5		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	45	13	○		
○八束地域	中	45. 3. 31	47. 8. 28	53 (真庭)			12			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	38	13	○		
○川上地域	中	45. 8. 28	46. 11. 4	53 (真庭)			12	5		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	38	13	○		

\*平成17年度岡山県農林水産部農業農村整備事業の概要より

## 第 3 章

### 自然環境調査

### 第3-1 気象

#### (1) 【気温】

#### (2) 【降水量】

#### (3) 【積雪量】

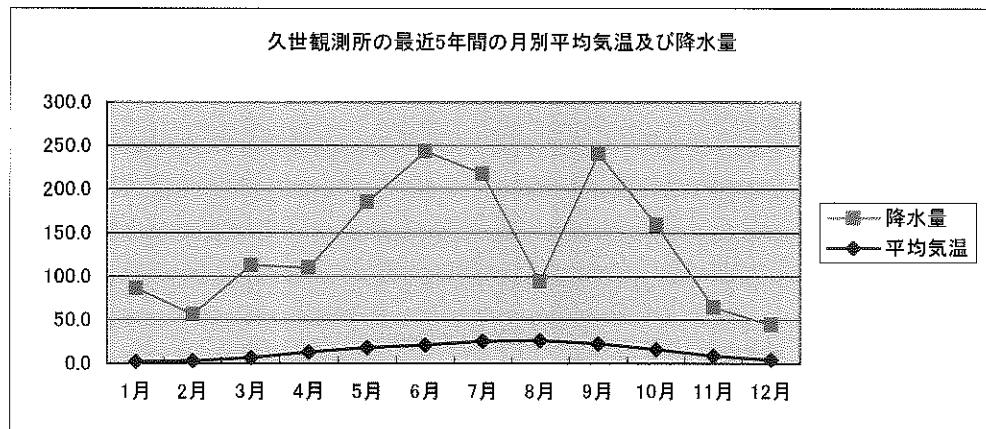
気象については、南北に長大で標高差が大きい地域特性から、北部は、積雪寒冷地帯及び豪雪地帯に属する一方、南部は、温暖少雨の内陸性気候となっています。

久世観測所のある南部では、平均気温は14.1℃で年間の降水量は1,400mm程度であり、降雪は北部山地帯を除いて積雪は少ない。また、上長田観測所の北部においては、平均気温は11.8℃で年間降水量は2,000mmに達し、降雪は多く根雪の状態で最大積雪量は1.5mに達する。

久世観測所（平成10年～平成14年平均値）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均気温	2.3	2.9	6.9	12.9	18.1	21.6	25.9	26.4	22.5	16.0	8.8	4.3	14.1
降水量	84.4	53.6	105.8	97.0	167.2	221.6	192.0	67.6	217.8	143.2	56.0	40.6	120.6

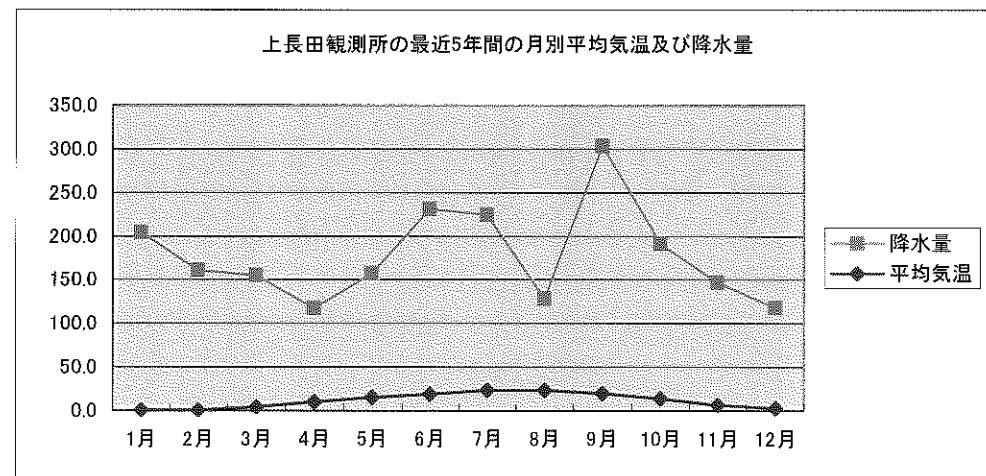
参考資料：岡山県の統計年報H12～H16年刊



上長田観測所（平成10年～平成14年平均値）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均気温	0.7	0.5	4.6	10.6	15.4	18.9	23.5	23.7	19.9	13.7	6.9	2.7	11.8
降水量	204.2	161.0	151.0	107.2	142.4	212.2	201.0	104.6	283.4	177.6	140.4	116.0	166.8

参考資料：岡山県の統計年報H12～H16年刊



#### (4) 【風向・風速】

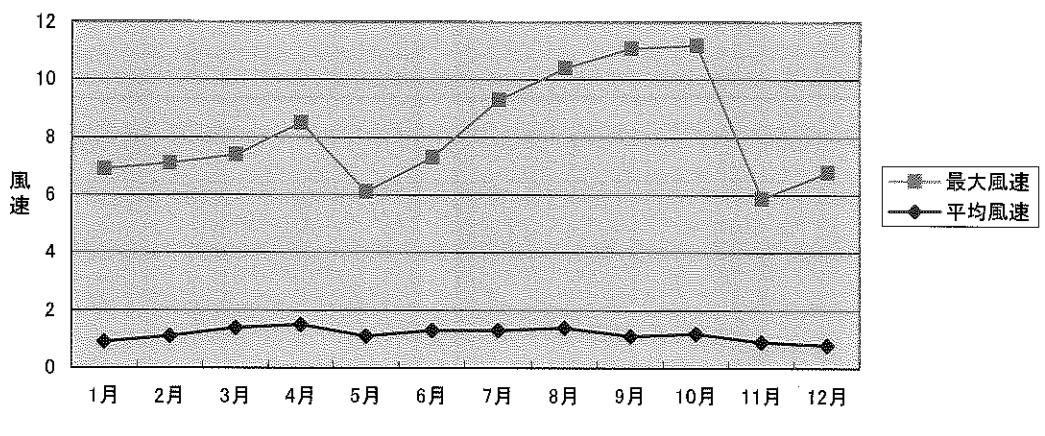
本市の気象条件は南部地域と北部地域で大きく異なる。

よって、久世観測所のある南部と上長田観測所の北部の気象観測データをまとめた。

久世観測所

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均風速	0.9	1.1	1.4	1.5	1.1	1.3	1.3	1.4	1.1	1.2	0.9	0.8	1.2
最大風速	6	6	6	7	5	6	8	9	10	10	5	6	10
最大風向	WNW	WNW	NNW	WNW	NW	WNW	S	ESE	ESE	NNW	NW	WNW	NNW
最多風向	WNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW

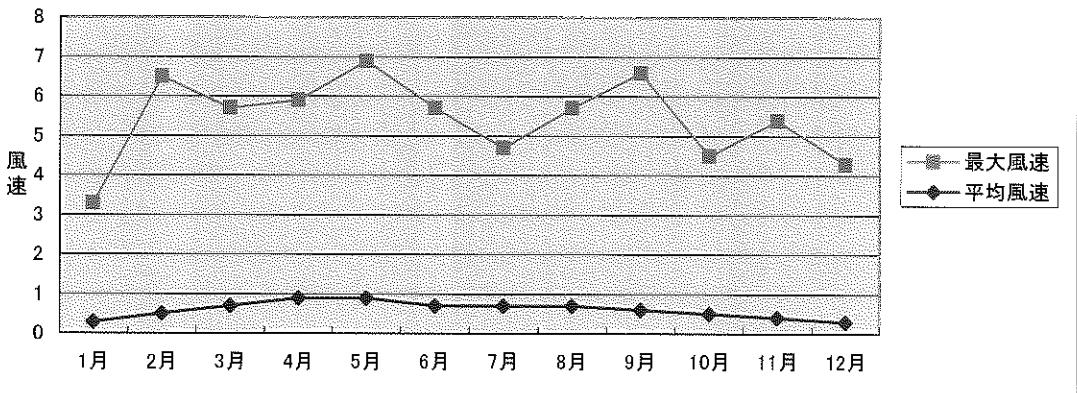
久世観測所の2004年月別平均風速及び最大風速



上長田観測所

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均風速	0.3	0.5	0.7	0.9	0.9	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.6
最大風速	3	6	5	5	6	5	4	5	6	4	5	4	6
最大風向	S	S	S	S	E	S	E	S	SSW	NNE	SSW	S	SSW
最多風向	SSW	SSW	ENE	S	S	S	S	S	S	NE	S	S	S

上長田観測所の2004年月別平均風速及び最大風速



# 第 3 章

## 自然環境調査

## 第3-2 地形・地質

### (1) 【地形条件】

南部は吉備高原に属し、北部は中国山地を形成している。北部県境には蒜山高原・津黒高原などの広大な高原地帯がある。

#### ○北房地域

旭川の支流である備中川が最北端阿口地区から南流し、最南端の上中津井地区から北流し上水田地区で合流、東流し旭川に注いでいる。標高は平坦地で140～300m程度である。

#### ○落合地域

中央部に県下三大河川の一つの旭川が南流し、地域内を東流する備中川、西流する河内川がこれに合流する。平坦地はそれぞれの河川沿いに標高115～140mで形成されている。

#### ○久世地域

地域の北部は500～600m級の山々に囲まれた山間地であり、この中を余川、目川が途中で合流し南西部を流れる旭川に合流している。

旭川周辺の久世盆地（標高145m）と目木盆地（標高150m前後）で形成されている。

#### ○勝山地域

標高150m～500mで中国山地を発端として東部を流れて瀬戸内海に注ぐ旭川、中央部を北から南に流れる新庄川、西部を北西から南東に流れ新庄川に注ぐ月田川がある。この川沿いに平坦地を有し、諸峰が起伏する山林地帯で急峻である。

#### ○湯原地域

中国山地の中奥部の標高1,000m級の山に囲まれた山岳地帯で、地域のほぼ中央部を旭川が南流し、その中上部には多目的ダムの湯原ダムが設置されている。

標高は平坦地で350m、平均500mである。平坦地は旭川沿いに拓けている。

### ○美甘地域

旭川の支流新庄川が山間を縫って、地域の西南部を蛇流しておりその流域に極小面積の平野部が拓けているのみである。標高は平坦地で350～450mが点在している。

### ○中和地域

標高は400～500mで、中・北部は比較的平坦な丘陵状であり、耕地も開けているが、南部は急峻な山々に囲まれた山岳地形をなしている。

### ○八束地域

大山隠岐国立公園の一角を形成する蒜山三座の南に開けた標高500～600mの高原部、400～500mの平地部に大別される。

### ○川上地域

地形は、中国山脈を形成する1,000m級の山々の山麓になだらかに広がる広大な高原と旭川とその支流により形成された平地部に大別される。

# 地形圖

辛亥十七年三月

This figure is a topographic map of the northern part of the Kii Peninsula, specifically the area around Gifu Prefecture and parts of Mie and Wakayama prefectures. The map shows several regions outlined by dotted lines:

- 川土地域 (Kawa nochi no chiiki)
- 八束地域 (Yasaka no chiiki)
- 中和地域 (Chūwa no chiiki)
- 湯原地域 (Yūra no chiiki)
- 美甘地域 (Mikuni no chiiki)
- 勝山地域 (Katsuyama no chiiki)
- 久世地域 (Kurose no chiiki)
- 落合地域 (Ochiai no chiiki)
- 北房地域 (Kōfō no chiiki)

The map also includes labels for various towns and cities such as Gifu City, Gifu Central Town, Gifu, Ise City, Ise, Matsusaka City, Matsusaka, and Toba City. A scale bar indicates 1:150,000.

## (2) 【地質及び土壤】

地質及び土壤は、地域ごとに分類する。

### ○北房地域

地質は、上部古生層、中生層、第3期層で、大部分は石灰岩を母岩とし、壤土及び砂壤土であり、河川沿いの平坦部は沖積層で肥沃地が多い。

### ○落合地域

地質は、そのほとんどが古成層からなり、中心市街地西部には一部砂、礫の分布が見られる。地質母岩は上部古生（准片岩等）であるが、第3期層（砂岩等）、中世期（花崗斑岩）、第4期層（砂礫層）でしめられている。土壤は埴壤、壤土、砂礫が主である。

### ○久世地域

地質は、黒色又は緑色片岩50%、粘板岩20%で後は花崗岩、花崗片岩などである。土壤は埴壤、壤土、砂礫が主である。

### ○勝山地域

北部は、基盤が火成岩で、中部、南部は堆積岩が変化してできた变成岩帯となり、土壤はこれらが風化した壤土及び火山灰土（黒土）による埴壤土である。

### ○湯原地域

地質は、基盤が花崗岩類で大半を占め、土壤はこれらが風化した壤土及び火山灰土（黒土）による埴壤土である。

### ○美甘地域

地質は、基盤が花崗岩で全体の60%を占め、安山岩、古成層の準片岩、蛇文岩地帯が分布し、これらの風化により形成された壤土砂壤土が主体をなしている。

### ○中和地域

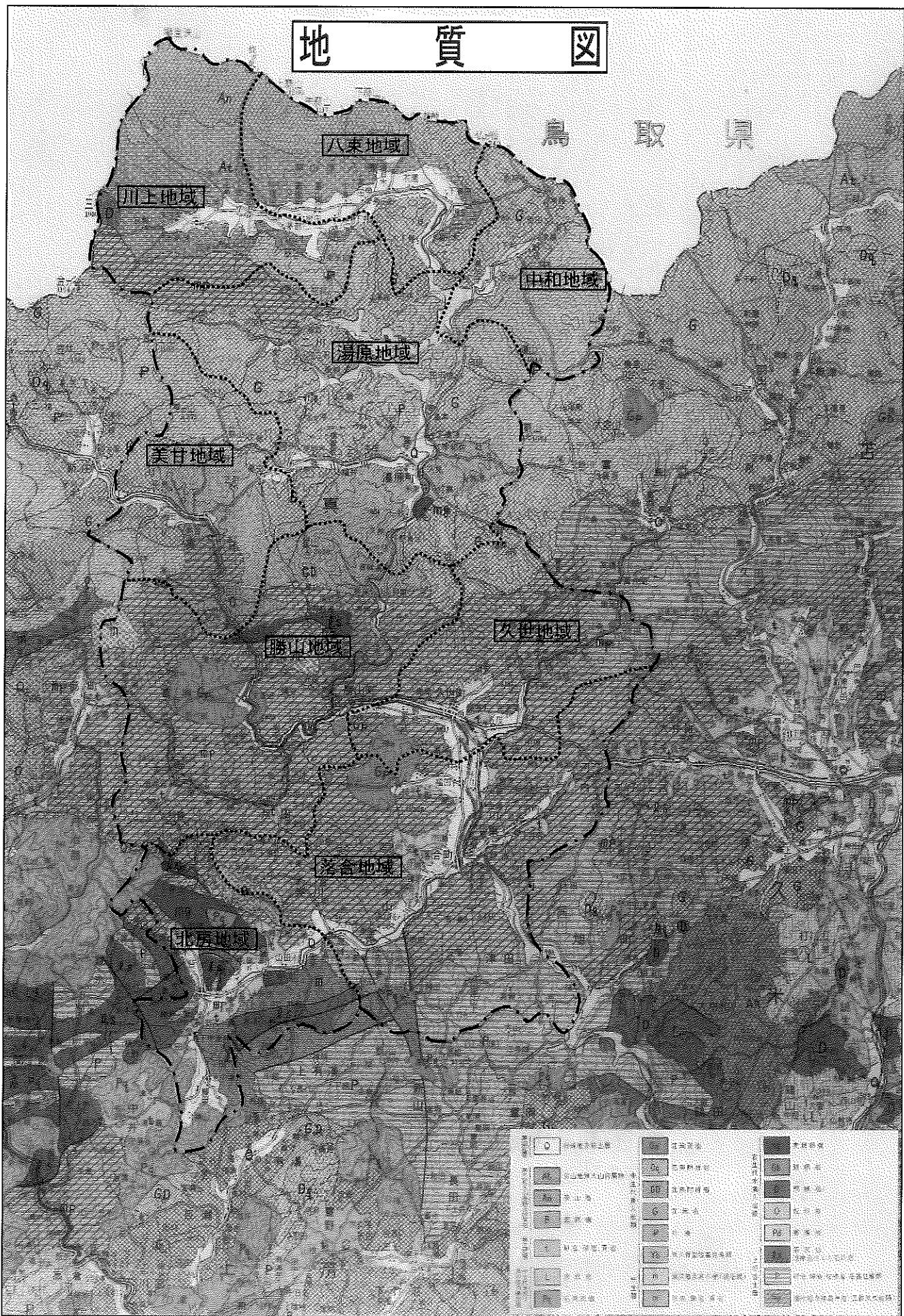
中、北部は、基盤は花崗岩で、この上を火山灰土で覆われた埴質黒ボコ土が分布しているが、南部は、安山岩類を母岩とする礫混じり壤土である。

### ○八束地域

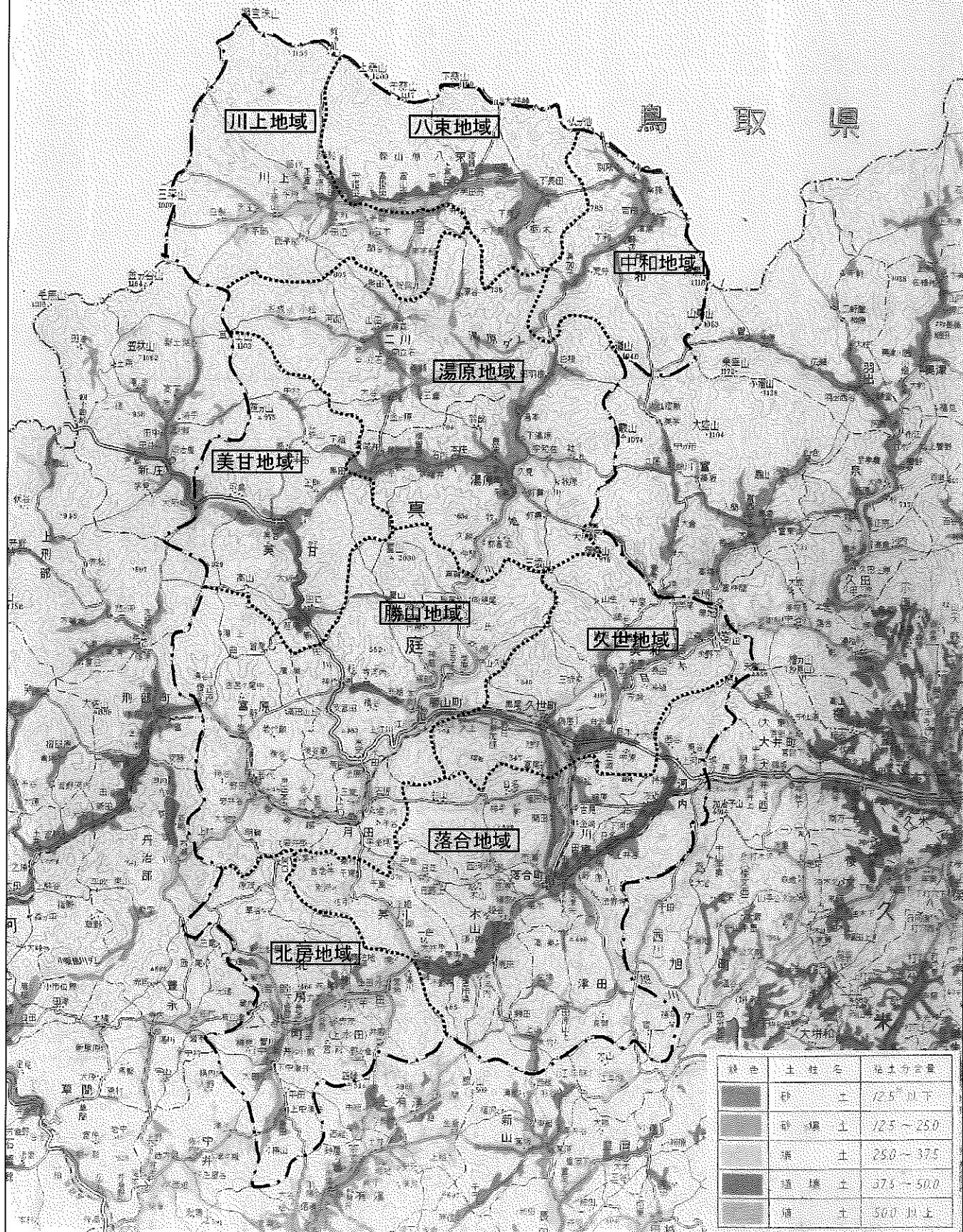
地質は、基盤を安山岩、花崗岩、これらの洪積層からなり、表土は火山灰土（黒土）で覆われた埴壤土である。

### ○川上地域

地質は、基盤が安山岩、花崗岩及びこれらからなる洪積層であり、表土は火山灰土（黒土）に覆われた埴壤土である。



# 土性図



### 第3-3 水環境

#### (1) 【水源・水量・水質状況】

中国山地に源流を発し、岡山県のほぼ中央を縦断する旭川。

この旭川の上流にある当真庭市は深い森林に覆われ、蒜山などの原生的なブナ林や、中山間部に広がる里山林など多様性に富んでいる。

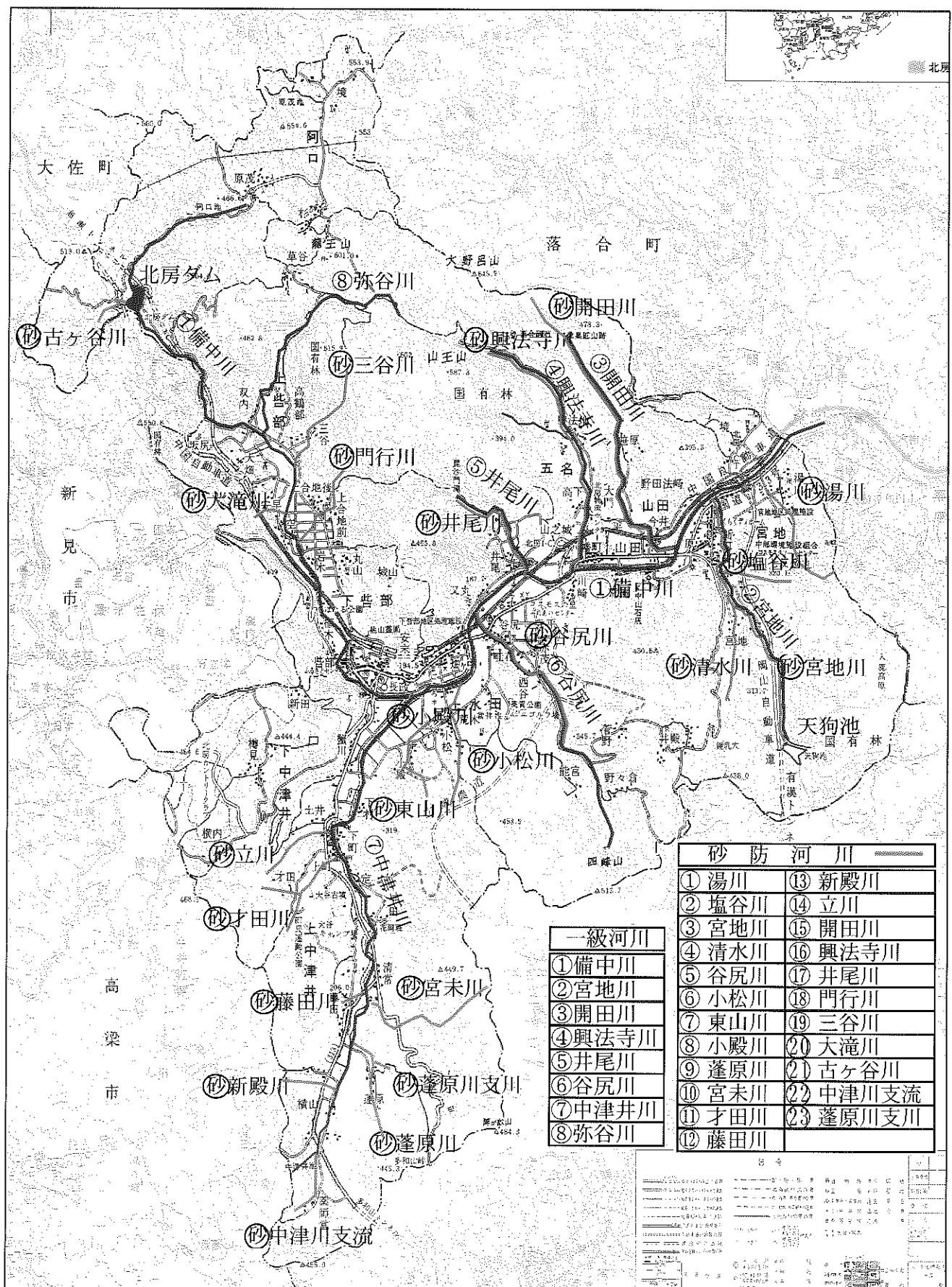
その蒜山三座の真ん中、中蒜山（標高1,122m）の裾の谷間から湧き出している冷泉がある。これが塩釜冷泉で、池の中には、ふたの無い巻貝モノアラカイや寒冷に育つキクラゲ様の珍しい藻類も生育しています。昭和60年には名水百選（環境庁）に認定され、地元塩釜奉賛会が中心となって管理しており、付近の約600世帯が生活用水として利用しています。

湧水は、東西12m、南北5mで面積約60m<sup>2</sup>のひょうたん池を形成し、最深部は1.9m、湧水量は毎秒300リットル、水温は年中10℃前後で変わりません。

湯原地域以北には国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ、また、湯原地域には天然記念物のカジカガエルの生息地がある。さらに南部の北房地域では備中川のゲンジボタル（環境省全国ふるさと生きものの里百選「ほくぼうホタルの里」）、ヒメボタルの光が金色に輝き、神秘的な光景が地域住民の保護活動により毎年見られるようになった。

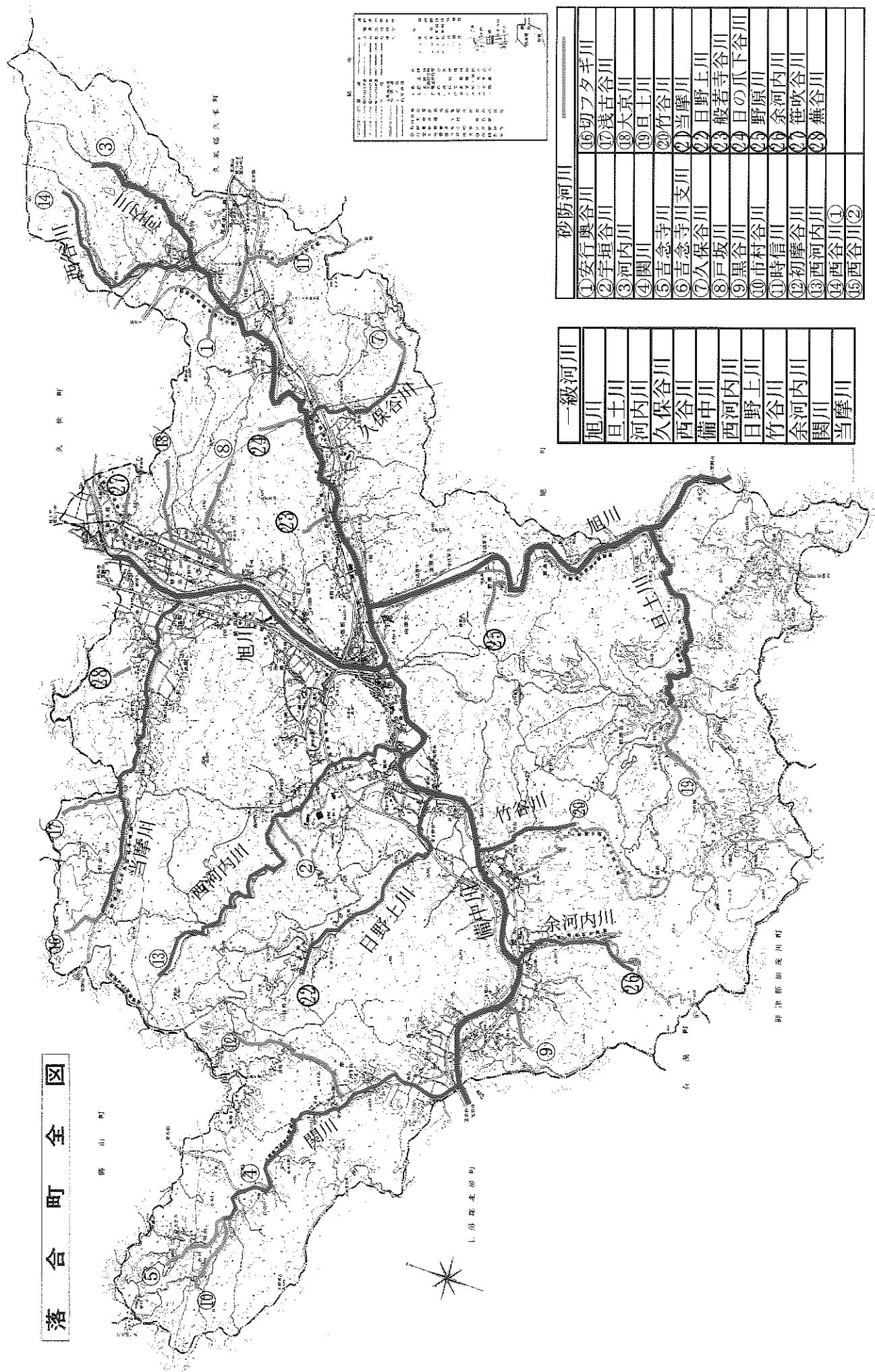
### 第3-3 水環境

#### (2) 【河川の分布状況】 北房地区

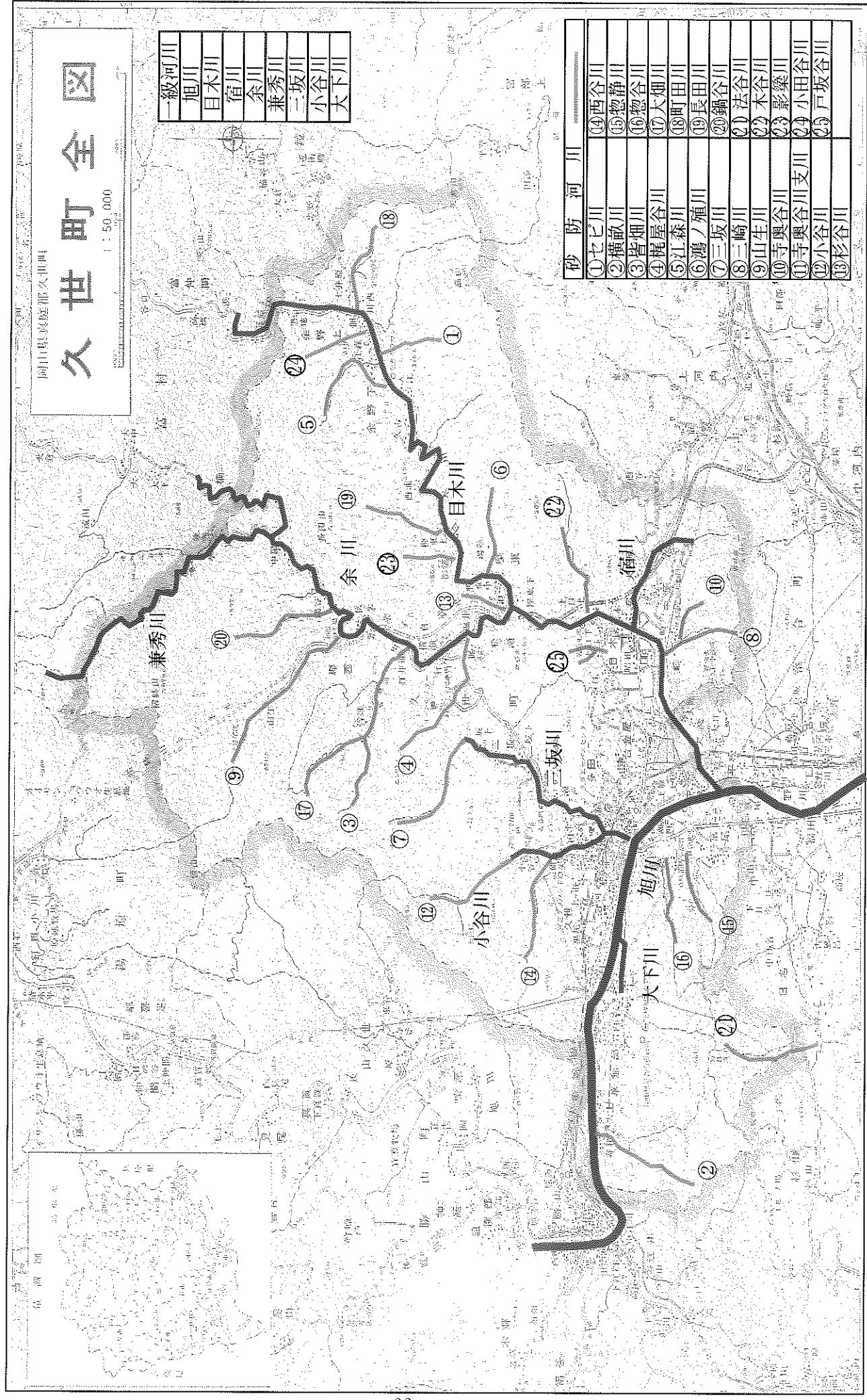


## (2) 【河川の分布状況】 落合地区

卷之三

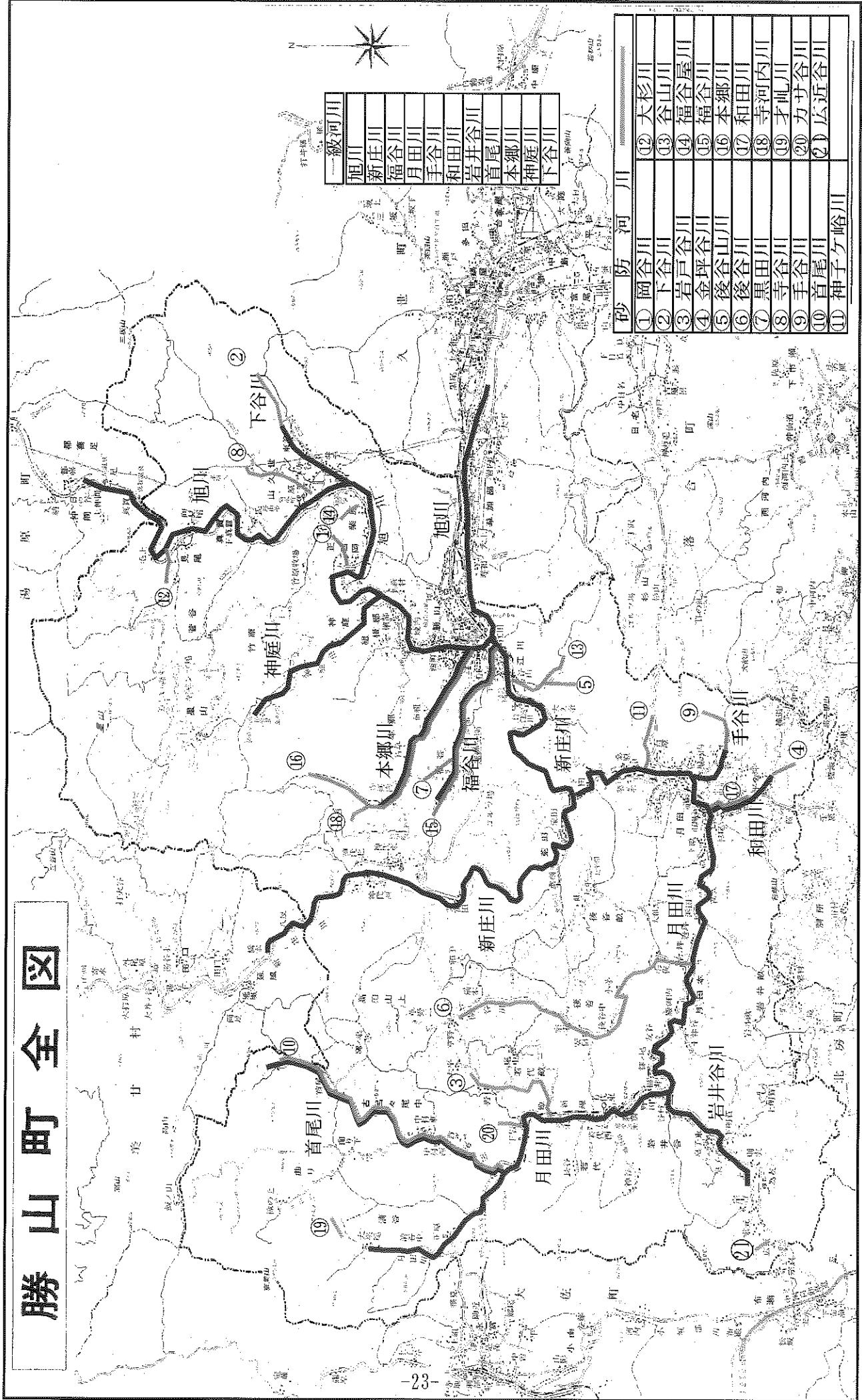


## (2) 【河川の分布状況】久世地区

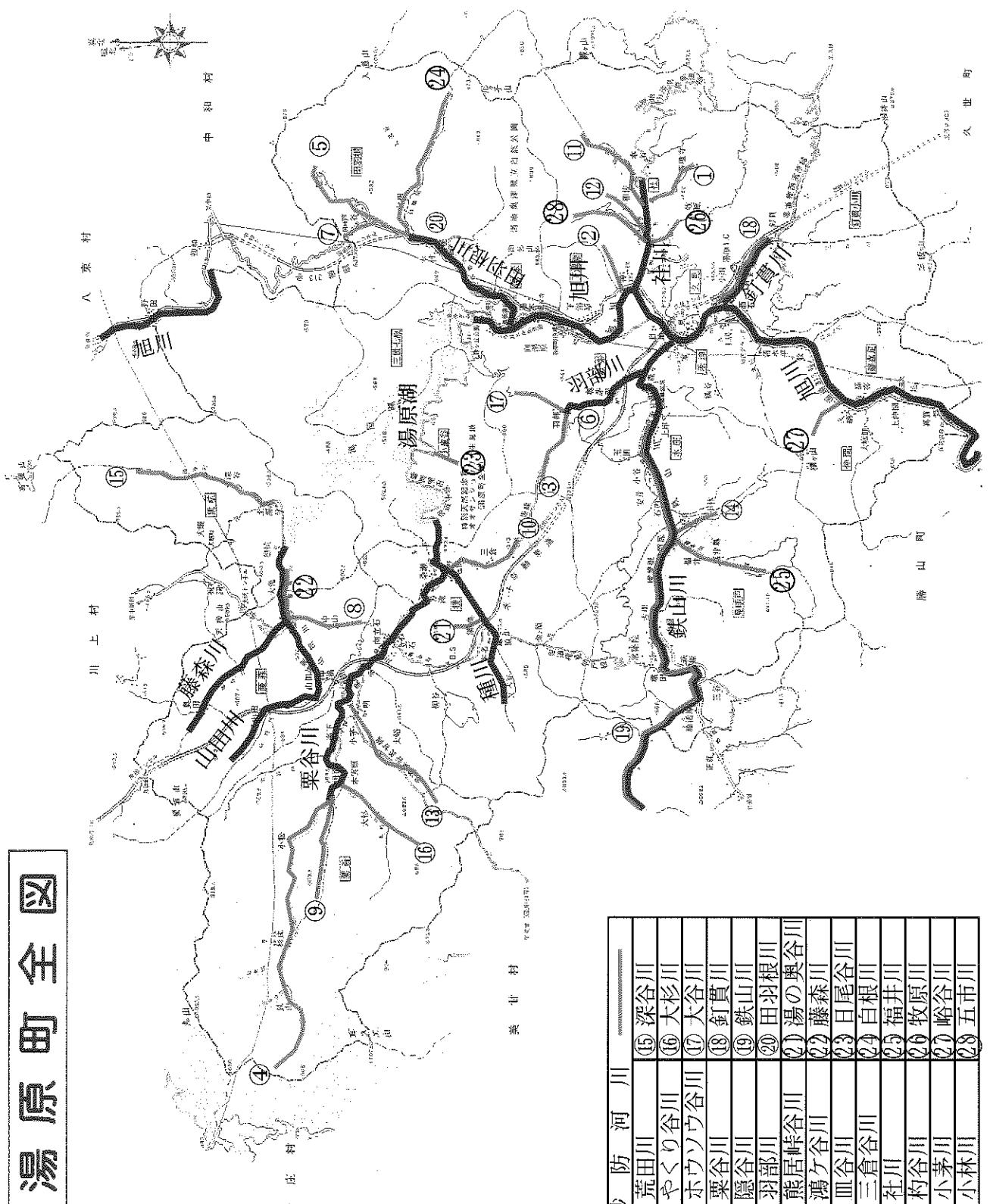


## (2) 【河川の分布状況】 勝山地区

# 勝山町全圖

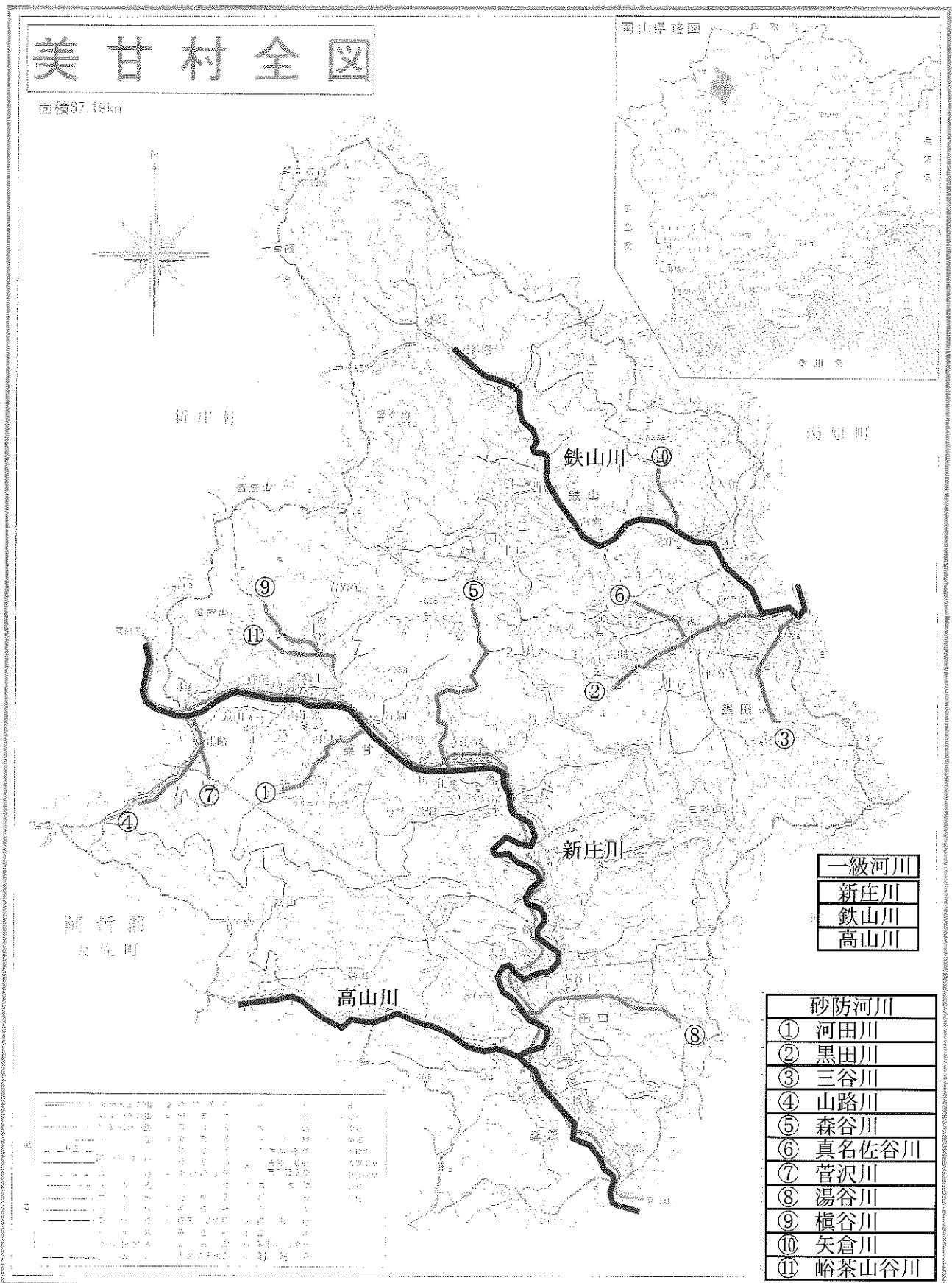


## (2) [河川の分布状況] 湯原地区

**湯原町全図**

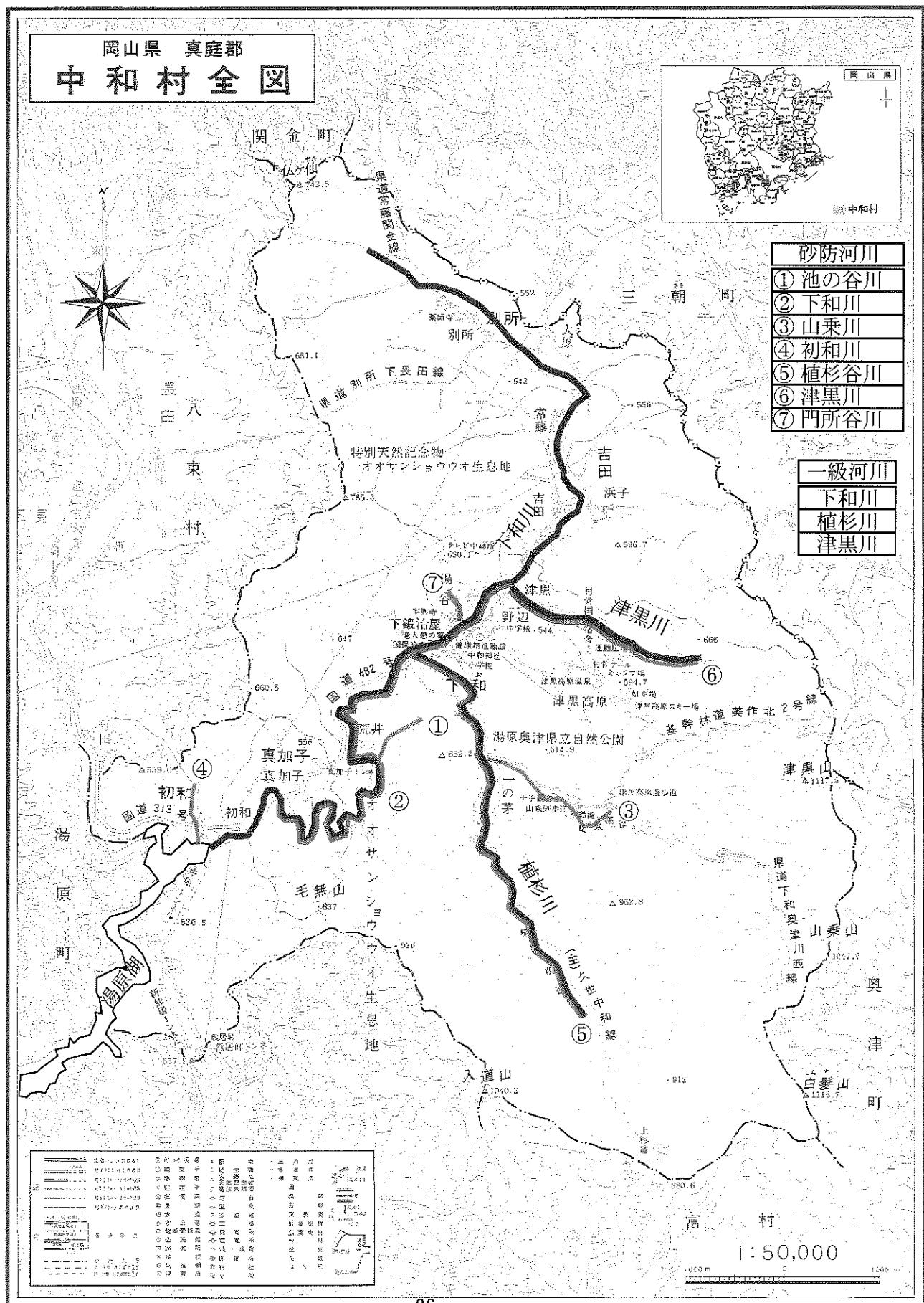
### 第3-3 水環境

#### (2) 【河川の分布状況】 美甘地区



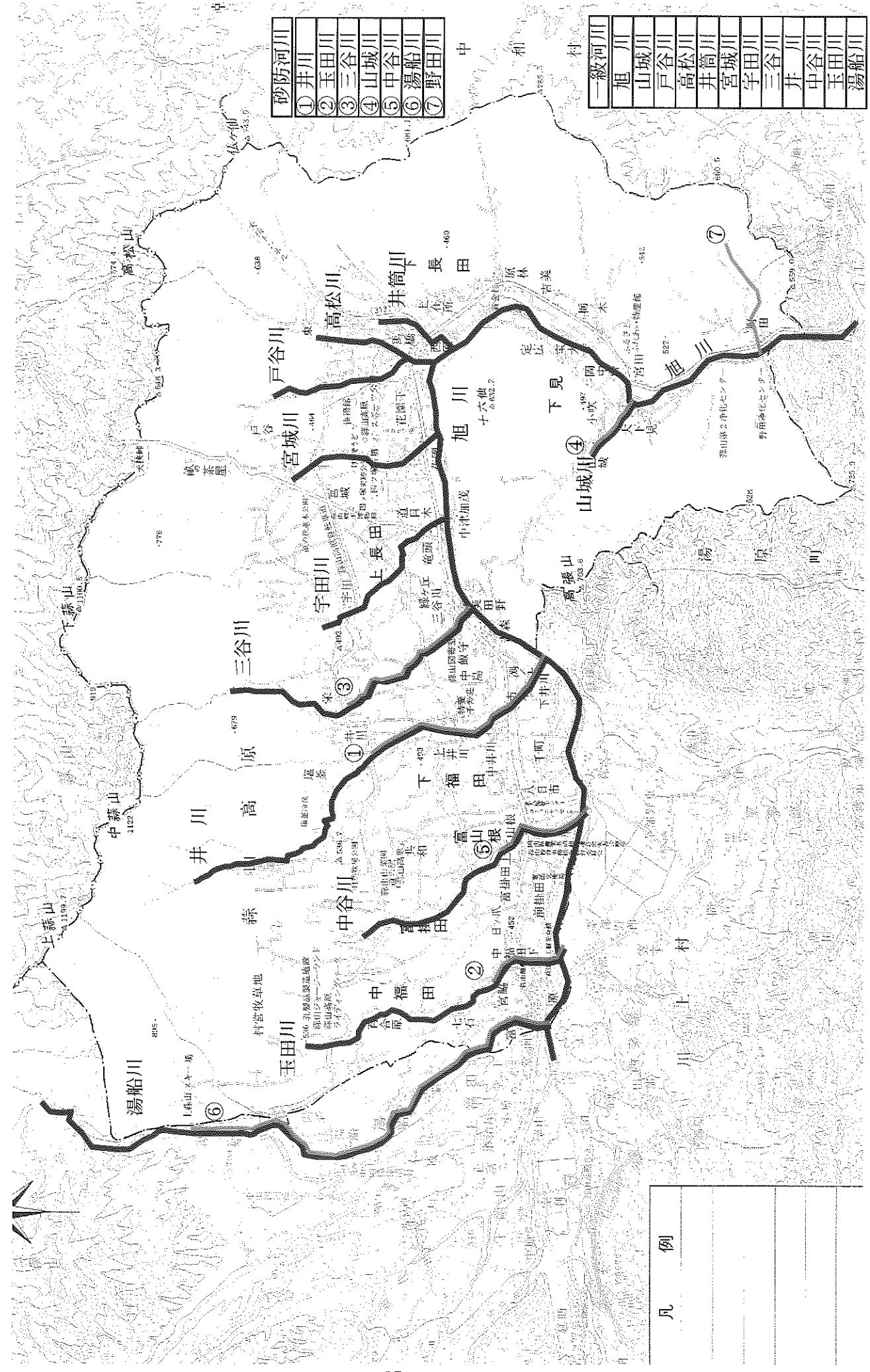
### 第3-3 水環境

#### (2) 【河川の分布状況】 中和地区



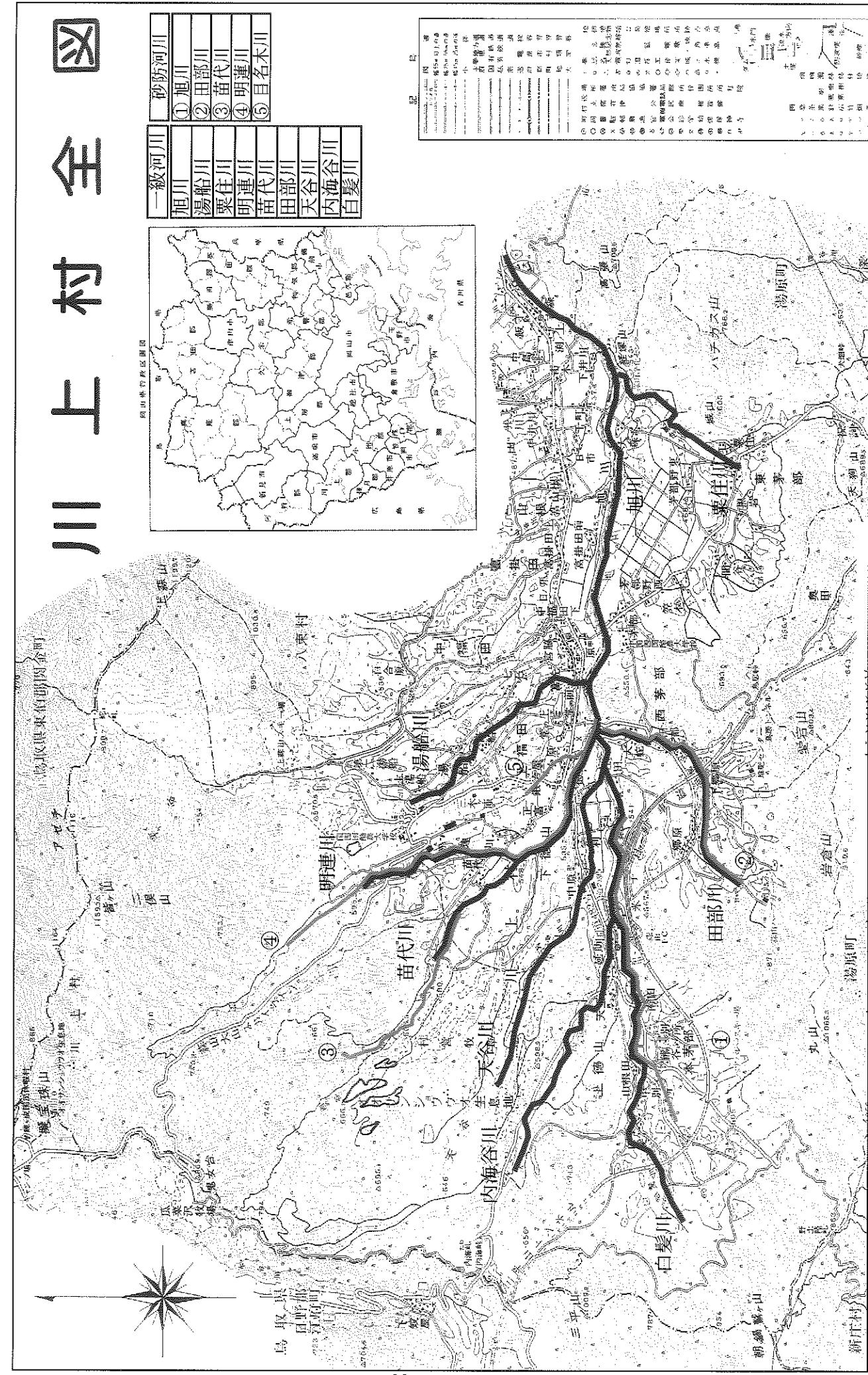
### 第3-3 水環境

#### (2) 【河川の分布状況】 八束地区



凡例

## (2) 【河川の分布状況】 川上地区



### 第3-3 水環境

#### (3) 【その他の市が定めたもの】

##### (1) 現況と課題

「水」は環境のバロメーターであり、豊富な水量と上質な水質に恵まれた水環境を保全することが重要です。また、市内には、各地区の特性に応じた公園やレクリエーション施設が整備されていますが、自然とふれあうことのできるホタルなどが生息する水辺の整備や、市民にとってより身近で利用しやすい施設に改善・整備していくことが必要になります。

##### (2) 施策の体系

公園・緑地・水辺の整備・・・水辺の整備、きれいな水への意識の啓発

##### (3) 施策の内容

施 策	施 策 の 内 容
水辺の整備	旭川等の環境の保全に配慮しながら、自然にふれあうことのできる、ホタルなどの生息する水辺の整備を図ります。 ・出会いとふれあいの水辺づくり
きれいな水への意識の啓発	「水」についての意識の醸成を図り、きれいな水を守りながら市民が享受できる環境を整えます。 ・きれいな水を守る意識の啓発 ・水環境の保全に取り組むネットワークづくり

## 第3-4 植物

### (1) 【植物群落の種類と分布】

植物群落は植物が何かのつながりの中でまとまりを持って成立したものという意味だけでなく、そこにすむ動物や昆虫をも含めた全ての生きもののつながりをもった生態系全体を指し示すともいえる。

カテゴリー	群落の状態
5：壊滅	群落は壊滅している。
4：壊滅状態	群落は危険な状態にあり、緊急に対策を講じなければ壊滅する。
3：壊滅危惧	群落は対策を講じなければ、状態が徐々に悪化する。
2：破壊危惧	群落は保護対策が功を奏しているが、将来は破壊の危惧が大きい。
1：要注意	群落は当面新たな保護対策は必要ないが注意して監視する必要がある。

真庭市における植物群落の種類と分布

群落の種類	カテゴリー	分布地域
ミツガシワ群落	壊滅状態	旧中和村・旧川上村・旧八東村
ブナ群落	壊滅危惧	旧中和村・旧川上村
ビッチュウフウロ群落	壊滅危惧	旧八東村
イヌブナ群落	壊滅危惧	旧勝山町
シモツケソウ群落	壊滅危惧	旧八東村
コアナミズゴケ群落	壊滅危惧	旧川上村・旧八東村
ハンノキ群落	破壊危惧	旧中和村・旧川上村
オオイヌノハナヒゲ群落	破壊危惧	旧湯原町・旧中和村・旧八東村・旧川上村
キセルアザミーヌマガヤ群落	破壊危惧	旧川上村・旧湯原町
オオミズゴケ群落	破壊危惧	旧川上村・旧八東村
オタルスゲ群落	破壊危惧	旧八東村
ススキ群落	要注意	旧川上村・旧八東村
シラカシ群落	要注意	旧勝山町
モミ群落	要注意	旧落合町
サワグルミ群落	要注意	旧中和村
ケヤキ群落	要注意	旧湯原町・旧勝山町
アカマツ群落	要注意	旧落合町
カシワ群落	要注意	旧川上村
カサスゲ群落	要注意	旧川上村

唯一壊滅状態のミツガシワ群落は、東湿原では湿原の乾燥化が進行し、ミヤコイバラによる被陰の影響もあり、夏季にはわずかに生育する固体が確認できる程度であり、群落としては消滅している。八日市湿原（旧八東村の天然記念物）では群落の存在が危惧される状態である。また、旧中和村でも一部残土により壊されなど、今後群落の存続が危ぶまれる状態となっている。



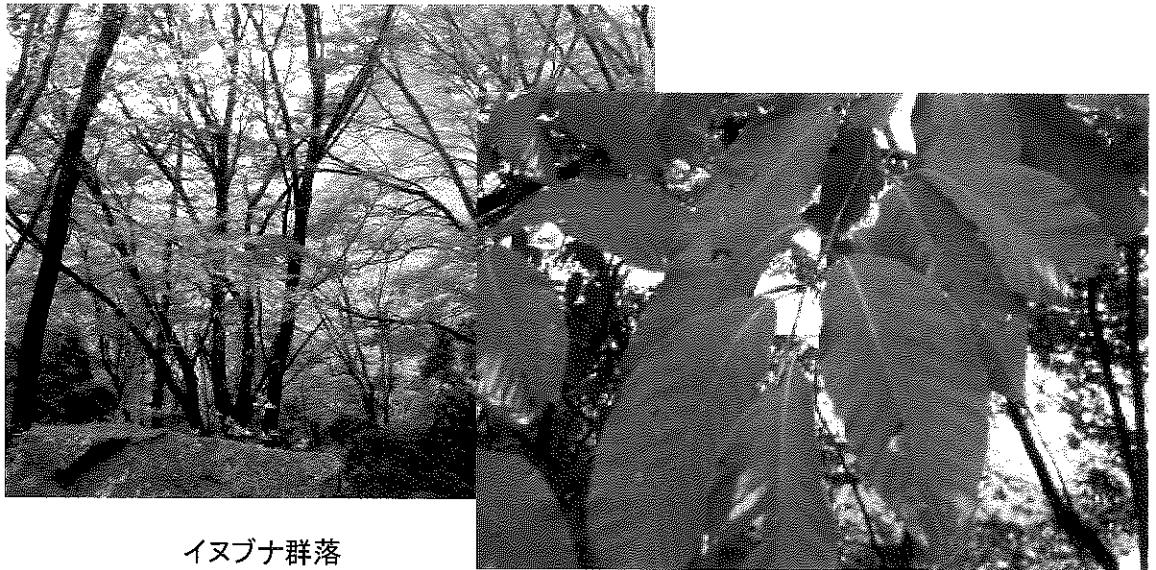
ミツガシワ群落



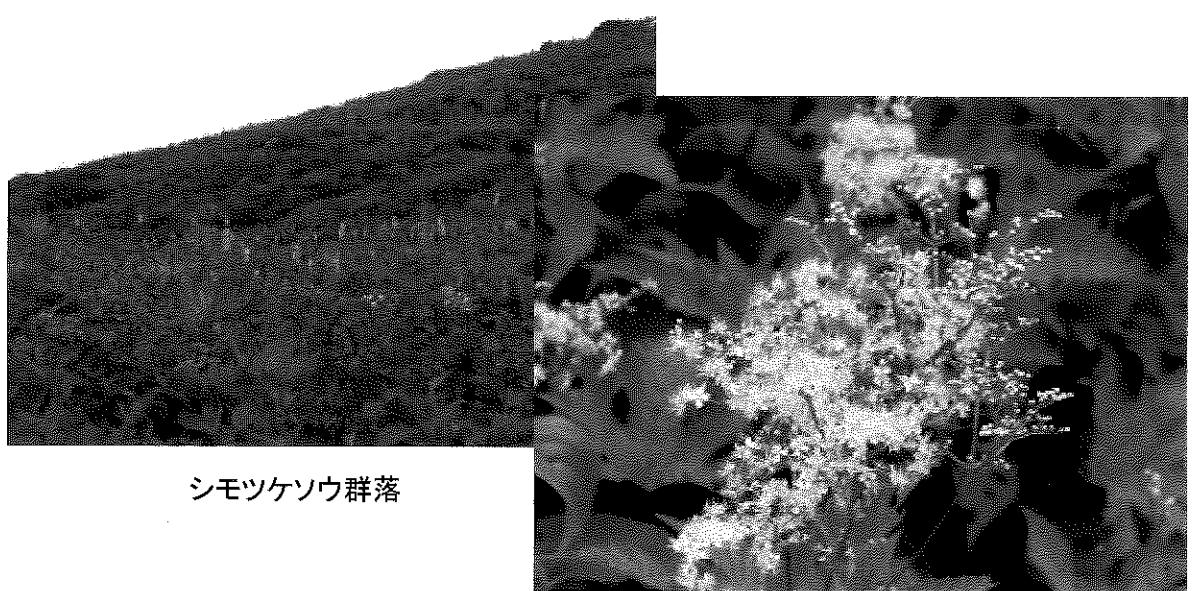
ブナ群落



ブッチュウフウロ



イヌブナ群落

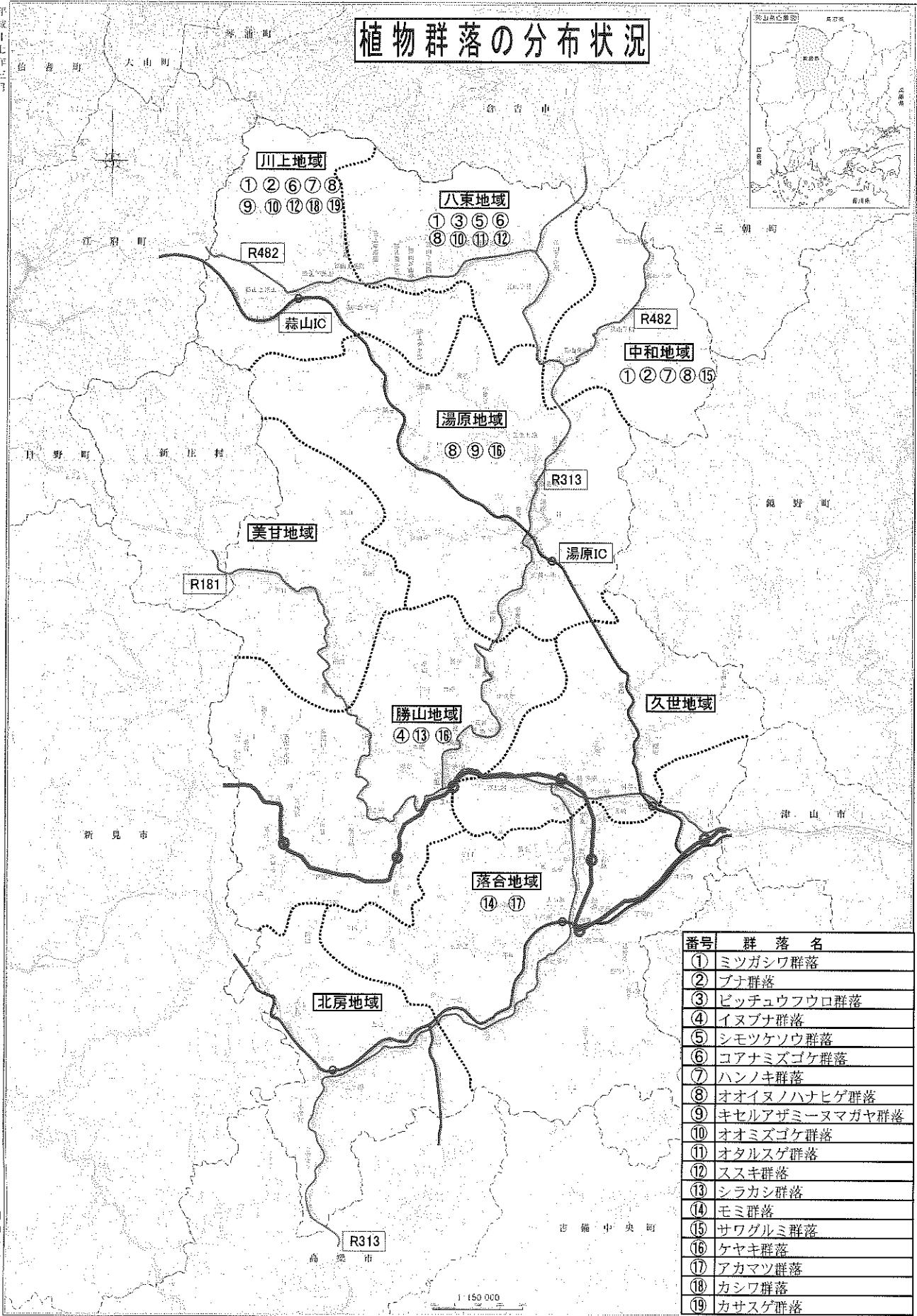


シモツケソウ群落



コアラミズゴケ群落

## 植物群落の分布状況



## 第3-4 植物

### (2) 【貴重な植物及び植物群落の分布状況】



名 称 キバナサバノオ  
カテゴリー 絶滅危惧種  
分布状況 旧美甘村の山地の林内や  
林縁に生える多年草で、  
園芸採取などにより、  
まれになつた。



名 称 ヒルゼンバイカモ  
カテゴリー 希少種  
分布状況 旧八束村の湧水のある  
きれいな流れの中で、  
生育地が限定される。



名 称 ヒルゼンスゲ  
カテゴリー 絶滅危惧種  
分布状況 1980～2000年代の調査で  
は、蒜山頂上付近にしか  
見つかっていない。



名 称 カラマツソウ  
カテゴリー 希少種  
分布状況 旧川上村の山地にわずか  
に生育が確認されるが、  
まれである。



名 称 キンキマメザクラ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 県内では真庭市にわずか  
に自生。



名 称 ツモツケ  
カテゴリー 危急種  
分布状況 県内では真庭市の一部の  
山地に自生しているだけ



名 称 ビッチュウフウロ  
カテゴリー 留意種  
分布状況 旧川上村、旧中和村の原野の湿った草地に生える多年草。



名 称 カジカエデ (オニモミジ)  
カテゴリー 希少種  
分布状況 市内の中国山地の樹林内にまれに自生している。



名 称 テツカエデ  
カテゴリー 希少種  
分布状況 市内の中国山地の深山にまれにある。



名 称 ホンシャクナゲ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 県北部の渓谷あるいは山地の岩上に生える。園芸用に掘り採られ、しだいに減少



名 称 ヤチダモ  
カテゴリー 希少種  
分布状況 蒜山山系のごく一部の谷間に生えている。



名 称 ミツガシワ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 旧八束村の湿原ではミヤコイバラの群生により多くの固体が消滅し、わずかに生育するにすぎなくなった。



名 称 サワルリソウ  
カテゴリー 希少種  
分布状況 市内の山地谷沿いの樹林内に自生している。



名 称 マルバノサワトウガラシ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 旧湯原町など県北部に分布し、少なくなったが、さらに減少するおそれがある。



名 称 オオヒキヨモギ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 旧八束村など県下全域に分布するが、少なくなった。



名 称 タチカメバソウ  
カテゴリー 希少種  
分布状況 市内の渓流沿いの樹林の下にまれに自生している。



名 称 ゴマノハグサ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 旧川上村など県北中部に分布する。草地が減少したことなどにより、まれになった。



名 称 イワツクバネウツギ  
カテゴリー 留意種  
分布状況 市内の北部、中部の石灰岩地と蛇紋岩地に生えている。



名 称 メタカラコウ  
カテゴリー 希少種  
分布状況 旧湯原町、旧久世町の山間湿地で個体数は非常に少ない。



名 称 セイタカトウヒレン  
カテゴリー 情報不足  
分布状況 旧八束村で採集したが現状は不明。



名 称 コウリンガ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 旧八束村の山地草原で個体数も少ない。



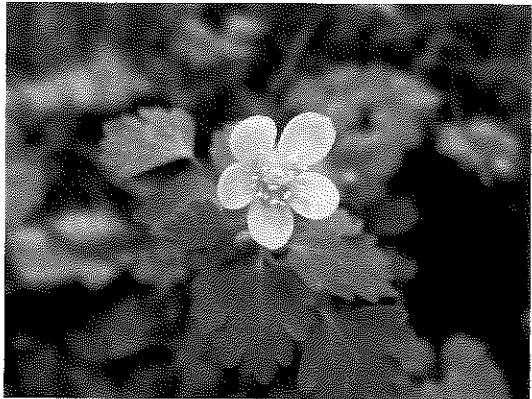
名 称 ネコヤマヒゴタイ  
カテゴリー 絶滅危惧種  
分布状況 旧湯原町の山のやや高所の草原で、株数は激減した。



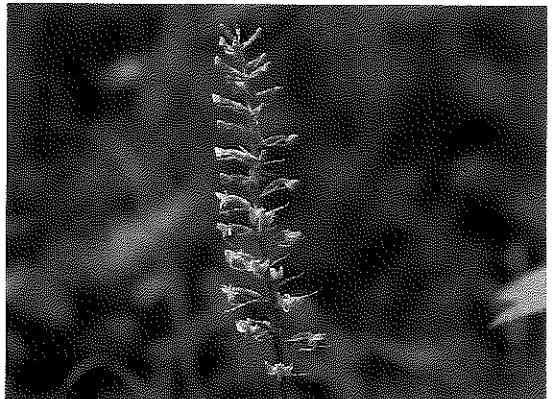
名 称 キクアザミ  
カテゴリー 危急種  
分布状況 旧落合町、旧八束村の日当たりの良い山の草原に生えるが、個体数は少ない。



名 称 イワショウブ  
カテゴリー 危急種  
分布状況 蒜山地方の湿原にわずかに生育。



名 称 トウゴクサバノオ  
カテゴリー 危急種  
分布状況 旧湯原町の沢沿いに生える多年草で、県中北部に分布するが、まれである。



名 称 オオヤマサギソウ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 旧中和村など県北部に分布するが、まれである。



名 称 ミズチドリ  
カテゴリー 準危急種  
分布状況 旧川上村・旧備中町など県北中部に分布する。湿原の乾燥化により、少なくなっている。

## 第3-4 植物

### (3) 【身近な植物・市が定めた植物】

身近な植物・・・「雑草」

私達の足元をみてみれば、色々な草が生えている。地面にへばりついて私達に踏まれても平然としている草もあれば、私達の背丈以上に伸びて圧倒させる草もある。それには、しっかりと名前がついており雑草として片付けるにはかわいそうである。では雑草とはどんな植物をさすのだろうか？ もともと雑草の定義そのものが非常に難しい。狭い意味で雑草というと「人間が自分のために栽培して収穫しようとする作物に対して作物以外のすべての植物」と簡単に割り切れる。作物の収穫減という雑草害があれば雑草の存在が明確になる。ところが、耕地以外ではこの定義が曖昧になる。同一種でも人間の生活に害を与える、ひっそりと生きている限りは雑草とは言いがたい。やはり、生態学的見地からの定義が、雑草を把握するのに最もわかりやすい。「雑草は人為的に裸地化した場所に、最初に定着する植物群に属し、耕地の雑草は特別な場合である」という言い方である。つまり、絶えず攪乱される不安定な環境に生活する一群の植物である。

芽が出てから急に大きく生長するさまは誰もが脅威を感じる。これは、作物との戦いに打ち勝つ戦略である。また、小さな株でもしっかりと花を咲かせ、種子をつけるさまをよく観察する。これは、いつ人間に引き抜かれるかわからない不安定な場で、次世代確保のための適応戦略と考えられる。

## 《身近な植物の種類》

### 「春の花」

オオイヌフグリ	セツブンソウ	ホトケノザ
ネコノメソウ	フキ	ヒメオドリコソウ
マンサク	キブシ	キンポウゲ
ニチリンソウ	ユキワリイチゲ	アズマイチゲ
セリバオウレン	スミレ	シハイスマリ
アリアケスマリ	ツボスミレ	タチツボスマリ
ミヤマキケマン	ムラサキケマン	ヤマエンゴサク
キランソウ	ジュウニヒトエ	シロバナタンポポ
セイヨウタンポポ	ハハコグサ	コオニタビラコ
ショウジョウバカマ	シライツソウ	カタクリ
コブシ	ホウチャクソウ	エンレイソウ
トキワイカリソウ	ラショウモンカズラ	ムラサキサギゴケ
コチャルメルソウ	コンロンソウ	シャガ
ウシハコベ	ハコベ	アセビ
スズシロソウ	オドリコソウ	ナガバモミジイチゴ
ヤマブキ	ヤブツバキ	コバノミツバツツジ
ヤマフジ	フジ	ヤブヘビイチゴ
ホタルカズラ	ミヤコグサ	コバノガマズミ
ジャケツイバラ	シロバナネコノメソウ	ミヤマカタバミ
イチリンソウ	キクザキイチゲ	ミヤマスマリ
コスミレ	カキドオシ	カンサイタンポポ
ミヤマヨメナ	チゴユリ	アマナ
セキショウ	シュンラン	ヤマツツジ
ヤマシャクヤク	ヤマザクラ	ヘビイチゴ
ヤマルリソウ		

「初夏の花」

アカバナユウゲンショウ	ニワゼキショウ	イチヤクソウ
キショウブ	ギンリョウソウ	ムラサキカタバミ
ホタルブクロ	キツネアザミ	コウゾリナ
チチコグサ	ノアザミ	サワギク
ノコギリソウ	カノコソウ	ノゲシ
キハダメギク	ハンカイソウ	ヒレアザミ
クマツヅラ	ササユリ	ティカカズラ
キツネノボタン	クサノオウ	トキワハゼ
タツナミソウ	マムシグサ	オカトラノオ
タニウツギ	ヤブデマリ	スイカズラ
ハナウド	フタリシズカ	ツユクサ
ヤマブキショウマ	ナワシロイチゴ	ヒメレンゲ
チダケサシ	ヒメハギ	ヤマボウシ
キュウリグサ	サイハイラン	ネジバナ
コケイラン	コガクウツギ	ウツギ
ヒメウツギ		

「夏の花」

ヘクソカズラ	ツルアリドオシ	キカラスウリ
イワタバコ	キカラスウリ	オトギリソウ
ガガイモ	ツリガネニンジン	トモエソウ
オトコエシ	ソバナ	ツルニンジン
ミゾカクシ	サワヒヨドリ	キキョウ
ベニバナボロギク	ヒヨドリバナ	メタカラコウ
ボタンヅル	カラマツソウ	オタカラコウ
センニンソウ	クサギ	ウツボグサ
ハッカ	メハジキ	タケニグサ
カワミドリ	ヌマトラノオ	クルマバナ
イヌタデ	ミゾソバ	セマゼリ
オオイヌタデ	ミズヒキ	イタドリ
ツリフネソウ	キツリフネ	ベニイタドリ
ヤブミョウガ	シロツリフネソウ	キンミズヒキ
ヒメキンミズヒキ	ヒヨドリジョウゴ	フシグロセンノウ
ハンゲショウ	ドクダミ	ダイコンソウ
マルバルコウ	キツネノカミソリ	オオキツネノカミソリ
ヒルガオ	ヌスピトハギ	コマツナギ
クズ	ツルフジバカマ	ナンテンハギ
クララ	カキラン	ゲンノショウコ
ノアズキ	ヤブカンゾウ	ヤマジノホトトギス
シュロソウ	ネムノキ	オオバギボウシ
ヤマアジサイ	ミゾホオズキ	ウバユリ
コナギ	ナベナ	シオデ
コオニユリ	フジカンゾウ	ヤブラン
ミソハギ	ツルボ	ノギラン
ジャノヒゲ	トウバナ	ヤブコウジ
カナムグラ	カラタチバナ	

「秋の花」

オミナエシ	オモダカ	シロヨメナ
カワラナデシコ	ハグロソウ	ジャコウソウ
イヌホオズキ	ヒガンバナ	サクラタデ
イヌホオズキ	ヤブマメ	ヤマハギ
イブキ	ナギナタコウジュ	イヌコウジュ
イダケ	イボクサ	スズムシバナ
マツカゼソウ	ヒメアザミ	ヤマアザミ
ヨシノアザミ	キセルアザミ	アキノノゲシ
シラヤマギク	コウヤボウキ	ヨメナ
ノコンギク	ヤクシソウ	ワレモコウ
キクバヤマボクチ	アキノキリンソウ	アカバナ
アキチョウジ	モミジハグマ	カニコウモリ
オオバショウマ	サンインヒキオコシ	クロバナヒキオコシ
サラシナショウマ	ジンジソウ	フユノハナワラビ
キッコウハグマ	ナガミノツルキケマン	キバナアキギリ
センブリ	リンドウ	ツルリンドウ
アケボノソウ	ミツバベンケイソウ	ヨウシュヤマゴボウ
チャノキ		

## 第3-4 植物

### (4) 【昔の植物の生息状況】

植物は芽生えてから枯死するまでの一生を、芽生えたところですっと動かないのが普通である。しかし、子孫を作るための情報をもった種子は、動物、風などの他の力をかりて移動する。移動していった先で次の世代が芽生えて生長することや、さらにその次の世代となる種子を作り出すまでうまくやれるかどうかは、その土地の様々な環境に大きく作用される。

いま我々のまわりに生育している多くの植物は、そこまでやってきた過去の経歴をもっている。アメリカセンダングサは、外国から日本にやってきた種子が人やほかの動物にくついて国内の各地に広がり、いま我々のまわりで普通にみられるようになっている。

人間の一生をはるかに超えた長い時間の経過の中で、こうした植物の営みによって、それぞれの植物が自分の生活に適した地域を求め移動してきた。

最終氷期（ビュルム氷期）の一番寒かった時期が約二万年前といわれているが、そのころの岡山県は、今よりも平均気温で7~9°C近く低かったと考えられている。平均気温で7°C違えば、今の岡山市の気温がほぼ札幌市の気温と同じであったということになる。単純に考えると、今の札幌市付近にはえている植物が生育していたことになり、鎮守の森に見られるスダジイ、コジイ、あるいはツクバネガシ、アカガシなどのシイ・カシの仲間は成育することができず、現在中国山地に見られるブナ、ミズナラなどのナラの仲間や現在中国山地には無くなつたシラビソなどが生育できる気候である。中国山地ではもっと寒く、北海道でいえば山地の植物が生育していたと考えられている。もう一つ重要なことは、瀬戸内海が今のような海ではなかつたということである。地球全体が冷えていたために南極や北極の周辺では海の水が凍つて今よりたくさんの氷ができていた。この結果、海岸が現在よりも100mほどさがつていたといわれている。こうなると瀬戸内海は海でなくなり、紀伊水道と豊後水道に向けて川が流れ、旭川などの三大河川は、その支流であった。このため、瀬戸内海は中国山地と四国山地に囲まれた盆地となっていて乾燥した非常に寒い気候であり、生育できる植物はコナラ亜属、カバノキの仲間な

どの低木であったと考えられている。

その後急速に気温が上昇し、6千年前頃、今より約1°Cほど暖かい時期があり現在に到っている。温暖化に伴って、瀬戸内海では海水が入り今のような内海になり、最も暖かかったころには三大河川の流域では、海岸が県の内部まで入り込んできた。このころ陸づたいに南方からシイ・カシの仲間が、中国地方を日本海側と瀬戸内側を経て分布拡大していったと考えられている。

一方岡山県南部にみられたブナ、ミズナラなどは、温暖化にともなって中国山地に逃れていったと考えられる。中国山地では温暖化につれて、それまで生えていた亜高山性針葉樹のシラビソ、ウラジロモミやチョウセンゴヨウなどが生育できなくなった。

中国山地では、氷期以降、日本海に暖流が流れ込むようになって、次第に冬期の積雪が増加している。これにともなって、この積雪の環境に適した植物が生育するようになっている。チシマザサ、ヒメモチ、エゾユズリハ、ツルシキミ、ハイイヌガヤ、チャボガヤなどの常緑低木は、積雪に埋もれて寒冷期を生き抜くことができる形態をもつてゐるため中国山地の積雪の多い地域に分布を広げていくことができた。これらの種類はブナなどの高木林の中で数多くみられる。トキワイカリソウ、クロバナヒキオコシ、ホクリクネコノメソウ、ミスミソウなど多くの草本植物やヤマソテツ、シノブカグマなどのシダ植物などのように、日本海側に広い分布域を持つ植物が岡山県の中国山地にも見られるのは、こうした積雪の環境があるからだといえる。

### 第3-5 動物

#### (1) 【野生動物の生息状況】

蒜山は岡山県の最北端に位置し、県境に沿って連なる火山群の中腹から上には、冷温帶の夏緑広葉樹林が残されている。山麓には明るい草原が広がり、冷温帶特有の森林性昆虫や朝鮮半島とも関連の深い内陸性、草原性の昆虫に富んでいる。それらの中には、日本各地ですでに激減した注目すべき草原性昆虫も含まれている。

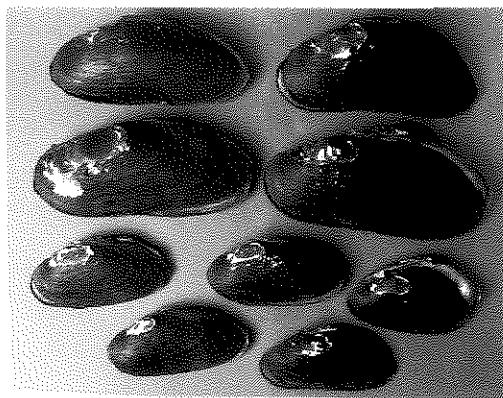
ブナ林は標高700m付近からみられ、この付近にはフジミドリシジミをはじめ、ジョウザンミドリシジミ、エゾミドリシジミなどのチョウ類が多数生息し、ガ類ではウスムラサキケンモン、シロモンアツバなどが、ハチ類ではフトオビコンボウハバチ、アカガネコンボウハバチなどがみられる。甲虫類ではオニクワガタ、ルリヒラタムシ、ヒゲブトハナカミキリ、オオクロハナカミキリなどが生息している。

広大な草原には直翅類、チョウ類、甲虫類など草原性の昆虫が多く、蒜山原ならではといった生息種が少なくない。しかし、環境庁が絶滅のおそれのある野生生物として「レッドデータブック」に掲載したオオウラギンヒョウモン、フサヒゲルリカミキリをはじめ、ゴマシジミ、ヒョウモンモドキ、ヒメビロウドカミキリなどは、蒜山原でも希少な昆虫になっている。そのほか、オオツノトンボ、ホソハンミョウ、セアカオサムシなどがあり、湧水が注ぐ池からは局所的分布を示すグンバイトンボが発見され、湿原にはハッチョウトンボが生息している。

また、大型水生昆虫のタガメやゲンゴロウ、ガムシをはじめゲンジボタル、ヘイケボタルなどが蒜山原一帯の水系には健在である。

## 第3-5 動物

### (2) 【貴重な動物の生息状況】



名 称 カワシンジュガイ

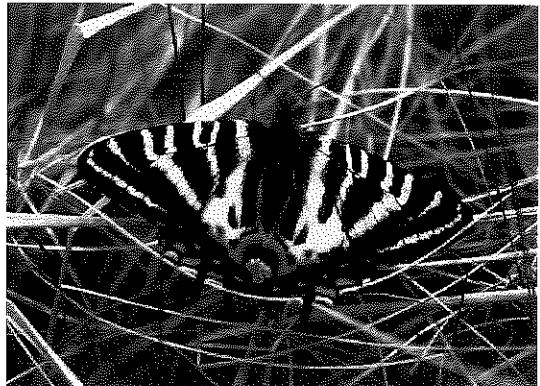
カテゴリー 絶滅危惧種

生 息 状 況 かつては日本海側を中心に山間の清流に多数生息していたが、近年生息環境の悪化や宿主となる魚の減少により、日本各地で姿を消しつつある。旧川上村でも天谷川にはまだ多数の貝が生息しているが、小原川については絶滅状態に近いと考えられ、本種の生息地は県の天然記念物に昭和34年に指定された。

名 称 ギフチョウ

カテゴリー 絶滅危惧種

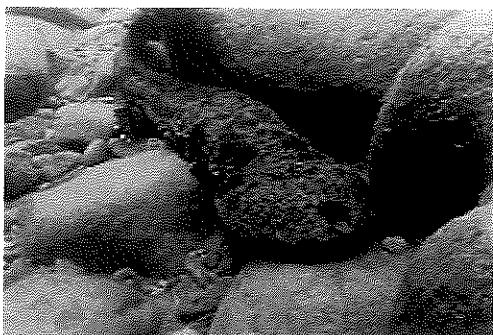
生 息 状 況 本州だけに分布する日本固有種。県内では、中国山地に限って生息地が確認されているが、近年は開発や採集等の影響もあって激減している。現在生息が確認されているのは、蒜山高原の一部と保護活動が行われている旧奥津町など。旧川上村全域が発生地として県指定の天然記念物に昭和34年に指定された。



名 称 フサヒゲルリカミキリ

カテゴリー 絶滅危惧種

生 息 状 況 本種は日本固有種とされているが、本州から北海道にかけ点々と分布記録があるが、ほとんどの生息地で開発で失われ、現状で生息が確認される所は極めて少ない。県内では、蒜山高原の草原の一部に分布が知られ、全国的にも少ない安定生息地である。平成16年県が「指定希少動物」に認定した。



名 称 オオサンショウウオ

カテゴリー 絶滅危惧種

生息状況

日本固有種で、岐阜県以西の本州・九州の大分県に分布する。岡山県では北部の河川や用水などに生息する。河川や用水の改修やダム建設などによって生息場所や産卵場所が破壊され、個体数が減少している。稀に中南部で生体が発見されるが、産卵や幼生が確認されたことはなく北部から流されてきたか飼育固体と考えられる。

国指定の特別天然記念物

名 称 フクロウ

カテゴリー 絶滅危惧種

生息状況 北ヨーロッパからシベリア、極東アジア、日本に分布する。岡山県全域に分布し、通年生息する。



名 称 オオジシギ

カテゴリー 絶滅危惧種

生息状況

繁殖地は日本のみ。冬季には海を越えてオーストラリア南部で越冬する。岡山県では蒜山高原に渡来繁殖する。



名 称 カジカガエル  
カテゴリー 危急種  
生息状況 渓流に生息する。日本固有種で、本州・四国・九州に分布するが、近年個体数が減少している。岡山県では吉井川・旭川・高梁川各水系の主に上中流域に生息するが、個体数は減少している。

名 称 ヨタカ

カテゴリー 危急種

生息状況 中国から極東アジアに分布し、日本では全国的に見ることが出来る。岡山県では、全域で見ることが出来るが、その数が減少し、北部の山地でもなかなかみることができなくなっている。



名 称 アオゲラ

カテゴリー 希少種

生息状況 日本固有種で、北海道を除き、本州から屋久島まで分布する。岡山県全域に生息する。



名 称 アカゲラ  
カテゴリー 希少種  
生息状況 ヨーロッパ、シベリアから中国、日本に分布する。日本では本州、北海道に分布するが、西日本では割と少ない。岡山県では主に中・北部に生息する。

名 称 オオアカゲラ

カテゴリー 希少種

生息状況 ヨーロッパ、シベリアから日本に分布する。岡山県では主に北部の山地に生息するが、その数は少ない。



名 称 オオヨシキリ

カテゴリー 希少種

生息状況 ウスリー地方、中国北部から東北地方、朝鮮半島、日本で繁殖し、インドシナ半島、フィリピン、インドネシア等で越冬する。日本には夏鳥として渡来する。岡山県では全域で見られ、河口や川のヨシ原で繁殖する。近年、各地の河原の狭いヨシ原でも見られるようになった。特に蒜山一帯の河原のヨシ原には多い。

### 第3-5 動物

#### (3) 【身近な動物・市が定めた動物】

##### 《鳥類》

アカゲラ	キジ	ウグイス
アマサギ	シジュウカラ	ツバメ
イカルチドリ	ジョウビタキ	トビ
イソシギ	ツグミ	カワセミ
カシラダカ	フクロウ	オオルリ
カルガモ	ホオジロ	セキレイ
カワガラス	ルリビタキ	ホトトギス
ウソ	キジバト	ヤマセミ
ハシブトガラス	カワラヒワ	メジロ
コサギ	アオサギ	ゴイサギ
モズ	ヒヨドリ	スズメ

##### 《昆虫類》

ア布拉セミ	ジャコウアゲハ	アゲハ
クマゼミ	ツバメシジミ	オナガアゲハ
ニイニイゼミ	ツマグロヒョウモン	クロアゲハ
ミンミンゼミ	ツユムシ	モンシロチョウ
アゲハ	トノサマバッタ	オニヤンマ
アサギマダラ	ナキイナゴ	カブトムシ
ウラナミシジミ	タツアカネ	コクワガタ
オオカマキリ	ハネナガイナゴ	オニヤンマ
ヒメボタル	アメンボ	トノサマバッタ
ゲンジボタル	オオカマキリ	ショウリョウバッタ
オバボタル	コカマキリ	タイコウウチ
タガメ	ウスバシロチョウ	トラフシジミ
ミズカマキリ	ミヤマカワトンボ	イトトンボ
ギンヤンマ	クルマバッタ	ゴダラカミキリ

コミスジ	サカハチチョウ	シオカラトンボ
ミヤマカワトンボ	ムカシトンボ	グンバイトンボ
シオカラトンボ	ムギワラトンボ	ハグロトンボ
ニシカワトンボ	ミヤマクワガタ	ギンイチモンジヤセセリ
オオチャバネセセリ	モキマヌケンゴウ	ハンミョウ
ヒメウラナミジャノメ	ヒメキマダラセセリ	ヒメジャノミ
ベニシジミ	ミドリヒョウモン	ミヤマアカネ
カトリヤンマ	ギフチョウ	

《淡水魚》

アカザ	オヤニラメ	スナヤツメ
タカハヤ	ズナガニゴイ	アブラハヤ
カマツカ	タカハヤ	ハス
フナ	アマゴ	カワムツ
ドジョウ	ヒガイ	ヤリタナゴ
アユ	カワヨシノボリ	ドンコ
タマロコ	アブラボテ	イワナ
ギンブナ	ハゲギギ	イトモロコ
スジシマドジョウ	ウグイ	ゲンゴロウブナ
ホトケドジョウ	ホンモロコ	マダカ
ウナギ	コイ	マナマズ
ミコイ	カジカ	オイカワ
シマドジョウ	ムギツク	ニゴイ
ブラックバス	ブルーギル	チチブ
ヨシノボリ		

《両生類》

ダルマガエル	モリアオガエル	ツチガエル
アマガエル	トノサマガエル	カジカガエル
ヤマアカガエル	ニホンヒキガエル	オオサンショウウオ

《哺乳類》

タヌキ

キツネ

ツキノワグマ

ウサギ

イノシシ

ヌートリア

《爬虫類》

イシガメ

クサガメ

スッポン

ヤマカカシ

ヒバカリ

マムシ

シマヘビ

トカゲ

カナヘビ

タワヤモリ

アオダイショウ

《甲殻類》

サワガニ

ホウネンエビ

カブトエビ

ニナミヌマエビ

《その他》

タカハガイ

イシガイ

マシジミ

カワニナ

ヒル

ヒメモノアラガイ

カネツケシジミ

カワシンジュガイ

### 第3-5 動物

#### (4) 【昔の動物の生息状況】

最も代表的な「オオサンショウウオ」について

日本ではオオサンショウウオ1種類のみである。アメリカと中国にはそれぞれ別の種類のものが生息する。

全長は1mを超えるものもいて、一生を水の中で生活する。産卵は穴の中で行なわれ、卵塊はじゅずの様に数百以上の卵を連ねた長いひも状である。1つの卵の直径は、8mmにも達し、黄色をしている。餌は魚、カエル、サワガニなど水中の小動物である。

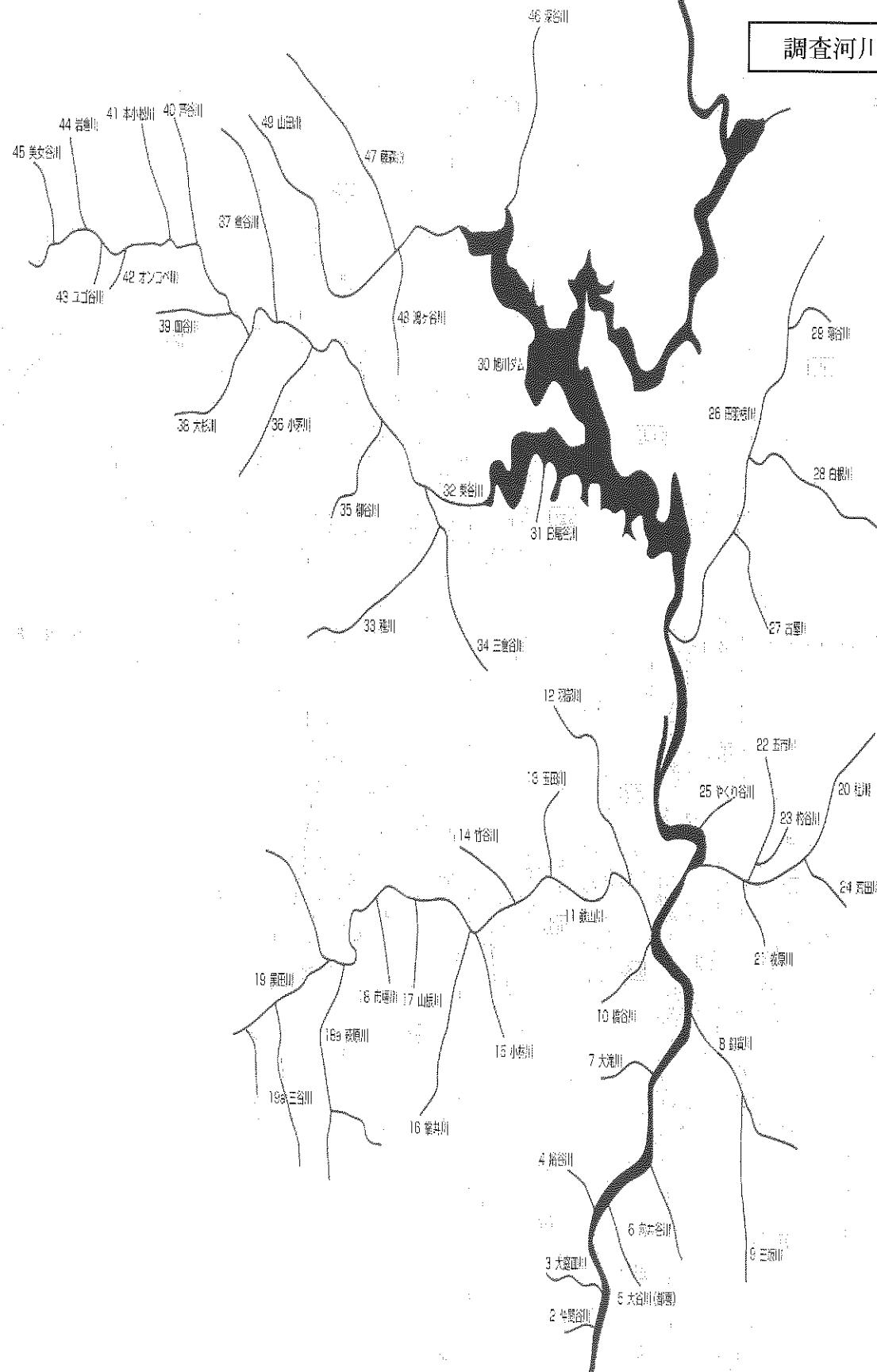
国指定天然記念物「オオサンショウウオ生息地」に指定されている、岡山県真庭市湯原町、川上村、八束村、中和村内の旧町村で河川の形状、自然環境および生息環境の実態を実施調査を行った平成9年度から平成11年度の結果を次に添付する。

### オオサンショウウオ個別データ

河川番号	河川名	発見日時	体長 (cm)	体重 (kg)	担当班	備考	河川番号	河川名	発見日時	体長 (cm)	体重 (kg)	担当班	備考
11	鉄山川	H9.10.10	70.0	2.40	川大班		55	山乗川	H10.8.1	58.8	1.57	島大班	♂?
11	鉄山川	H9.9.15	25.0	0.28	島大班		55	山乗川	H10.8.1	57.0	1.47	島大班	♀
11	鉄山川	H9.9.15	67.0	3.58	島大班		55	山乗川	H10.8.1	39.0	0.56	島大班	
11	鉄山川	H9.9.15	40.0	0.43	島大班		55	山乗川	H10.8.1	47.6	0.99	島大班	
11	鉄山川	H9.10.1	52.0	1.15	島大班		55	山乗川	H10.8.1	42.2	0.60	島大班	
11	鉄山川	H9.10.1	46.0	0.90	島大班		55	山乗川	H10.8.1	53.3	1.12	島大班	
11	鉄山川	H9.10.1	38.0	0.60	島大班		55	山乗川	H10.8.1	50.5	1.17	島大班	
11	鉄山川	H9.10.1	65.0	2.00	島大班		55	山乗川	H10.8.1	不明	不明	島大班	
11	鉄山川	H9.10.1	54.0	1.25	島大班		57	津黒川	H10.11.2	73.0	2.70	島大班	♂
11	鉄山川	H9.10.1	63.0	1.90	島大班		57	津黒川	H10.11.2	26.0	0.10	島大班	
11	鉄山川	H9.10.1	70.0	2.40	島大班		57	津黒川	H10.11.2	35.0	0.25	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	50.0	1.60	島大班		57	津黒川	H10.11.2	不明	不明	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	52.0	1.10	島大班		57	津黒川	H10.11.2	不明	不明	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	52.0	1.90	島大班		59	浜子川	H10.8.18	62.0	2.80	島大班	♂
11	鉄山川	H9.10.10	98.0	4.60	島大班		59	浜子川	H10.8.18	45.0	0.70	島大班	♀
11	鉄山川	H9.10.10	58.0	1.60	島大班		59	浜子川	H10.8.18	95.0	3.30	島大班	♂
11	鉄山川	H9.10.10	43.0	0.85	島大班		59	浜子川	H10.8.18	50.0	1.00	島大班	♀
11	鉄山川	H9.10.10	58.0	2.00	島大班		63	ウチワ谷川	H11.10.16	40.0	0.32	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	53.0	1.80	島大班		63	ウチワ谷川	H11.10.16	41.5	0.46	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	52.0	1.95	島大班		63	ウチワ谷川	H11.10.16	40.0	0.45	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	不明	不明	島大班		66	辛端川	H10.10.25	44.5	0.80	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	60.0	2.15	島大班		66	辛端川	H10.10.25	28.0	0.20	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	74.0	2.55	島大班		66	辛端川	H10.10.25	19.3	0.10	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	49.0	0.95	島大班		67	大柄川	H11.10.23	37.5	0.43	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	42.0	0.90	島大班		67	大柄川	H11.10.23	不明	不明	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	59.0	1.50	島大班		69	高松川	H10.10.26	43.5	0.73	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	51.0	1.20	島大班		70	宮城川	H11.10.24	52.5	1.10	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	52.0	1.10	島大班		70	宮城川	H11.10.24	不明	不明	島大班	
11	鉄山川	H9.10.14	76.0	3.10	島大班		72	三谷川	H10.10.13	48.0	0.80	島大班	♀
11	鉄山川	H9.9.20	68.4	2.90	島大班		72	三谷川	H10.10.21	47.0	0.80	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	60.0	1.60	島大班	♂	72	三谷川	H10.10.21	43.0	0.70	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	75.0	3.50	島大班	♂	72	三谷川	H10.10.21	57.0	1.20	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	80.0	3.80	島大班	♀	74	中谷川	H10.10.22	57.0	1.00	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	85.0	5.00	島大班	♀	74	中谷川	H10.10.22	62.0	1.70	島大班	
11	鉄山川	H9.10.10	50.0	1.00	島大班	♀?	75	玉田川	H10.9.5	48.0	0.85	島大班	♂
17	山根川	H9.9.13	34.9	0.56	島大班		75	玉田川	H10.9.5	60.0	1.10	島大班	♀
19	黒田川	H9.10.14	76.0	3.90	島大班		75	玉田川	H10.9.5	63.0	1.80	島大班	♂
19	黒田川	H9.11.2	65.0	1.95	島大班		76	泡川上流部	H10.9.2	59.0	1.75	島大班	♀
19	黒田川	H9.11.2	52.0	1.45	島大班		76	泡川上流部	H10.9.2	65.0	2.00	島大班	♂
20	社川	H9.10.18	24.0	0.10	川大班		76	泡川上流部	H10.9.2	41.0	0.75	島大班	♂
20	社川	H9.10.18	55.0	1.20	川大班		76	泡川上流部	H10.9.2	59.0	1.40	島大班	♀
26	田羽根川	H9.10.14	62.0	2.40	島大班		76	泡川上流部	H10.9.2	45.0	0.65	島大班	
26	田羽根川	H9.10.14	42.0	1.00	島大班		76	泡川上流部	H10.10.31	31.0	0.25	川大班	
26	田羽根川	H9.10.14	69.0	2.30	島大班		76	泡川上流部	H10.10.31	53.0	1.10	川大班	
28	白根川	H9.9.20	48.0	1.12	島大班	♂	78	湯船川	H10.9.9	59.0	1.10	島大班	
28	白根川	H9.9.20	46.8	0.99	島大班	♀?	78	湯船川	H10.9.9	50.0	0.80	島大班	
28	白根川	H9.9.20	不明	不明	島大班	♀?	78	湯船川	H10.9.9	54.0	1.30	島大班	♀
28	白根川	H9.10.11	63.3	2.05	島大班	♂	80	明連川	H10.11.1	31.0	0.25	川大班	
32	粟谷川	H9.9.27	82.0	5.10	川大班		81	宿波川	H10.11.13	51.0	1.10	川大班	
32	粟谷川	H9.10.10	50.0	0.90	川大班		81	宿波川	H10.11.13	54.0	1.70	川大班	
32	粟谷川	H9.10.10	32.0	0.35	川大班		81	宿波川	H10.11.13	66.0	1.90	川大班	
32	粟谷川	H9.10.10	49.0	1.25	川大班		82	苗代川	H11.11.25	52.0	1.25	川大班	
32	粟谷川	H9.10.10	65.0	1.90	川大班		83	天谷川	H10.9.13	不明	不明	川大班	目視のみ
32	粟谷川	H9.10.10	49.0	1.10	川大班		83	天谷川	H9.9.21	70.0	1.80	川大班	
33	種川	H9.9.20	50.0	1.15	川大班		83	天谷川	H9.9.21	60.0	1.55	川大班	
33	種川	H9.8.25	27.0	0.12	島大班		85	白鬚川	H10.10.31	33.0	0.26	川大班	
36	小茅川	H9.10.10	45.0	1.00	川大班		85	白鬚川	H10.10.31	36.0	0.30	川大班	
38	大杉川	H9.8.28	55.0	1.50	川大班		85	白鬚川	H10.10.31	44.0	0.50	川大班	
46	深谷川	H9.9.4	30.0	不明	川大班	死体	86	渡世川	H10.10.31	46.0	0.70	川大班	
47	藤森川	H9.10.19	55.0	1.30	川大班								
51	下和川	H10.7.12	49.0	0.90	川大班								
51	下和川	H9.9.27	42.0	0.80	川大班								
51-a	大地谷川	H10.10.10	52.2	1.05	川大班								
53	登り畠川	H10.8.21	32.5	0.27	島大班								
53	登り畠川	H10.8.21	17.2	不明	島大班								
54	植杉川	H10.8.20	49.0	0.92	島大班	♀							
54	植杉川	H10.8.20	53.3	1.32	島大班	♀							
54	植杉川	H10.8.20	44.0	0.87	島大班	♀							
54	植杉川	H10.8.20	46.0	1.02	島大班	♀							
54	植杉川	H10.10.8	69.0	1.92	島大班	♀							
55	山乗川	H10.8.1	50.0	1.17	島大班	♀							

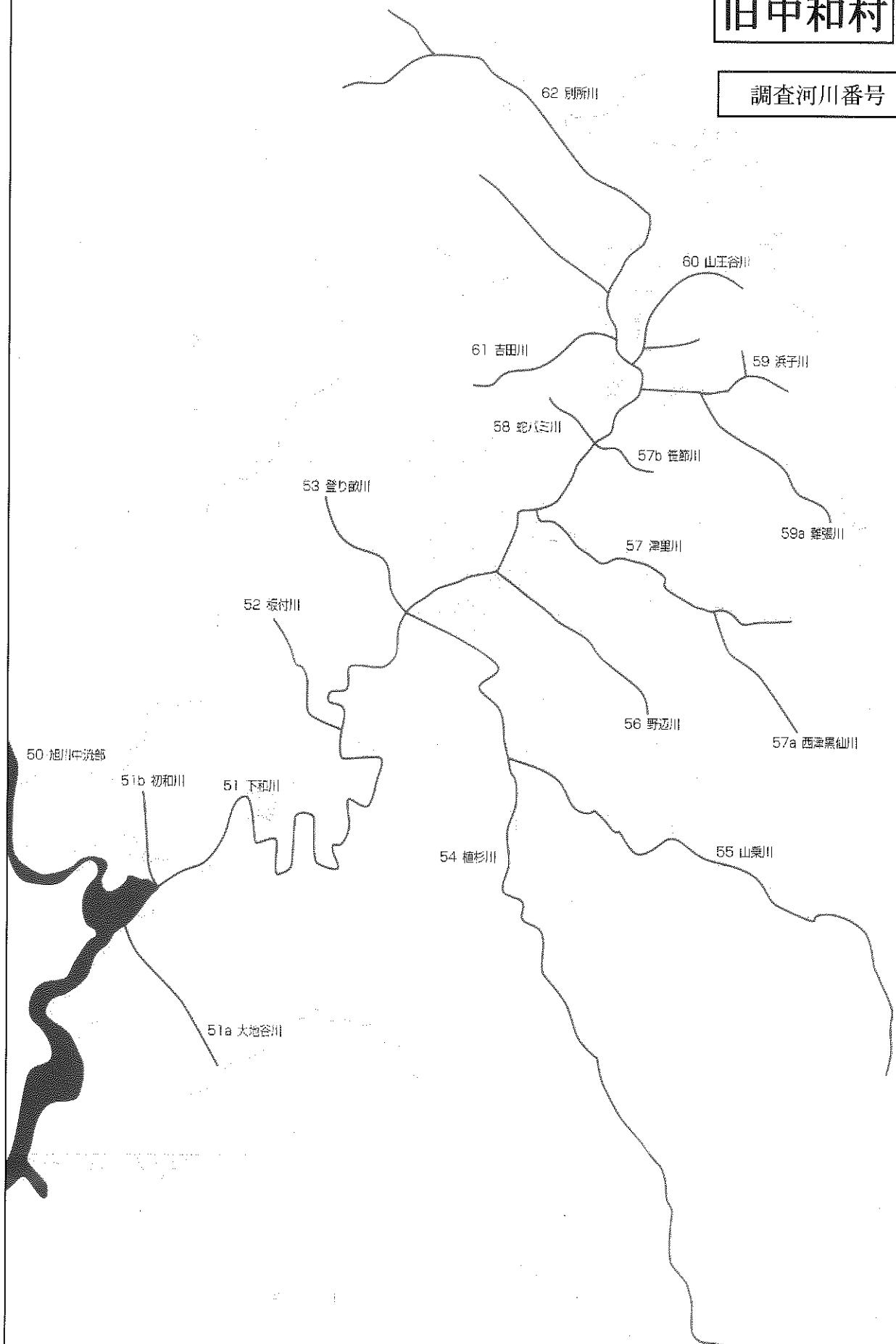
# 旧湯原町

調査河川番号



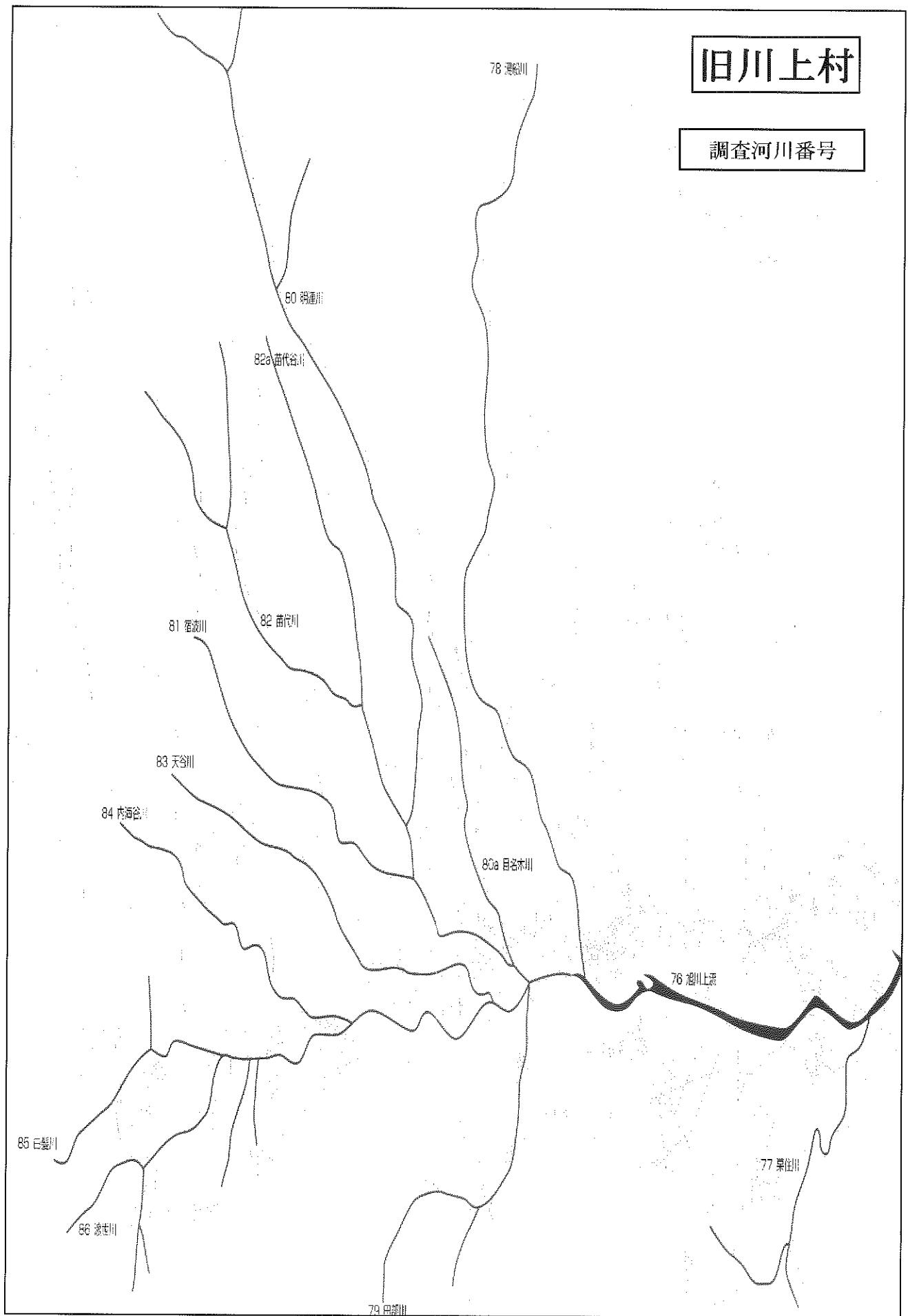
# 旧中和村

調査河川番号



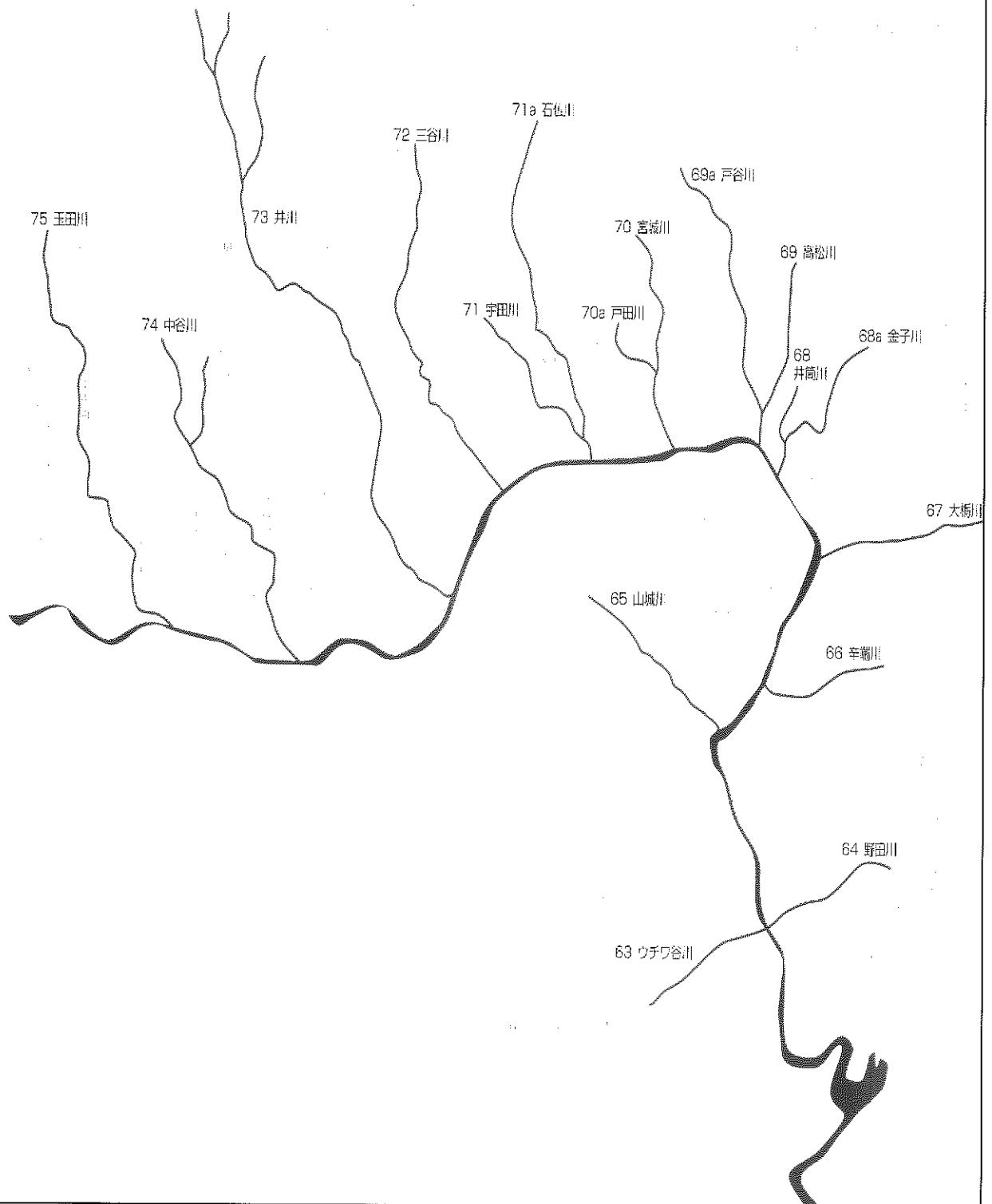
旧川上村

調査河川番号



# 旧八束村

調査河川番号



## 第3-6 景観

### (1) 【地形上・土地利用上の景観特性】

#### ○北房地域

##### 《コスモスの里》

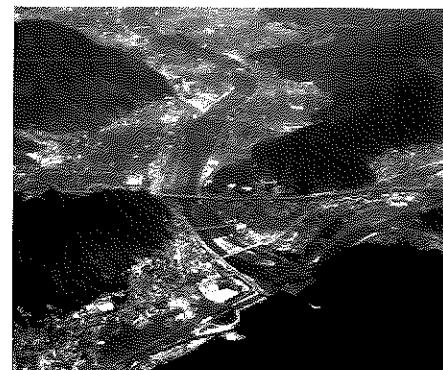
転作田及び有休地(10,000m<sup>2</sup>)を利用して満開のコスモス畠一帯での各種イベントを開催している。



#### ○落合地域

##### 《落合の由来》

落合地域の中央部を県下三大河川である旭川が南下し、この川に備中川、河内川などの支流が落ち合う位置にあり、地名は自然の地形条件より由来している。



#### ○久世地域

##### 《久世トンネル桜》

旭川堤防沿いに整備された県下でも有数の桜並木のトンネルは新しい観光地である。



## ○勝山地域

### 《富原の茶畠》

本地区は標高300mの山間急傾斜地であり、地形の制約等を受けるため昔から地域特産品の一つでもある、お茶作りが各農家で行われている。山肌一面に咲く白い花は、秋の風物詩といわれる。



## ○湯原地域

### 《湯原ダム湖》

県下三大河川の一つ旭川を塞き止め昭和30年に建設された人造湖であり、周囲は53km、貯水量は8,600万トンにもなる。湖畔沿いに県道が通り美しい自然景観の中、ドライブやサイクリングを楽しめる。また、新緑、紅葉の時期は特に美しい。



## ○美甘地域

### 《延風地区の棚田》

真庭市西部に位置し、標高400～500mの山腹に織りなす縞模様が独特の曲線をもって描き出す景観と、四季折々の変化する様も美しい。



## ○八束地域

### 《塩釜の冷泉》

環境省の「名水百選」に選定されている。蒜山三座の中蒜山山麓、標高520mの谷間に突如として湧き出で、東西12m、南北5m、約60m<sup>2</sup>のひょうたん形の小池となっている。



(2) 【集落景観】

○川上地域

《宗利集落》

本地区は、河川沿いの平地部に小規模に集居した集落で、地域特産のそばの栽培により集落景観につとめている。

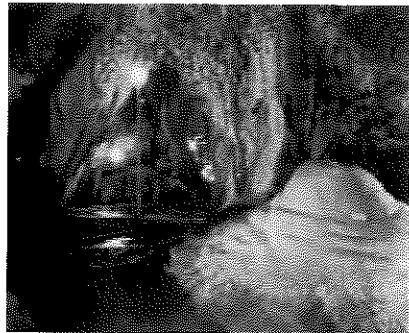


### (3) 【代表的な景観】

#### ○北房地域

##### 《備中鍾乳穴》

文献に残る鍾乳洞としては日本最古と記録され全長800mの洞内は多くの鍾乳石や石柱が4色の照明に照らされ、まさに神秘の世界を表現している。



#### ○落合地域

##### 《醍醐桜》

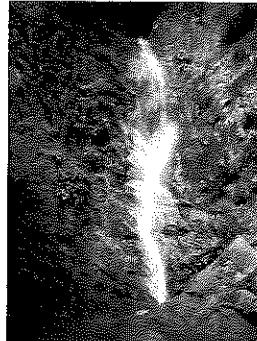
のどかな山郷の丘陵地にあって、ただ1本だけ空に向かってそびえ立つ、この醍醐桜は県下一の巨木といわれ、日本名木百選にも選ばれた見事な桜です。推定樹齢1000年



#### ○久世地域

##### 《足尾滝》

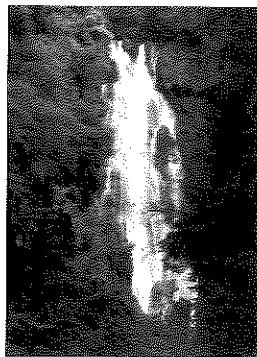
摺鉢山の清水を集め、多量の水が不動巖の絶壁に反響しながら落下する、高さ23mの滝です。



#### ○勝山地域

##### 《神庭滝》

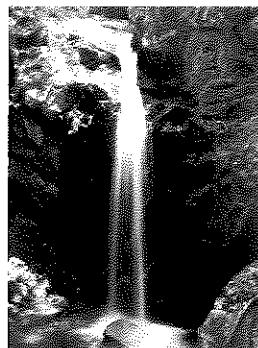
110mの断崖絶壁から落下する瀑布の豪快さは圧巻であり、日本の滝百選、日本百景に選ばれ、県立自然公園と国指定名勝地に指定されている。新緑と紅葉に包まれる瀑布はまことに絶景である。



## ○湯原地域

### 《古屋の不動滝》

不動明王を岩壁にきざんだ神秘的な雰囲気のただよう「古屋不動滝」は、昔、この滝で大蛇を退治したが、それ以来妖怪が出没したため成田不動尊を祀って妖怪を封じたという伝説が伝えられる。



## ○美甘地域

### 《美甘渓谷》

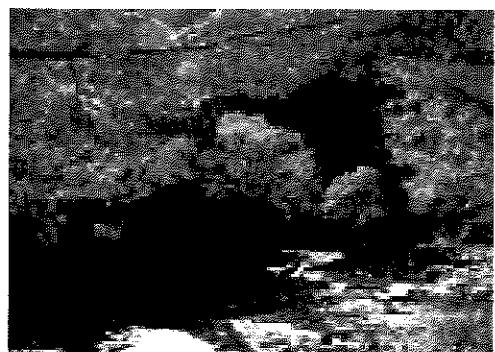
新庄川に沿って約6km続く渓谷は、四季を通じて新緑・紅葉の美しい景色がみえる。



## ○中和地域

### 《山乗渓谷》

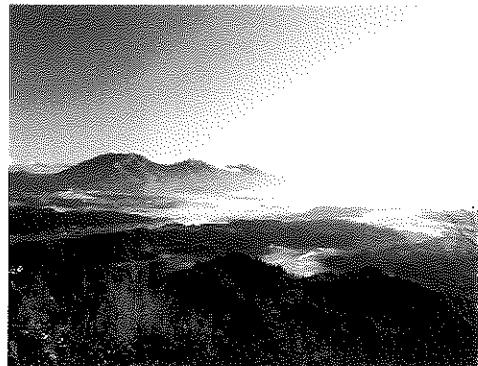
渓谷はブナやナラ林の混じる広葉樹林が広がり、自然的要素の強い渓流景観がみられる。



## ○八束地域

### 《蒜山高原》

蒜山高原の北に上蒜山・中蒜山・下蒜山からなる蒜山三座で形成され原生のブナ林が残り、新緑や紅葉、雪景色など季節ごとに、迫力のある大自然のドラマを見させてくれる。



○川上地域

《三木ヶ原》

一面に広がる牧草地にはジャージー牛が放牧され、牧歌的な雰囲気が漂よい  
雄大な自然の風景美を観察できる。



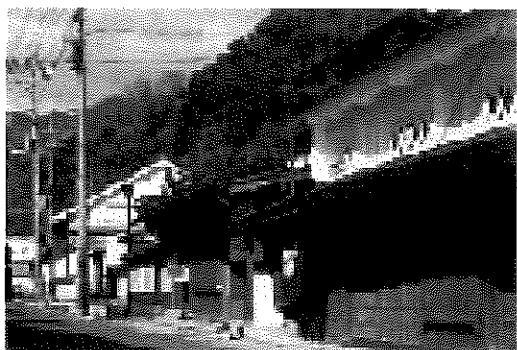
(4) 【その他の市が定めた景観】

## (5) 【昔の代表的な景観】

### ○勝山地域

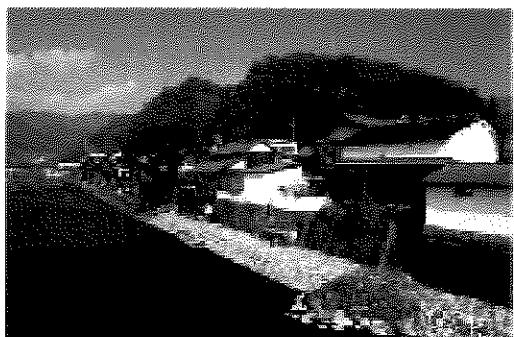
#### 《町並み保存地区》

昭和60年に県下で初めて指定された「町並み保存地区」。白壁の土蔵、高瀬舟の発着場跡、連子格子と白壁の商家のある町並み。辺りが薄暗くなると軒先に立てられた灯籠が、その町並みを優しく写し出してくれます。三浦藩二万三千石の城下町、出雲街道などの交通の要衝として栄え、さまざまな人々や文化が導かれてきました。その歴史と文化は今も人々の心に受け継がれ、懐かしい面影を残しています。



#### 《高瀬舟発着場跡》

旭川の最上流の発着場として、室町時代末期より物資輸送の重要な交通路として栄えていた。町裏川岸に沿ってのびる石畳が、往時を偲ばせる。



### ○久世地域

#### 《旧遷喬尋常小学校》

明治時代に建てられたルネッサンス調のロマンあふれる洋風建築で、国の重要文化財。校名は山田方谷が中国の古典「詩経」の句にちなんで名付けた。



## 第 4 章

### 社会環境調査

## 第4-1 地域指定

### (1) 【国際的な措置（ラムサール条約）】

該当なし

### (2) 【国立公園等国の指定地域】

#### 《大山隠岐国立公園》

蒜山地区は昭和38年（1963年）に、また、毛無山地区は平成14年（2002年）に、  
大山隠岐国立公園（昭和11年（1963年）指定）にそれぞれ編入された。

公園区域は、鳥取県境に連なる蒜山三座と山麓部に広がる壮大な蒜山高原、そして三平山、朝鍋鷲が山～毛無山に至る一帯です。

蒜山一帯には、ナラ、シデ、ブナなどの自然林やヒルゼンスゲ、コケモモ、イワカガミなどの高山植物も自生しており、施設については自転車道、キャンプ場、スキーチャンプ場などが整備され四季を通じて楽しめる。



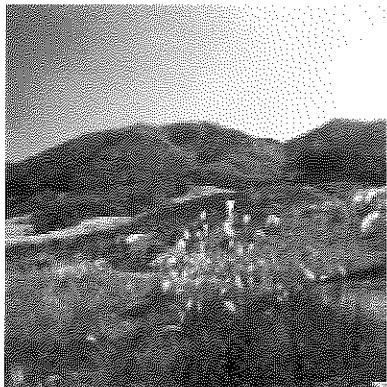
(3) 【県立公園等の指定地域】

《湯原奥津県立自然公園》

旭川上流の湯原湖を中心とする一帯と、吉井川上流の山岳高原を含む地域です。

旭川、吉井川は、ともに北部県境に水源をもち、中国山地を流下し、奥津渓谷、神庭の滝など美しい渓谷や滝を生み出しています。

湯原温泉、奥津温泉などの温泉郷もあり、附近には、広葉樹林も多く、四季を通して美しく彩っています。また、津黒高原の一角にネイチャーセンターや自然観察路の施設も整備されています。



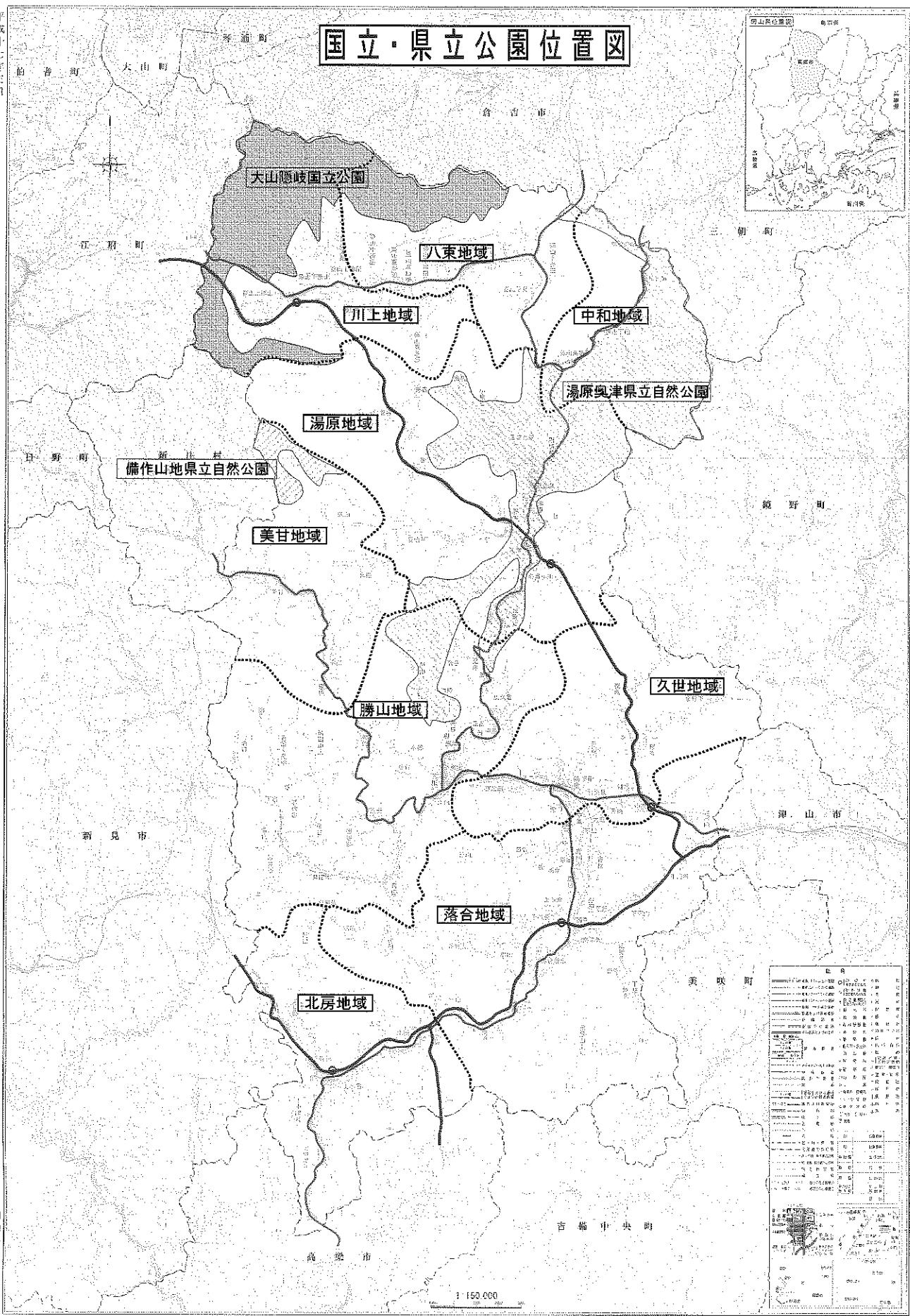
《備作山地県立自然公園》

耳スエ山を源とする山岳公園で森林の大部分は、ブナ、ミズナラ、マルバマンサクなどの落葉広葉樹が群生し四季を通じて変化するすばらしい自然景観と眺望はこの公園の特徴です。



# 國立・県立公園位置圖

平成十七年三月



#### (4) 【その他】

##### ○岡山県自然環境保全地域

※すぐれた景観に恵まれた天然林、野生動物の生息地、湖沼、湿原などの地域

###### ①塩滝地域（真庭市閔、佐引）

礫岩が造りだした特異な景観と希少植物が見られることで知られている。

##### ○郷土自然保護地域

※自然と一体となっている郷土色豊かな風土を形成し、県民に親しまれる地域

###### ②木山地域（真庭市木山）

名刹木山寺を取り囲むようにモミ、シラカシ、スギ、ヒノキの巨木がうっそうと生い茂り散在する歴史的建造物と美しく調和し優れた景観を作り出している。

###### ③高岡神社地域（真庭市上中津井）

代表的なのは、大杉で仁安三年(1168) 現在の宝宮山に奉還されたときの記念樹という杉の巨樹を中心に自然度の高い地域である。

###### ④東湿原地域（真庭市蒜山下長田）

海拔約500mの蒜山高原のほぼ東端に位置する湿原で、旭川の支流・高松川の分流が湿原内を流れている。湿原植生はアゼスゲ、オタルスゲ等の大型スゲが優先している。

###### ⑤天狗の森地域（真庭市仲間、禾津、本庄）

区域内にはブナ、ケヤキ、ミズナラ、クマシデなどを交えた自然度の高い樹林が広がっており鎮守の森として親しまれている。

###### ⑥津黒地域（真庭市蒜山下和）

津黒高原にあり、アカマツやクリ・コナラからなる二次林が見られ、昔から地域住民によって維持管理されてきた里山林が今ものこる。谷筋にはハンノキ等があり、自然度の高い植生も見られる。

○郷土記念物

※樹木または地質鉱物で、県民に親しまれ、由緒のあるもの・・自然保护条例

⑦畠の松並木（真庭市蒜山上長田）

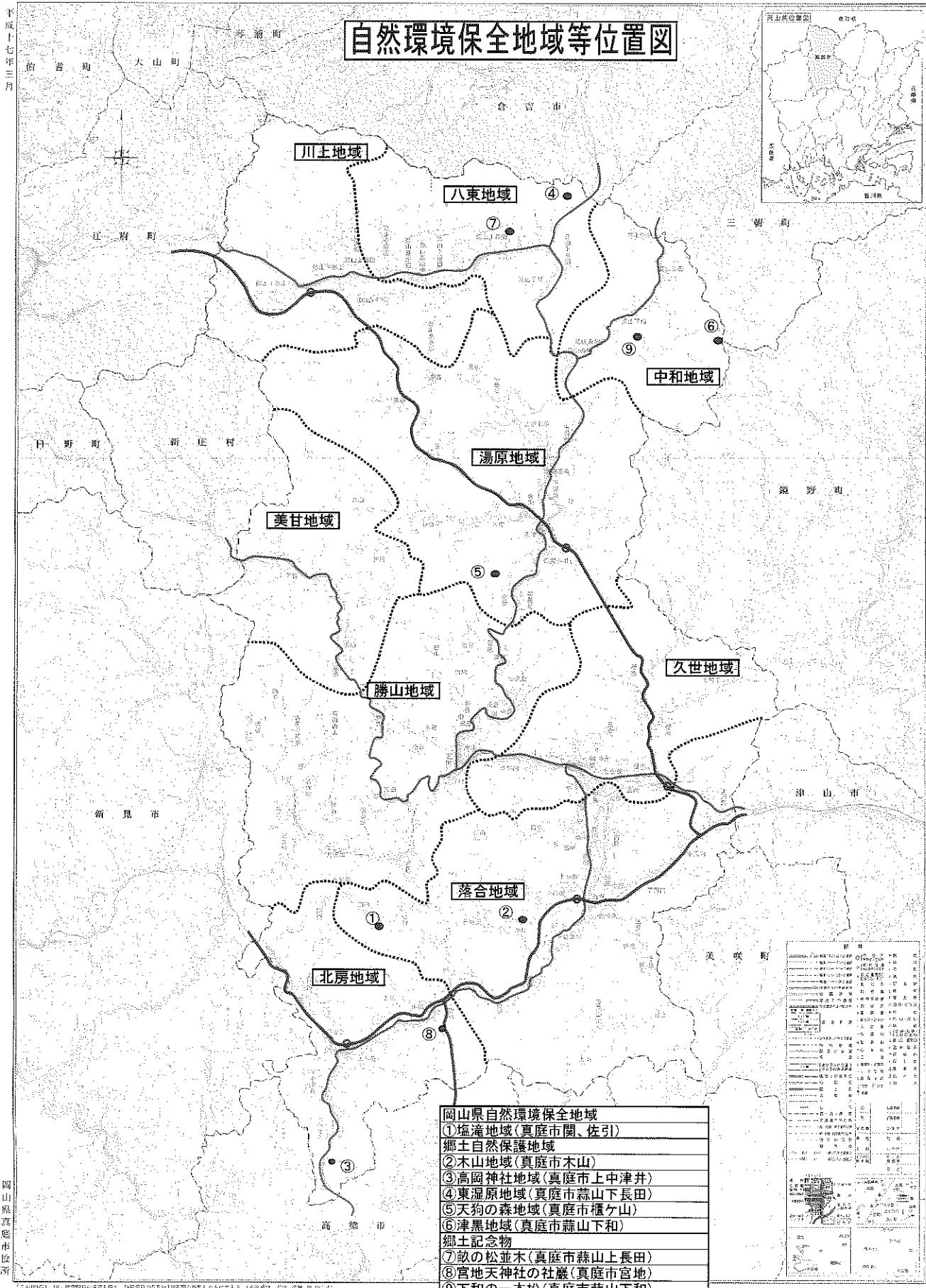
延長1kmに枝を列ねる黒松の並木で樹齢100年と推定される60本が枝振りよく、  
緑濃く並び、松並木の尽きた東方は鳥取との県境である。

⑧宮地天神社の社巖（真庭市宮地）

天神社勧請のとき京都から持ち帰った二十五本の内の一つで樹高三十m、目通  
周囲4.7mの巨木に育っている。推定樹齢700年

⑨下和の一本松（真庭市蒜山下和）

県道久世中和線脇に生息するアカマツの巨木である。一本松の樹下には中和神  
社の御旅所があったといわれ、神木として保護されてきた。推定樹齢400年



## 第4-2 【地域指標】

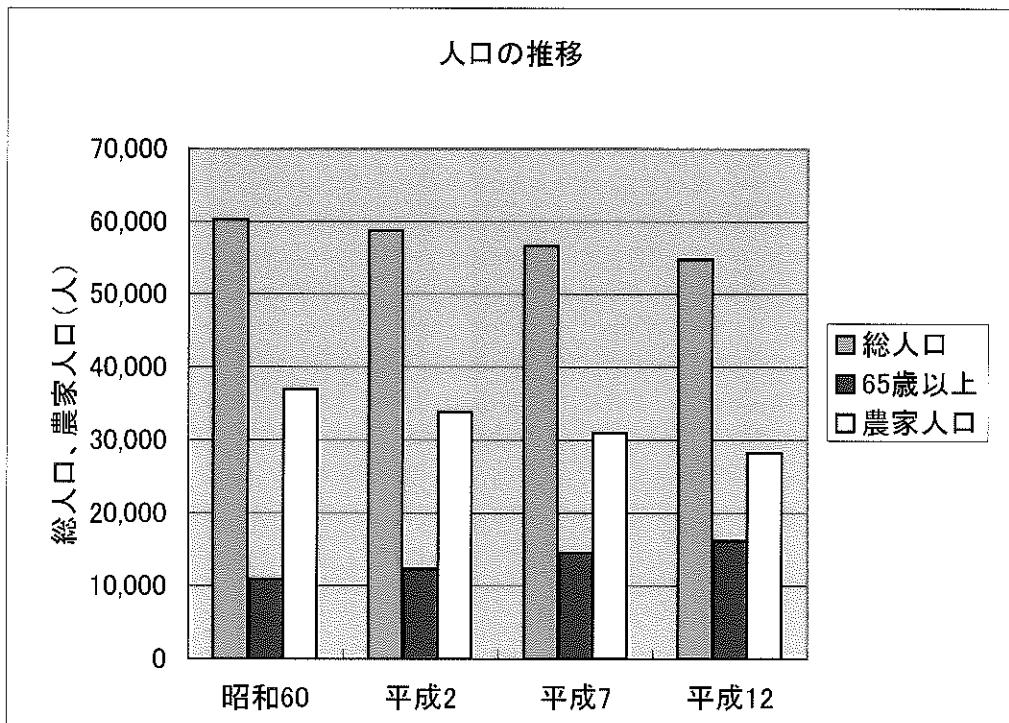
### (1) 人口と世帯数

#### 1) 人口

本市の人口は、昭和50年の61,152人をピークに年々減少し、平成12年には54,747人となっている。昭和60年から平成12年の減少率は9.1%である。高齢化率は、昭和60年の18.1%が平成12年には29.5%と11.4ポイント上昇し、高齢化が進んでいる。この間県は7.2ポイント上昇であるから本市が4.2ポイント上回っている。また農家人口は減少しており、総人口に占める割合は、昭和60年には61.4%であったが平成12年には51.6%と9.8ポイントの減である。

	総人口	65歳以上	農家人口	農家		総人口指数		高齢化率	
				人口率	真庭市	県	真庭市	県	
昭和60	60,196	10,918	36,958	61.4	100.0	100.0	18.1	13.0	
平成2	58,754	12,309	33,884	57.7	97.6	100.5	21.0	14.9	
平成7	56,607	14,533	30,946	54.7	94.0	101.8	25.7	17.5	
平成12	54,747	16,146	28,228	51.6	90.9	101.8	29.5	20.2	
平成17									

※岡山県統計年報、岡山県農林業センサス



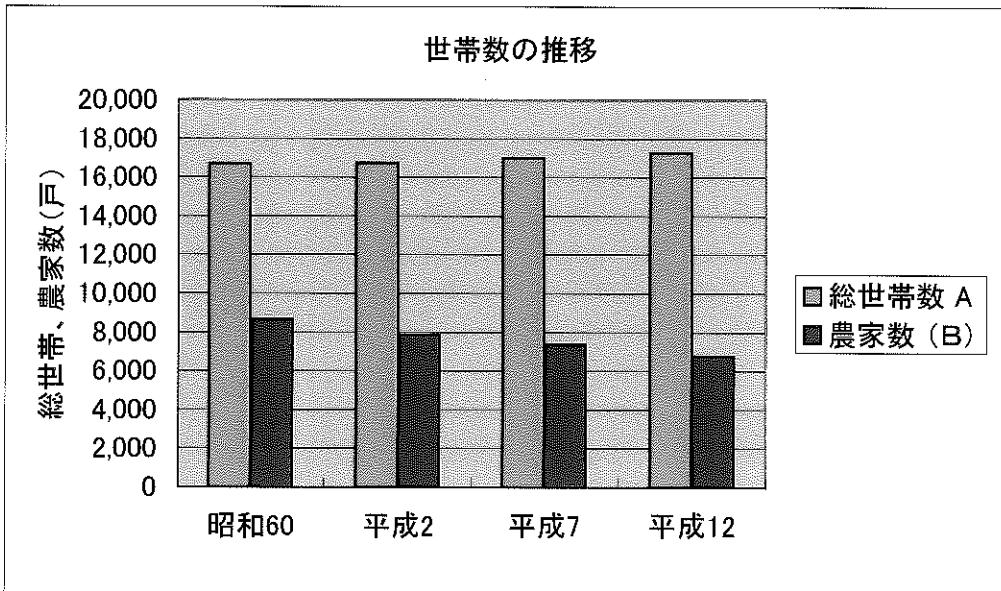
## 2) 世帯数

本市の総世帯数は、人口に比べて増加傾向であり、昭和60年から平成12年の間で総世帯に占める割合も51.7%から39.2%と12.5ポイント減少している。

一方、農家数は世帯数に比べて減少率が高く、この15年間で21.5%にもおよび、総世帯に占める割合も51.7%から39.2%と12.5ポイント減少している。

	世帯数の推移				(単位：戸、 %)	
	総世帯数 A	世帯当たり 人口	農家数 (B)	農家率 B/A*100	真庭市	県
昭和60	16,698	3.6	8,636	51.7	100.0	100.0
平成2	16,749	3.5	7,861	46.9	100.3	104.7
平成7	17,008	3.3	7,370	43.3	101.9	111.2
平成12	17,276	3.2	6,779	39.2	103.5	118.0
平成17						

※岡山県統計年報



## (2) 産業構造

本市の就業人口は減少を続けており、昭和60年には33,379人であったのが平成12年には28,415人と、その減少率は約15.0%である。産業3部門別で見ると、第1次産業が47.0%の減、第2次産業が15.0%の減、第3次産業が5.8%の増となってい。農業を中心とする第1次産業の就業人口は、担い手の高齢化、後継者不足により大幅に減少している。

また、構成比を見ると第1次産業は26.0%から16.2%へと減少し、第2次産業は33.9%から33.8%へとほぼ変らず、第3次産業は40.1%から50.0%へと増加し岡山県の数値を見ても同じような傾向があるが、やはり本市のほうが第1次産業の割合が高い傾向である。

産業3部門別就業者数構成比の推移

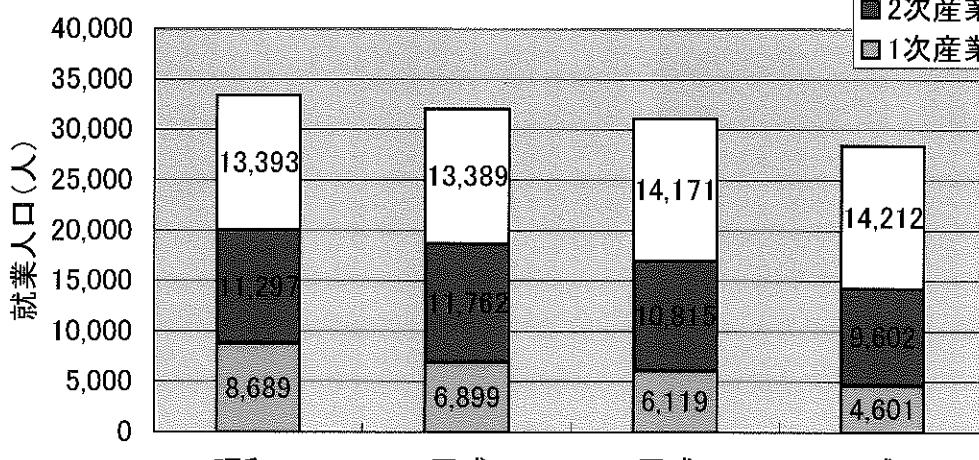
(単位:%)

	1次産業		2次産業		3次産業	
	真庭市	岡山県	真庭市	岡山県	真庭市	岡山県
昭和60	26.0	11.7	33.9	36.3	40.1	52.0
平成2	21.5	9.0	36.7	36.5	41.8	54.5
平成7	19.7	7.9	34.8	34.9	45.5	57.2
平成12	16.2	6.6	33.8	32.6	50.0	60.8
平成17						

※岡山県統計年報

産業3部門別就業別人口の推移

□3次産業  
■2次産業  
▨1次産業



### (3) 農家の動向

#### ①農家数の動向

本市の総農家数は昭和60年に8,636戸であったのが平成12年には6,776戸となり、78.5%減少している。販売農家の増減率を専兼別に見ると、専業農家は7.4%の増、兼業農家は55.3%の減となっている。専業農家は増加しているとはいえ、そのうち男子生産年齢人口のいる世帯の占める割合は減少しており、平成12年では20.8%にすぎない。

昭和60年は71.0%であったことから、担い手不足の問題は年々深刻さをましているといえる。また平成12年の農家数を経営規模に見ると、1.0ha未満の販売農家と自給的農家と合わせると5,695戸で総農家の84.0%を占めており、小規模農家が多く見られる。

専兼別農家数及び自給的農家数の推移 (単位：戸、%)

総農家	小計	販売農家			兼業農家			自給的農家	
		専業農家	兼業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家				
				男子生産年齢人口のいる世帯	合計				
昭和60(A)	8,636	6,561	680	483	5,881	809	5,072	2,075	
平成2	7,592	6,056	670	301	5,386	749	4,637	1,536	
平成7	7,083	5,541	660	199	4,881	661	4,220	1,542	
平成12(B)	6,776	4,968	730	152	4,238	362	3,876	1,808	
B/A*100		75.7	107.4	31.5	72.1	44.7	76.4	87.1	
構成比H.12	100.0	73.3	10.8	2.2	62.5	5.3	57.2	26.7	

※岡山県農林業センサス

経営規模別農家数（総農家） (単位：戸、%)

総農家	小計	販売農家(ha)							自給的農家
		0.3ha未満	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0~5.0	5.0ha以上	
昭和60(A)	8,636	6,561	72	1,972	3,011	1,025	221	164	96 2,075
平成2	7,592	6,056	52	1,861	2,737	950	191	170	95 1,536
平成7	7,083	5,541	39	1,794	2,456	853	171	127	101 1,542
平成12(B)	6,776	4,968	21	1,681	2,185	751	149	89	92 1,808
B/A*100	78.5	75.7	29.2	85.2	72.6	73.3	67.4	54.3	95.8 87.1
構成比H.12	100.0	73.3	0.3	24.8	32.2	11.1	2.2	1.3	1.4 26.7

※岡山県農林業センサス

## ②農地の動向

経営耕地総面積は、農家数とともに減少しており、昭和60年に6,357haであったのが、平成12年には5,402haとなり、15.0%の減である。これに伴って耕作放棄地面積は、この5年間で約1.6倍になっている。

経営耕地面積等の推移

	昭和60	平成2	平成7	平成12
田	4,318	4,191	3,901	3,600
畠	1,556	1,370	1,092	1,371
樹園地	134	160	141	113
採草放牧地	349	300	315	318
耕作放棄地	x	x	278	447

※岡山県農林業センサス

## ③農業生産の動向

販売農家の収穫面積は昭和60年の5,302haが平成12年には1,902haとなり、53.1haの減少している。さらに、乳用牛、肉用牛の飼育頭数についても減少しており、それぞれ26.2%、40.5%の減であるが、採卵鶏は73.1%の増加となっている。

この15年間で、一戸当たりの飼育頭数は、乳用牛については、22.5頭が32.9頭、肉用牛については4.5頭が9.7頭と経営規模の拡大が見られる。

作物別収穫面積（露地）、家畜飼養頭数（販売農家）

	収穫面積 計(ha)	主な作物の収穫面積(ha)					飼養頭数(頭、羽)		
		稲	豆類	工芸農作物	野菜	飼料用作物	乳用牛	肉用牛	採卵鶏
平成2(A)	5,302	2,735	202	142	825	1,241	7,186	3,536	68,400
平成7	4,496	2,808	102	74	516	928	6,513	2,538	43,100
平成12(B)	2,486	1,902	94	133	357	x	5,301	2,105	118,400
B/A*100	46.9	69.5	46.5	93.7	43.3		73.8	59.5	173.1
構成比H.12	100.0	76.5	3.8	5.3	14.4				

※岡山県農林業センサス

#### ④農業近代化施設及び農業機械

##### 1) 農業近代化施設

本市には、各地域ごとに農業近代化施設がある。

##### ○北房地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
JA備北北房総合センター	ライスセンター	上水田	
"	育苗センター	下中津井	水稻、野菜育苗施設
"	農産加工センター	下岩部	味噌、麵加工
特産品ふれあいセンター	コスマスの里	上水田	産地直売
堆肥処理施設	クリーン発酵	上水田	堆肥処理、販売施設

##### ○落合地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
活性化施設	道の駅「醍醐の里」	鹿田	産地直売、加工販売
JA落合センター	ライスセンター	西河内	
落合農産加工所	ふれあいの館	古見	農産物の加工
堆肥処理施設	真庭市畜産公社	関	

##### ○久世地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
JAまにわ	ライスセンター	中島	
"	育苗センター	中島	
"	特産物出荷施設	中島	

##### ○勝山地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
JAまにわ	農産物直売「健康の里」	江川	産地直売、加工販売
"	ライスセンター	月田	
集出荷施設	大豆集荷調整施設	勝山	
農産加工施設	山菜加工施設	勝山	
集出荷施設	三桜集出荷施設	勝山	
農産加工施設	勝山特産物加工場	本郷	
集出荷施設	皇子西集荷場	岩井谷	コンニャク加工施設

○湯原地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
中山間地域活性化施設	ひまわり館	下湯原	産地直売、加工販売
JAまにわ	農産物加工施設	本庄	
JAまにわ	農産物出荷センター	本庄	
JAまにわ	ライスセンター	本庄	
集出荷施設	野菜集出荷施設	種	
農産加工施設	農産加工施設	種	
集出荷施設	野菜集出荷施設	藤森	

○美甘地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
農産加工施設	夢創庵	美甘	うどん・そばの加工
JAまにわ	ライスセンター	美甘	

○中和地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
JAまにわ	ライスセンター	蒜山下和	
集出荷施設	大根集荷場	蒜山吉田	

○八束地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
JAまにわ	ライスセンター	蒜山	
蒜山酪農	牛乳処理加工施設	蒜山中福田	
活性化施設	道の駅「蒜山高原」	蒜山富山根	産地直売、加工販売

○川上地域

種 別	名 称	位 置	施設の内容
JAまにわ	ライスセンター	蒜山上福田	
活性化施設	道の駅「風の家」	蒜山上徳山	産地直売、加工販売
堆肥処理施設	川上堆肥センター	蒜山西茅部	堆肥製造施設
集出荷施設	トマト集出荷施設	蒜山上福田	
集出荷施設	花卉集出荷施設	蒜山上福田	
農産加工施設	そば乾燥施設	蒜山下徳山	

## 2) 農業機械

平成12年度現在で販売農家が所有している農業機械の台数は下表のとおりである。販売農家100戸当たり台数は、トラクター161台、田植機71台、自脱型コンバイン36台、米麦用乾燥機21台となっている。1台当たり面積をみると、バインダー以外の機械全てが岡山県の値を上回っており、農業機械の面では、ほぼ県並みと思われる。

農業機械の所有台数（販売農家-平成12年）(単位：台、ha)

		動力耕うん機、トラクター					
		実農家 (戸)	計	歩行型	15馬力 未満	15~30	30馬力 以上
真庭市		4,650	7,478	2,596	1,282	3,056	544
岡山県		58,800	90,093	32,220	17,788	35,845	4,240
販売農家100戸 当たり台数	真庭市		161	56	28	66	12
	岡山県		153	55	30	61	7
1台当たり 面積	真庭市		0.7	2.0	4.0	1.7	9.3
	岡山県		0.6	1.8	3.3	1.6	13.7
		動力 防除機	スピード スプレヤー	動力 田植え機	バイン ダー	自脱型 コンバイン	米麦用 乾燥機
真庭市		3,096	35	3,300	2,226	1,669	975
岡山県		41,038	481	44,461	16,940	38,606	25,181
販売農家100戸 当たり台数	真庭市	67	1	71	48	36	21
	岡山県	70	1	76	29	66	43
1台当たり 面積	真庭市	1.2	102.9	1.1	1.6	2.2	3.7
	岡山県	1.2	98.6	1.1	2.8	1.2	1.9

資料：岡山県農業センサスより

注) 1台当たり面積は、動力耕うん機、トラクター、動力防除機、スピードスプレヤーは経営耕地面積で、動力田植機、バインダー、自脱型コンバイン、乾燥機は経営耕地の田面積で算出した。

## ⑤認定農業者

認定農業者とは、将来にわたって経営計画を立て、意欲のある農業者を市町村が認定し、研修会、資金支援、農用地集積のための支援、農業機械・施設のリース料に対する支援を行い、さまざまな面からバックアップしていく制度である。

本市では、平成17年現在で282人が認定されており、その内訳を営農類型別に見ると、単一経営が125人、準単一経営が117人、複合経営が40人となっている。

また、作目別に見ると、最も多いのが稲作で88人、次いで酪農の78人となっている。

認定農業者

単一経営		準単一経営		複合経営	
作目	人数	作目	人数	作目	人数
稲作	11	稲作+	77		40
雑穀・芋・豆類	1	施設野菜+	7		
施設野菜	6	露地野菜+	6		
露地野菜	4	施設果樹+	6		
施設果樹	3	露地果樹+	10		
露地果樹	10	施設花き+	2		
施設花き	8	酪農+	5		
その他作物	1	肉用牛+	3		
酪農	73	工芸作物+	1		
肉用牛	4				
養鶏	2				
その他の畜産	2				
小計	125	小計	117	小計	40
				合計	282

※真庭市農林土木課より（平成18年3月現在）

## ⑥水稻作業の請負わせ、請負い農家数

### ○請負わせ農家数

平成7年から平成12年の5年間に、請負わせ農家数は30.7%減少している。ただし、減少しているとは言え、水稻作付け農家数も減少している。また作業別に見ると、乾燥・調整作業が最も多く、81.0%である。

水稻作業の請負わせ農家数（販売農家）

(単位：戸、%)

△	水稻作付農家数	請負わせ農家実数	全作業請負わせ農家数	部分作業請負わせ農家数						
				実農家	育苗	耕起・代播	田植え	防除	刈取り	乾燥脱穀
平成7(A)	5,822	5,324	308	5,324	2,637	972	1,696	386	3,227	4,787
平成12(B)	4,246	3,689	111	3,583	1,175	225	799	42	1,873	3,440
平成17(B)										
B/A*100	72.9	69.3	36.0	67.3	44.6	23.1	47.1	10.9	58.0	71.9
構成比平成7年	100.0	91.4	5.3	91.4	45.3	16.7	29.1	6.6	55.4	82.2
構成比平成12年	100.0	86.9	2.6	84.4	27.7	5.3	18.8	1.0	44.1	81.0

※岡山県農林業センサス

### ○請負農家数

水稻作業の請負農家数は、請負わせ農家数の減少にはんして増加しており、平成7年と平成12年とを比較すると237戸から274戸へと15.6%増加率である。部分作業を請負っている農家数は16.4%増、全作業を請負っている農家数は19.4%の減少である。

水稻作業の請負農家数

	計	部分作業	全作業
平成7(A)	237	226	31
平成12(B)	274	263	25
平成17(B)			
B/A*100	115.6	116.4	80.6

※岡山県農林業センサス

## ⑦JAとの連携

本市は、JA備北(北房地域)、JA真庭(北房を除く地域)から構成されている。

上記の2JAが重点的に取組んでいる事項として、下記のような項目がある。

- 普及センター、市と協議し集落営農の推進と組織育成の支援を行う。
- 地元で生産したものを地元で消費する「地産地消」を展開する。
- 米について、あきたこまち、コシヒカリを推進し、売れる米づくりを目指す。  
また、蒜山地域では酒米用としてアキヒカリを推進する。

## 第4-3 観光レクリエーション

### (1) 主要な観光レクリエーション資源・施設及び機能

真庭市は中国山地のほぼ中央の県北部に位置し、市域の中央に旭川が流れ、流域には自然が生み出した景観、観光地が点在している。また、古来より山陰と山陽を結ぶ出雲街道及び大山道を中心に入り文化の交流が盛んに行われたため歴史的遺産が各地域で多く見られています。

#### ○北房地域

項目	名称	概要
自然エリア	備中鍾乳穴	文献に残る鍾乳洞としては日本最古。多くの鍾乳石や石柱が4色照明に照らされ、まさに神秘の世界。
	コスモス街道	“コスモスの里”として有名な北房。秋になると、満開のコスモスが美しく彩る。10月には「秋桜まつり」も開催。
歴史エリア	大谷1号墳	全国でも例のない五段の方墳。7世紀後半に造られたもので、多くの珍しい金銅製品が出土した。
リゾートエリア	北房ほたる公園	「ホタルの里ほくぼう」のシンボル施設。豊かな緑と池、ミニ資料館や子どもの遊び場もあり、休憩にピッタリな公園。
	なかつい陣屋	陣屋跡地に当時の面影をイメージして建てられた宿泊施設。ここを拠点に古墳めぐり、ホタル観賞、コスモス散策など四季折々の豊かな自然を楽しめる。
イベントエリア	ホタル祭り	6月初旬から下旬にかけて、備中川の川辺に無数のゲンジボタルがイルミネーションを描く。毎年6月第2土曜日には、ほたる公園で「ほたるまつり」が開催される。
	北房ぶり市 (毎年2月予定)	月江戸時代の初めころから伝わる伝統行事。古い町並みを会場に昔ながらのぶり小屋が立ち並ぶ。特産品や植木などの露天も並ぶ。

○落合地域

項目	名称	概要
自然エリア	醍醐桜	なんと推定樹齢1000年というこの桜の大樹は、後醍醐天皇が隠岐へ移される際にこの桜を賞されたことから、この名前がついたといわれている。
	塩滝	礫岩から流れ落ちる約30mの滝は、周辺に奇岩や特有の植物も多く見られ、不思議な景観を見せている。
	普門寺の四季桜	春と晩秋に咲く桜。秋には同時に紅葉も楽しめるのが魅力。11月には桜と紅葉祭りが開催される。
歴史エリア	木山神社	神社は山麓にあり、農耕牛馬の神様としてにぎわう。
リゾートエリア	落合総合公園	豊かな自然の中でのふれあいと、充実した各種スポーツ施設を揃えた広大な総合公園。子供が遊べる広場や、野外施設では、イベントも行われる。
イベントエリア	落合納涼花火大会 (毎年7月予定)	この地方では伝統ある花火大会で、約2500発の打ち上げと仕掛け花火が楽しめる。

○久世地域

項目	名称	概要
自然エリア	久世のトンネル桜	旭川沿いに整備された県下でも有数の桜並木のトンネルは新しい観光スポット。4月1日から15日まで「天領くせ桜まつり」が開催される。期間中はぼんぼりのライトアップもされ、夜桜も楽しむことができる。
歴史エリア	旧遷喬尋常小学校	明治時代に建てられたルネッサンス調のロマンあふれる洋風建築で、国の重要文化財。学校名は山田方谷が中国の古典「詩経」の句にちなんで名付けた。
リゾートエリア	高仙の里よの	古代の白猪屯倉（しらいのみやけ）をイメージして造られた、周囲の自然と親しめる農村型リゾート。
イベントエリア	久世祭り (毎年10月予定)	元禄時代から行われている祭りには、町内5神社から御輿が繰り出し、その後を10車のだんじりが鐘と太鼓の町まわり囃子を奏でて練り歩く。巡行後には山車をぶつけ合う喧嘩だんじりが行われる。

○勝山地域

項目	名 称	概 要
自然エリア	神庭の滝	断崖絶壁を落下する滝の豪壮さは圧巻。日本百景日本の滝百選に選ばれ、岡山県立自然公園に指定されている。
歴史エリア	勝山並み保存地区	連子格子と白壁の商家の町並みや白壁の土蔵、高瀬舟の発着場跡など、往時の文化は今も人々の心に受け継がれ、いつまでも忘れる事なく、歴史の面影を残している。
リゾートエリア	勝山運動公園	自然に囲まれた施設には、野球場・テニスコートをはじめ、多目的広場やキャンプ場もある。
	勝山美しい森	自然を生かした滞在型のレクリエーションの森や、テントサイト、パンガロー、野外音楽堂がある。
イベントエリア	勝山お雛祭り	3月初旬、町並み保存地区から新町商店街にかけて、各家々の軒先に江戸時代から現代、創作雛などが飾られる。その数160数軒で、この地方の春の風物詩となっている。
	勝山祭り (毎年10月予定)	高田神社の秋の大祭「勝山祭り」が催されます。「喧嘩だんじり」とも呼ばれるこの祭りは、各地区ごとに「だんじり(山車)」が組まれ、夜になると総代のちょうちんを合図に、九台のだんじりが激しくぶつかり合い、勝山が最も熱く賑わう瞬間です。

○湯原地域

項目	名 称	概 要
自然エリア	湯原ダム湖	県下3大河川の一つ旭川を塞ぎ止め昭和30年に建設されたダム湖で、湖畔沿いを県道が通り美しい自然景観の中、ドライブやサイクリングを楽しめる。新緑、紅葉の時期は特に美しい。
	古屋の不動滝	巨岩に囲まれた冷気漂う渓谷で、夏でもヒンヤリ。谷沿いに不動滝への遊歩道がある。
リゾートエリア	湯原温泉郷	山肌が迫る谷間の温泉郷で、湯原・下湯原・真賀・足・郷六にわかれます。背景に湯原ダムをのぞむ中、露天風呂「砂湯」につかるダイナミックな温泉は、全国露天風呂番付では西日本の横綱を誇っています。
	露天風呂の日 (毎年6月予定)	昭和62年から全国に先駆けて6月26日を「露天風呂の日（6.26=ロテンブロ）と名付け、天与の恵みである温泉を愛するお客様に感謝するイベント。
	はんざき祭り (毎年8月予定)	生きた化石といわれる「はんざき（天然記念物でオオサンショウウオのこと）」にちなんだ湯原温泉の夏のイベント。はんざきの山車と踊りで練り歩く。

○美甘地域

項目	名称	概要
自然エリア	美甘渓谷	新庄川の中流に約6kmの渓谷が続き、新緑・紅葉の美しい景色に加えて、絶好の釣りのポイントとなっている。
歴史エリア	出雲街道宿場町	江戸時代、出雲街道の宿場町として栄えた街並みは今でも当時の道幅を保っており、そばに立ち並ぶ家々が宿場の面影を残している。
リゾートエリア	クリエート菅谷	自然とのふれあいを楽しめる農村型リゾートで陶芸や木工、そば打ち体験ができる「土夢木夢の館」や「夢創庵」などがある。
	大久留美山森林公園	眼下には美甘渓谷が流れ、遠くは大山と中国地方の山々が一望できる林間広場と、3ヶ所の展望台があり、森林美を満喫できる。
イベントエリア	美甘天神祭り (毎年7月予定)	150年の歴史を誇る天神祭をベースに、多くのイベントが行われる。花火は周囲の山々山に音が響き渡り迫力満点。

○中和地域

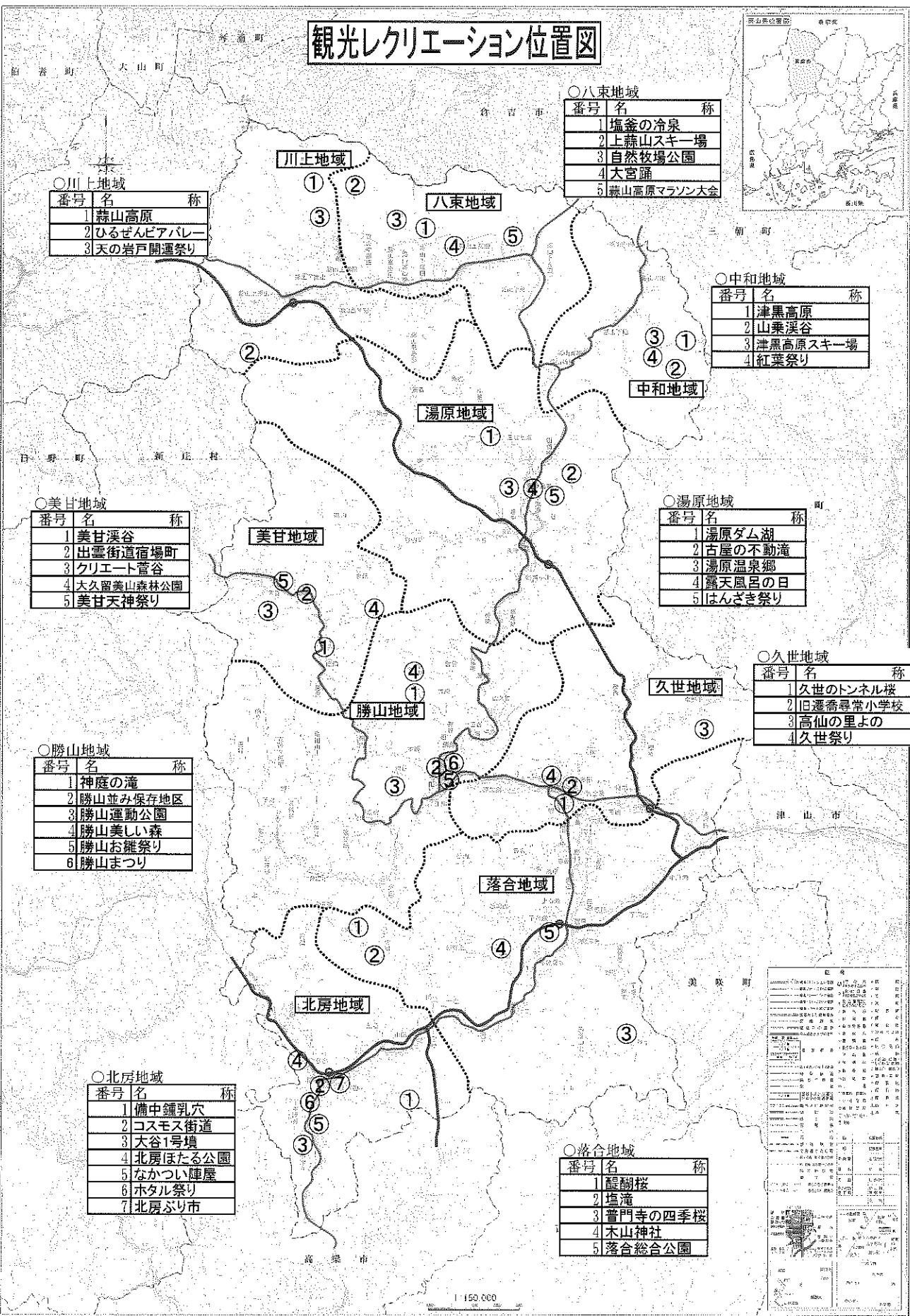
項目	名称	概要
自然エリア	津黒高原	標高700～1000m級の山々に囲まれた津黒高原は、蒜山や大山も眺望できる雄大な景観が魅力で、オートキャンプ、スキーなど四季折々の自然が楽しめる。
	山乗渓谷	山乗山を源とする渓谷で、上流部には天然ブナ林や多種多様な自然が手付かずの状態でのこる。全長400mの山乗遊歩道には不動滝、熊野三社権現など見どころも多く、特に秋の紅葉が素晴らしい。
リゾートエリア	津黒高原スキー場	変化のあるコースレイアウトで、スノーボード、スノースクートも前面滑走OK。蒜山・大仙を眺めながらの滑走は爽快。
イベントエリア	紅葉祭り (毎年11月予定)	この地域は、津黒高原・山乗渓谷・植杉渓谷を拠点に紅葉まつりが行われている。

○八束地域

項目	名称	概要
自然エリア	塩釜の冷泉	非常に透明度の高い、中蒜山の麓に湧く名水百選の泉。
リゾートエリア	上蒜山スキー場	上蒜山山麓の百合原牧場がゲレンデ。全くの初心者やファミリーから初・中級向きのスキー場なので、誰でも気軽に楽しめる。
	自然牧場公園	4~11月はジャージー牛が放牧され、公園のいたる所でのんびり草を食べる様子が見られる。また、子ども向けの遊具施設や、近くには山菜園があり、家族で楽しめる。
イベントエリア	大宮踊 (毎年8月予定)	国指定重要無形文化財で連夜踊り継がれる蒜山の神社やお寺の盆踊り。雅やかな踊りは古代の舞に近く、変装踊りの“テンコ”は人々の笑いを誘う。
	蒜山高原マラソン大会 (毎年9月予定)	ランナー3000人を数える大きな大会。コースは日本陸連公認の3キロ、5キロ、10キロ、ハーフマラソン。老若男女が秋の蒜山高原を走り抜ける。

○川上地域

項目	名称	概要
自然エリア	蒜山高原	上蒜山、中蒜山、下蒜山からなる蒜山三座は「大山隠岐国立公園」に指定されていて、美しい大自然の姿そのまま。ふもとに広がる蒜山高原の東側が八束エリア。ジャージー牛が草を食む放牧風景の中で楽しい休日が過せる。
リゾートエリア	ひるぜんベアパレス スキー場	スノーボードOKで、ナイター設備も整備された都会派スキー場。アクセスの良さが魅力。
イベントエリア	天の岩戸開運祭り (毎年6月予定)	高天原伝説にちなんだ「天の岩戸」。臨空館では祭礼が行われたり、参拝者の休憩所となっている。ここからの蒜山高原の雄大な眺めはすばらしい。



## 第4-4 【土地利用】

### (1) 【現況土地利用】

旭川及び支流流域沿い及び南部は吉備高原に属し、北部は蒜山高原、津黒高原に耕地が開けている。また山間部には小団地の耕地が点在している。

#### ○北房地域

地域の農地は、備中川及びそれに注ぐ支流7河川沿いに形成された地域と、台地に形成された農地に分かれている。基盤整備状況は地形的な制約等により、現在までの整備率は全水田面積の約59%とやや低く将来的にも68%程度にとどまる予定である。また、単位当たりの生産性も低く、機械化の不可能な山間部にあっては、耕作放棄から山地化がすすんでいる。

畑は、台地と丘陵地に形成されており、以前は葉たばこ、桑園として利用されていたが、現在では果樹、野菜等に切り替えが進んでいる。しかし、生産性は極めて低く、山間谷間、急傾斜地においては、山地化が進んでいる。

#### ○落合地域

地域の現状は、中心部を縦断する旭川とその支流である備中川、関川、日野上川、西河内川、河内川流域沿いの水田と山間に点在する天水田及び急傾斜地の畑が主体である。その内訳は、河川水田60%、溜池水田12%、天水田28%である。

この内、基盤整備を実施した農用地は48%を除いては、区画面積は小さく、しかも不整形で生産性向上の阻害要因をなしている。

畑は、一部に特用産物の栽培がみられるが、総じて生産性が低い、高度利用が図られていない。

#### ○久世地域

本地域の現状は、ほとんどが旭川沿いに開けており、土地は肥沃で収量も高いが、大半は水稻で今後水田の振興を図るために、水田ブロックローテーションを積極的に推進し、地域輪作農法の定着と集団化を図ることが望まれる。

### ○勝山地域

地域の現状は、河川に沿った水田と山間に散在する棚田、山腹に点在する急斜面の畑がその主体をなしており、水田のは場整備可能な面積に対しては、約82%に達しており、水田は山間伏流水52%、河川水系48%でそのうち50%は不整形で生産性向上の阻害要因となり生産性も低い。

### ○湯原地域

本地域は、山岳地形のため耕地は河川沿いにややまとまっている程度であり、山合いの棚田が相当数におよんでいる。これら耕地の排水不良及び冬期の積雪のため裏作はなされず、ほとんどが单作田である。このうち、ほ場整備を実施した農用地は50%を除いては、区画面積は小さく、しかも不整形で生産性の向上の阻害要因をなしている。また、高齢化等のため耕作放棄地が目立ってきている。

畑は、一部に特用産物の栽培がみられるが、総じて生産性が低く高度利用が図られておらず、耕作放棄地が広がっている。

### ○美甘地域

地域の現状は、新庄川、鉄山川沿い及びこの支流部分にわずかに点在しているが、山間伏流水系においては、一毛作であり生産性は低い。畑は傾斜度の高い山間に散在するものが多く、団地性にとぼしく自然的経済的な条件の悪いものが殆どで植林化されつつある。

### ○中和地域

地域の現状は、森林が全体の85%で最も多く、次に農用地が約6%となっている。農用地の大半は水田でありその80%は基盤整備済みである。畑は不整形であるが殆どの耕地が農家に隣接している。また、山ぎわの農地は耕作放棄の傾向にある。

## ○八束地域

地域の現状は、森林が全体の60%で最も多く、次いで農用地が30%となっている。農用地は山麓部の草地、高原部の畑地、旭川流域の平坦部の水田に大別され水田の約80%は基盤整備済みであるが、畑については不整形で農道、耕作道の不備な箇所もある。また、近年耕作放棄地や農地と隣接している山林・原野に別荘等の分譲地がみられる。

## ○川上地域

土地利用は農用地と宅地を除くと、森林・原野及びその他が全体の約85%を占め、丘陵部を中心に展開している。また農用地は河川沿いといくつかの台地上に開け、水田は主に河川沿いにあり、約75%が基盤整備済みである。草地及び畑地は主に台地上に展開され大半が不整形である。

## (2) 【土地利用規制】

本市の主な土地利用規制は次の通りである。

	農振農用 地区域	自然公園 (国、県指定)	都市計画 区域	都市用途 区域	蒜山地域 保全条例	市開発事業 調整条例
北房地域	○					○
落合地域	○		○	○		○
久世地域	○		○	○		○
勝山地域	○	○	○	○		○
湯原地域	○	○	○			○
美甘地域	○	○				○
中和地域	○	○				○
八束地域	○	○			○	
川上地域	○	○			○	

※農振農用地区域（農地法・農振法）、

自然公園（自然公園法）

### (3) 【土地利用状況の変遷】

本市の総面積は82,843haであり、平成12年における利用目的の構成比を見ると、農用地が8.4%、森林原野80.2%、宅地が1.5%、その他9.9%となっている。近年、宅地への転用によって農用地は減少しており、平成7年と平成12年を比較すると、4.3%の減である。

土地利用の推移 (単位: ha, %)

	農用地	森林・原野	宅地	その他	総面積
平成7年(A)	7,256	66,752	1,241	7,594	82,843
平成12年(B)	6,947	66,443	1,279	8,174	82,843
平成17年(B)					
B/A*100	95.7	99.5	103.1	107.6	
構成比(平成17年)	8.4	80.2	1.5	9.9	100.0

※岡山県統計年報、岡山農林水産統計年報

## 第4-5 関連計画

### (1) 環境に関する上位計画

真庭市においては、長期計画(5年)に基づき下記の通り予定してます。

#### ○落合地域

農業用河川工作物応急対策事業 玄沢地区 (平成20年新規)  
元気な地域づくり交付金(基盤整備促進) 福田開田地区 (平成20年新規)  
元気な地域づくり交付金(基盤整備促進) 赤野地区 (平成22年新規)

#### ○久世地域

農業用河川工作物応急対策事業 黒尾地区 (平成18年新規)  
農業用河川工作物応急対策事業 黒尾三坂川地区 (平成19年新規)

(2) 既存計画や実施中の事業内容及び進捗状況等

真庭市においては、合併前に旧町村対応で基盤整備事業を行っている、詳細については、下記の通りである。

○ 北房地域

農用地は、備中川、中津井川及び中小河川の流域に沿った水田及び畠と、山間部に点在した水田及び畠によって構成されている。整備は昭和43年から平成18年にかけて団体営、土地総、中山間、経営体育成事業により大半の整備が行われてきた。

関連事業（既存計画）

番号	事業名	地区名	事業量	工期	進捗状況	備考
①	土地総合整備事業	清安	A=7.2ha	H1～H2	100%	
②	同和対策事業	空	A=6.8ha	H1～H2	"	
③	県営土地総合整備事業	井尾	A=18.8ha	H3～H6	"	
④	土地総合整備事業	皆部	A=11.2ha	H4～H8	"	丸山工区
⑤	"	"	A=19.9ha	H4～H8	"	上合工区
⑥	"	"	A=1.2ha	H5～H8	"	清藤工区
⑦	"	"	A=6.3ha	H6～H8	"	三谷工区
⑧	中山間地域総合整備事業	皆部	A=7.3ha	H4～H7	"	大畠工区
⑨	"	"	A=0.7ha	H6～H7	"	安早工区
⑩	"	"	A=5.7ha	H4～H6	"	植木工区
⑪	"	"	A=2.9ha	H7～H8	"	神蔵工区
⑫	"	"	A=11.8ha	H7～H8	"	平田工区
⑬	県営ほ場整備事業	上水田南部	A=32.7ha	H9～H14	"	
⑭	基盤整備促進事業	横山	A=14.4ha	H10～H13	"	
⑮	経営体育成基盤整備事業	中津井	A=4.6ha	H12～H15	"	土井工区
⑯	"	"	A=7.1ha	H13～H16	"	藤田工区
⑰	"	"	A=25.0ha	H14～H18	90%	平田工区

※北房支局資料及び補助事業（H1～H17）対象

整備率（旧町村別）

総耕地面積	整備面積	整備率 (%)
611.6ha	363.0ha	59.4%

北房支局資料

## ○ 落合地域

旭川、備中川、河内川、西河内川等の流域周辺の水田と、山間に点在する畠地帯に大別される。整備は昭和40年代から現在までに第1次構造、団体営、土地総、経営体育成事業等により整備が行われてきた。

関連事業（既存計画）

番号	事業名	地区名	事業量	工期	進捗状況	備考
①	中山間地域総合整備事業	落合	A=6.4ha	H10～H16	100%	日の爪工区
②	〃	〃	A=21.7ha	〃	〃	野川工区
③	〃	〃	A=4.8ha	〃	〃	西河内工区
④	〃	〃	A=9.8ha	〃	〃	平松大日工区
⑤	〃	〃	A=12.9ha	〃	〃	赤野工区
⑥	〃	〃	A=6.0ha	〃	〃	美川工区
⑦	経営体育成基盤整備事業	鹿田	A=29.0ha	H10～H17	〃	1工区
⑧	〃	〃	A=21.2ha	〃	〃	2工区
⑨	〃	〃	A=24.5ha	〃	〃	3工区

※落合支局資料及び補助事業（H1～H17）対象

整備率（旧町村別）

総耕地面積	整備面積	整備率(%)
1,112ha	534ha	48.0%

落合支局資料

## ○ 久世地域

農用地の大部分は南部に存在しており、北部は日木川、余川沿いに点在している。整備は昭和30年代から現在までに第1次構造、団体営、土地総、農村モデル事業等により整備が行われてきた。

関連事業（既存計画）

事業名	地区名	事業量	工期	備考
該当ナシ				

※久世支局産資料及び補助事業（H1～H17）対象

整備率（旧町村別）

総耕地面積	整備面積	整備率(%)
308.0ha	190.0ha	61.7%

久世支局資料

## ○ 勝山地域

旭川及びその支流新庄川、月田川に沿って開けた小盆地とこれらを囲む山々の間に農用地が点在している。整備は昭和40年代から平成元年にかけて団体営、山振、土地総事業により整備が行われてきた。

### 関連事業（既存計画）

事業名	地区名	事業量	工期		備考
該当ナシ					

※勝山支局資料及び補助事業（H1～H17）対象

### 整備率（旧町村別）

総耕地面積	整備面積	整備率 (%)
650.0ha	202.0ha	31.1%

勝山支局資料

## ○ 湯原地域

旭川及び支流河川に沿って耕地が拓けている。整備は昭和42年から平成10年までに第1次構造、団体営、土地総、新農構、中山間総合整備事業により整備が行われてきた。

### 関連事業（既存計画）

番号	事業名	地区名	事業量	工期	進捗状況	備考
①	土地改良総合整備事業	牧	A=4.5ha	H1～H2	100%	
②	中山間地域総合整備事業	南ひるぜん	A=22.0ha	H6～H10	"	
③	基盤整備促進事業	小谷安井	A=9.0ha	H9～H11	"	

※湯原支局資料及び補助事業（H1～H17）対象

### 整備率（旧町村別）

総耕地面積	整備面積	整備率 (%)
465.0ha	230.2ha	49.5%

湯原支局資料

## ○ 美甘地域

耕地のほとんどを占める水田は、新庄川、鉄山川とそれにそそぐ、各支流沿いに散在している。整備は昭和55年から平成元年に団体営、地域改善、県営ほ場整備事業により、自然的条件、地域的条件に即応したほ場整備については、おおむね整備済みである。

### 関連事業（既存計画）

事業名	地区名	事業量	工期		備考
該当ナシ					

※美甘支局資料及び補助事業（H1～H17）対象

### 整備率（旧町村別）

総耕地面積	整備面積	整備率 (%)
340.0ha	158.0ha	46.5%

美甘支局資料

## ○ 中和地域

当地域は、旭川の支流である下和川沿いに耕地が開けている。中北部は比較的に団地性に富んでいるが、南部は地形の制約を受けている。整備状況は第2次構造改善、団体営、土地改良総合整備事業により大半の整備が行われてきた。

### 関連事業（既存計画）

事業名	地区名	事業量	工期		備考
該当なし					

※中和支局資料及び補助事業（H1～H17）対象

### 整備率（旧町村別）

総耕地面積	整備面積	整備率 (%)
258.0ha	201.0ha	77.9%

中和支局資料

## ○ 八東地域

本地域の農用地は、旭川沿いに水田、高原部に畑、山麓に草地が開けている。水田は団地性に富み、昭和37年から昭和58年までに県営ほ場、第1・2次構造改善、団体営事業により整備が行われてきた。草地については、昭和34年から各種事業により大半が造成済みである。

### 関連事業（既存計画）

事業名	地区名	事業量	工期		備考
該当なし					

※蒜山振興局資料及び補助事業（H1～H17）対象

### 整備率（旧町村別）

総耕地面積	整備面積	整備率 (%)
1,064.0ha	418.0ha	39.0%

蒜山振興局資料

## ○ 川上地域

農用地の大半は蒜山盆地の中央を東西に流れる旭川沿いの平坦地に集中している。土地基盤整備は、昭和42年から団体営、県営ほ場整備事業等により整備を行った。又、草地については、昭和60年より着手し年次計画に基づき順次整備を行っている。

### 関連事業（既存計画）

番号	事業名	地区名	事業量	工期	進捗状況	備考
①	畜産基盤再編総合整備事業	蒜山地区	A=12.1ha	H12～H14	100%	

※川上支局資料及び補助事業（H1～H17）対象

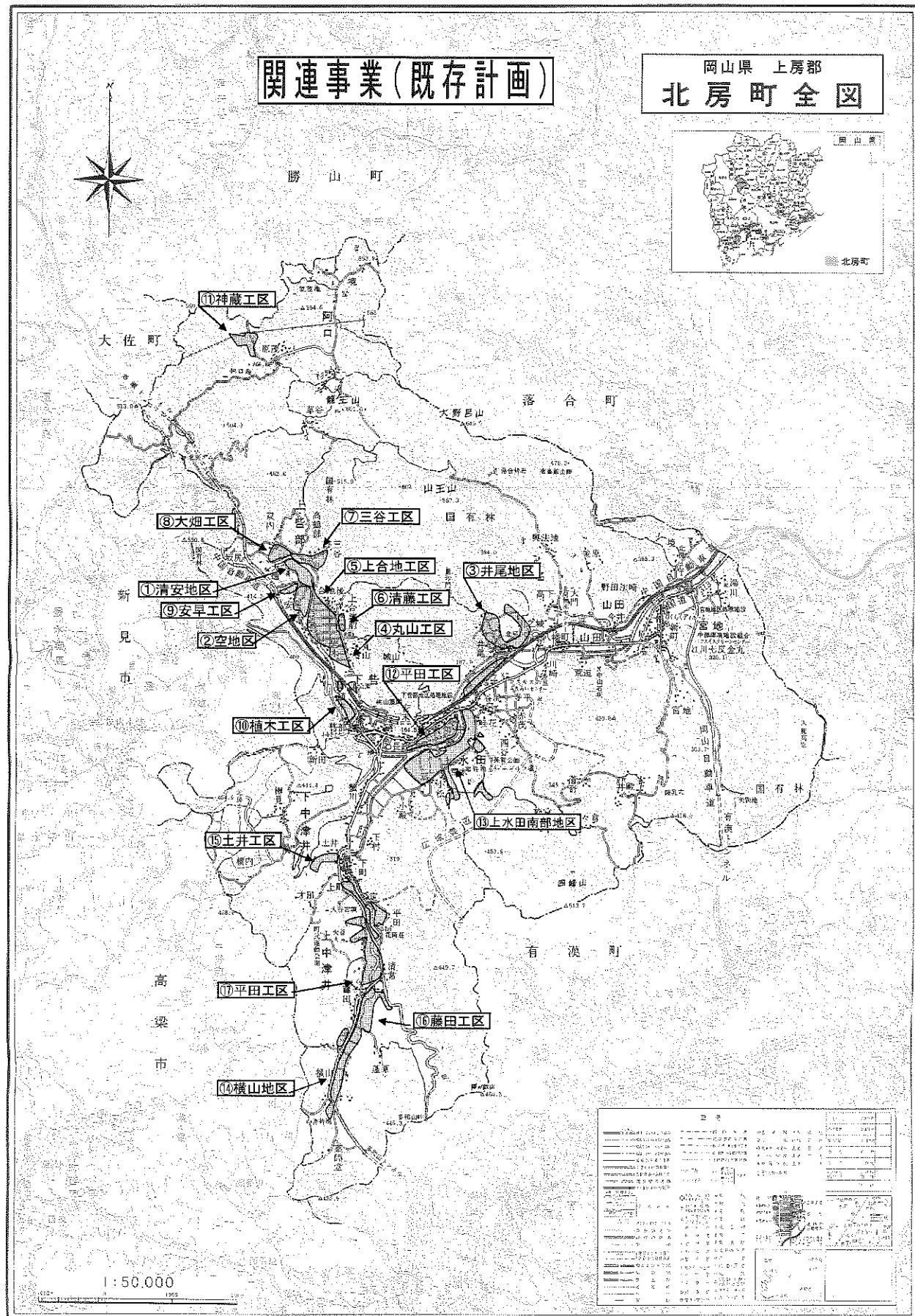
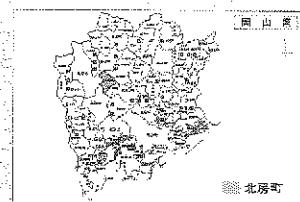
### 整備率（旧町村別）

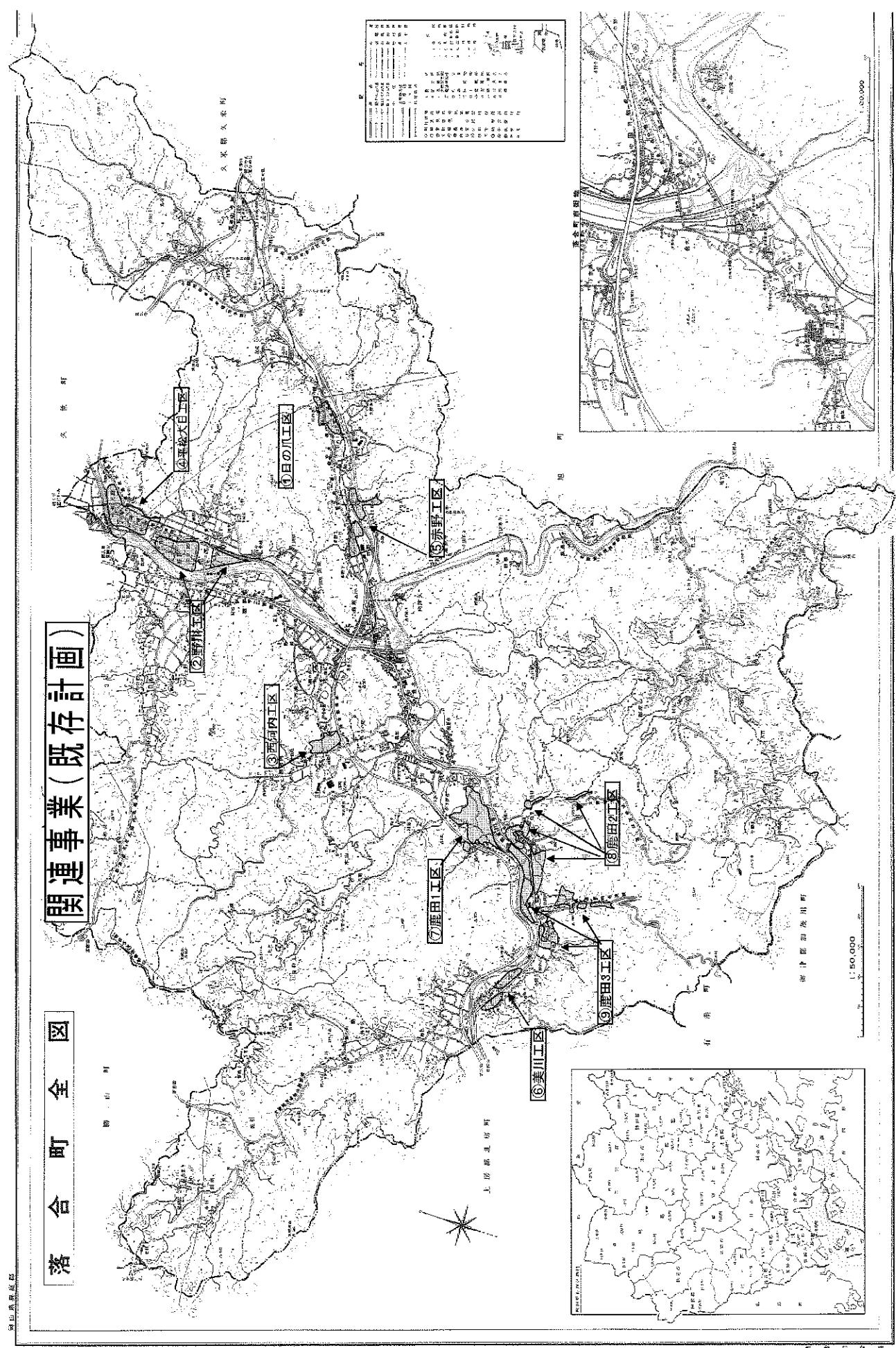
総耕地面積	整備面積	整備率 (%)
835.0ha	498.0ha	59.6%

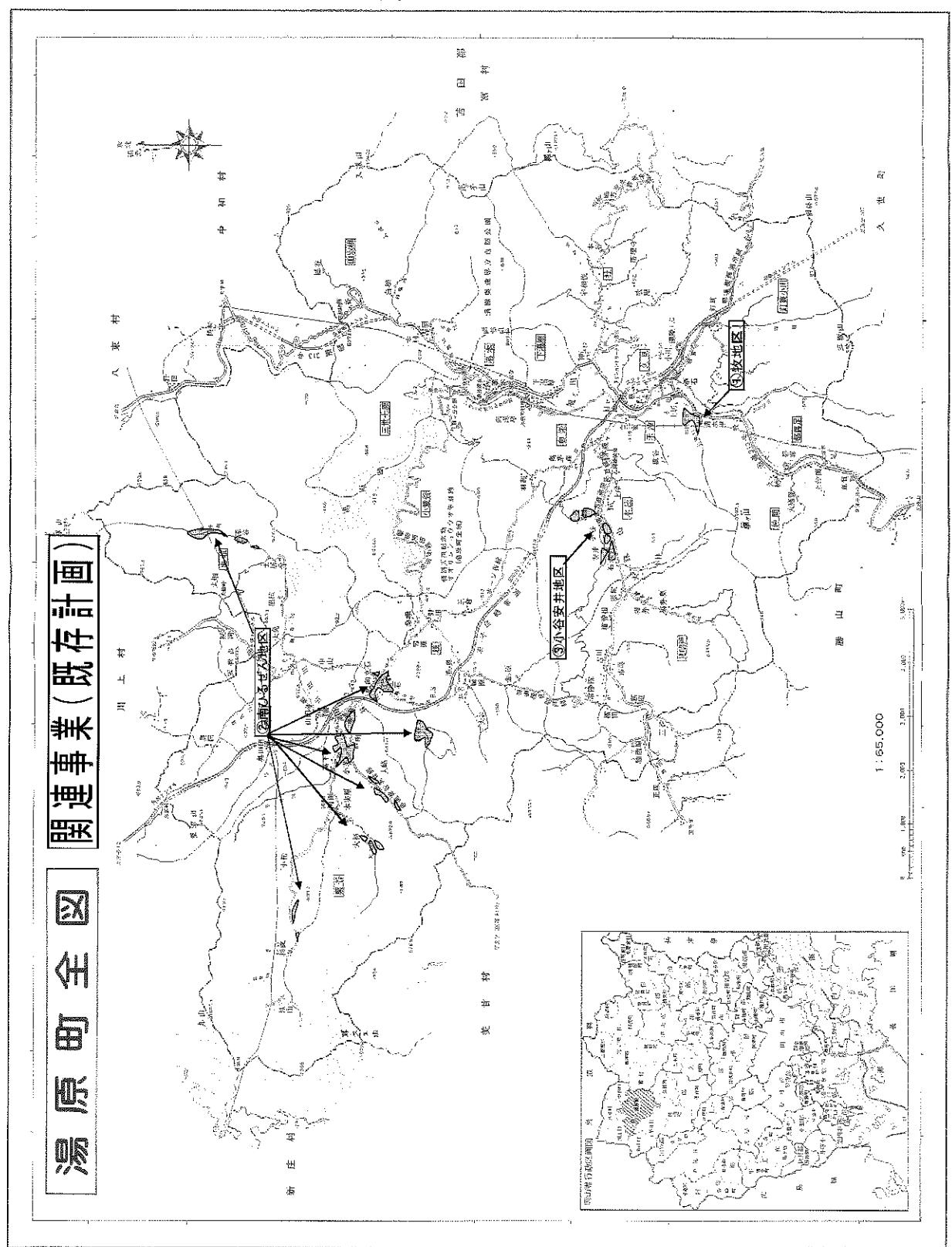
川上支局資料

## 関連事業(既存計画)

岡山県 上房郡  
北房町全圖





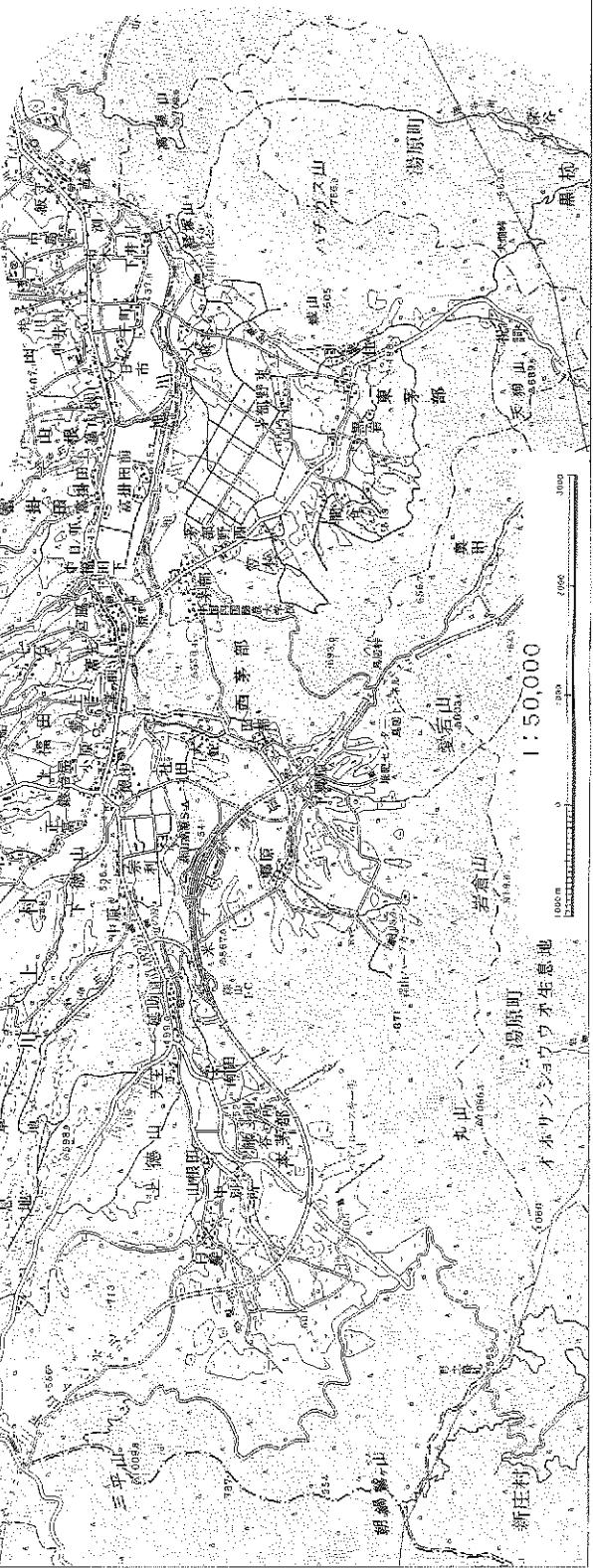
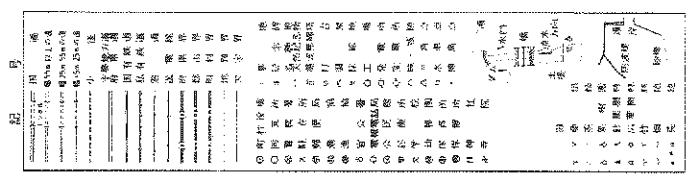
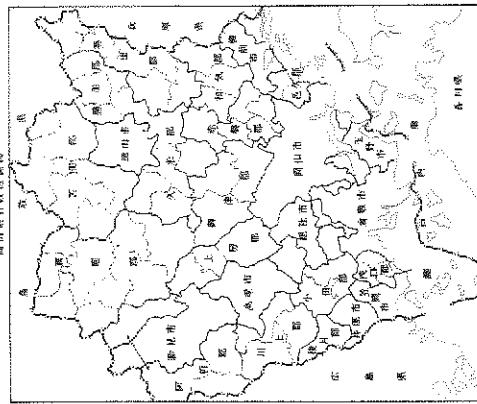


# 關連事業（既存計画）

172



金  
村  
上  
三



## 第4-6 歴史・文化財

### (1) 【地域の歴史・文化】

本地域は、古くから山陽・山陰の中継地で交通の要衝に位置するという地の利を生かした、固有の歴史や文化を育んできました。そのため、自然景観の他に遺跡や近世の町並み、伝統工芸や民俗文化財など歴史的遺産が多数遺されています。

平成の大合併で誕生した真庭市は、こうした歴史的な背景の中、各地域の歴史を下記に記する。

#### ○北房地域

平安末期には荘園化し、戦国時代を経て寛永6年、下皆部村・井尾村・宮地村が幕府領となる。元禄10年関長治が備中新見藩に封じられ、阿口村・上皆部村・五名村・山田村が新見藩領となる。延享元年、石川氏が備中松山藩から伊勢国亀山藩にかわり下中津井村に陣屋を置く。その後明治を迎えて中津井村・皆部村・上水田村・水田村ができる。そして皆部村が皆部町になり、さらに昭和28年、中津井村・皆部町・上水田村・水田村が合併し、北房地域（旧北房町）にいたる。

#### ○落合地域

平安末期には荘園化し、戦国時代を経て慶長8年、森忠政が津山に封じられその領有地となり、森氏が絶えてからは幕府の直轄地として代官所によって統治された、その後明和元年（1764年）、勝山に封ぜられた三浦氏の所領となって明治を迎える。明治30年落合村は落合町に、同37年瀬田河、天津2村を合併、さらに昭和30年近傍の津田、木山、美川、河内、川東の5村と合併し、落合地域（旧落合町）にいたる。

#### ○久世地域

古くは古代地方官庁である郡衙の所在地として、丘陵上に寺院も建立されるなど早くから開けた地域である。地域内には中世に朝廷直轄領として「久世保」が設定され、流通の要地として存続。戦国期の争乱を経て津山藩森氏・松平氏、その後地域内の多くの村々は幕府領、改めて松平氏の支配の下推移した。

明治5年以降の町村合併により明治末年までには旧久世町、美和村にまとまり、昭和30年に両町村が合併、久世地域（旧久世町）に至る。

## ○勝山地域

古来山陰と播磨を結ぶ出雲街道の宿場町で、町並みは古くから栄え、南北交通は旭川（高瀬舟）を利用して木材の搬出を行い交通の要衝となっていた。

室町の初めの応永年間に始まり、戦国時代～江戸時代を経て明治4年廢藩置県により勝山藩が真島県となる。同年美作一円が北条県となり真島郡となる。明治9年に北条県を廃止して岡山県に合併、明治22年町村制施行により勝山村、川西村、一宮村、月田村、富山村、井原村の名称により発足、明治29年勝山村、町制施行により勝山町となる。明治35年井原村、富山村合併して富原村が誕生する。

明治40年勝山町に川西村、一宮村、月田村が合併し勝山町となる。昭和24年月田村が分離する。昭和30年町村合併推進法により月田村、富原村が加わり現在の勝山地域（旧勝山町）に至る。

## ○湯原地域

出雲街道に隣接し、大山信仰の経路にあり、昔から山陽・山陰を結ぶ要地でした。江戸時代は、旭川以東は大庭郡、以西は真嶋郡に属していました。明治5年（1872年）には、現在の大字の地域による諸村に分かれていましたが、明治22年（1879年）の合併により、見明戸ほか4村は八幡村に、湯本ほか7村は神湯村、種ほか4村が二川村になりました。さらに、明治37年（1904年）、八幡・神湯両村が合併して、昭和15年（1940年）に町制を布きました。昭和29年（1954年）の湯原ダムの完成に伴い、二川村は耕地の38%にあたる116ha、戸数の35%にあたる164戸と山林70haが湯原町側の三世七原とともに湖底に沈み、村外へ移住したものは800人にも及びました。その後、昭和31年（1956年）9月、二川村と湯原町が合併し、現在の湯原地域（旧湯原町）になりました。

## ○美甘地域

出雲街道の宿場で山陰と山陽を結ぶ要衝の地であった。明治の初めまでは美作国美甘郷に属し、美甘村の町分、在分、麓分を統合し美甘村が発足した。明治22年6月美甘村、鉄山村、黒田村、田口村、延風村が合併し現在の美甘村となった。

## ○中和地域

天分年中尼子晴文の将、山中氏兼が中和村を領して以来、元禄9年毛利元就、天文7年宇喜田直家、慶長5年小早川秀秋、慶長8年森忠政とかわり、元禄10年幕府に属し同11年松平長規領となり、享保12年幕邑となって代官が赴任する。安永元年播州三日目城主森対馬守が治めることになった後、佐倉城主堀田相模守、文化9年津山城主松平斉氏の領地となる。明治維新の廃藩置県により明治2年6月倉敷県、同5年2月北条県、同9年4月岡山県に合併される。

そして、中和村は明治22年6月町村制実施によって、別所村、吉田村、下和村、真加子村、初和村、の5ヶ所を合併して中和地域（旧中和村）に至る。

## ○八束地域

文化9年津山藩松平三河守の領地になったが、明治4年の廃藩置県によって北上県に属し同9年岡山県に合併された。明治22年6月町村制の施行によって中福田、富掛田、富山根、下福田、上長田、下長田の6村を合併して縣村となり、さらに同35年4月の郡制改革により茅部村のうち大字下見を編入して八束村となった。

## ○川上地域

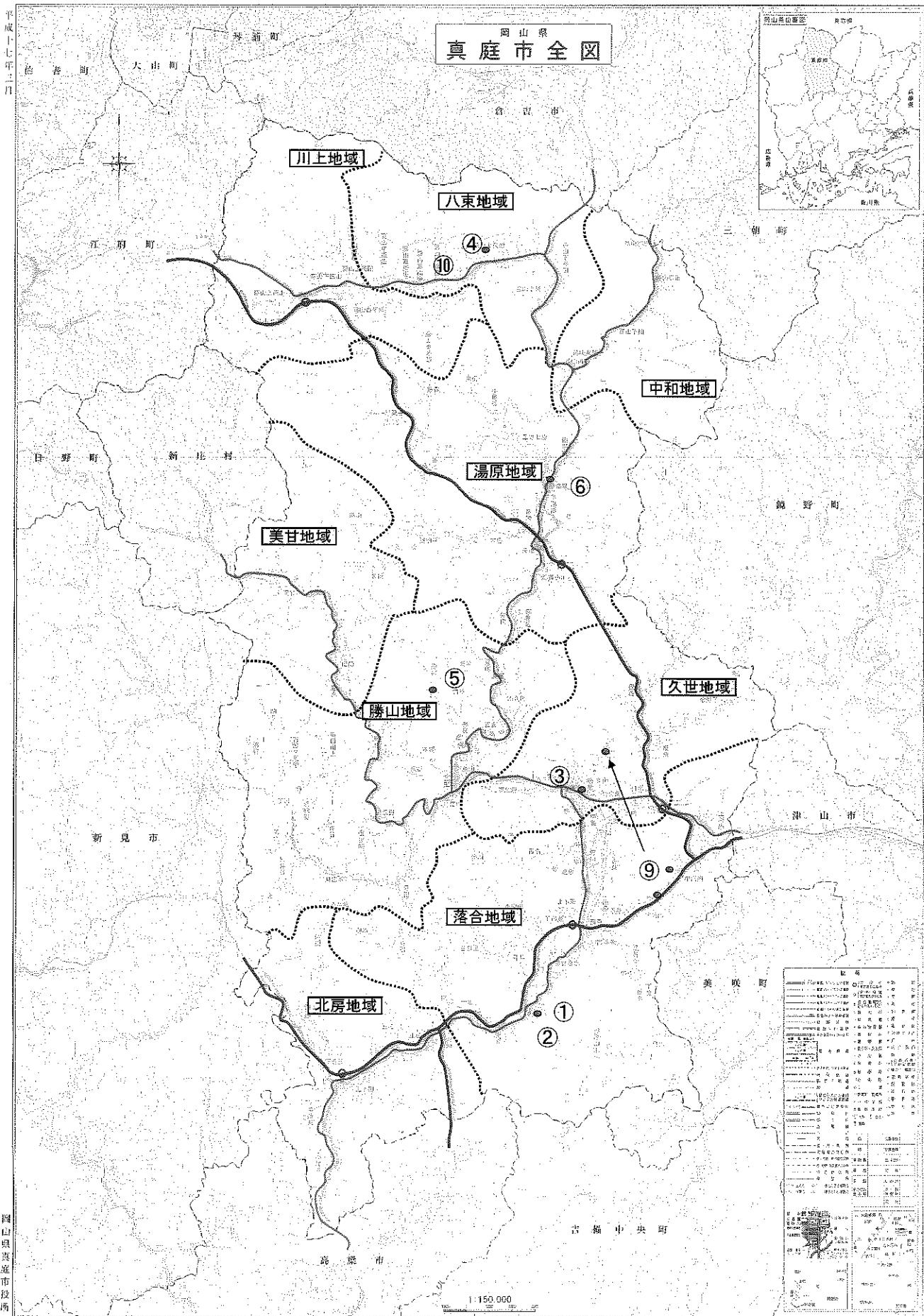
江戸期以降の行政区域の変遷については、江戸期に入り、本地域を支配したのは、森忠政の津山藩であったが、その後、明治元年には、旭川以北(大庭郡)は天領に旭川以南(真島郡)は勝山藩領になっており、その後廃藩置県等を迎える。明治35年に旧徳田村(上徳山村、下徳山村、上福田村、湯船村)、旧茅部村(東茅部村、西茅部村、本茅部村)が合併され、川上地域（旧川上村）に至る。

## (2) 【地域開発の歴史】

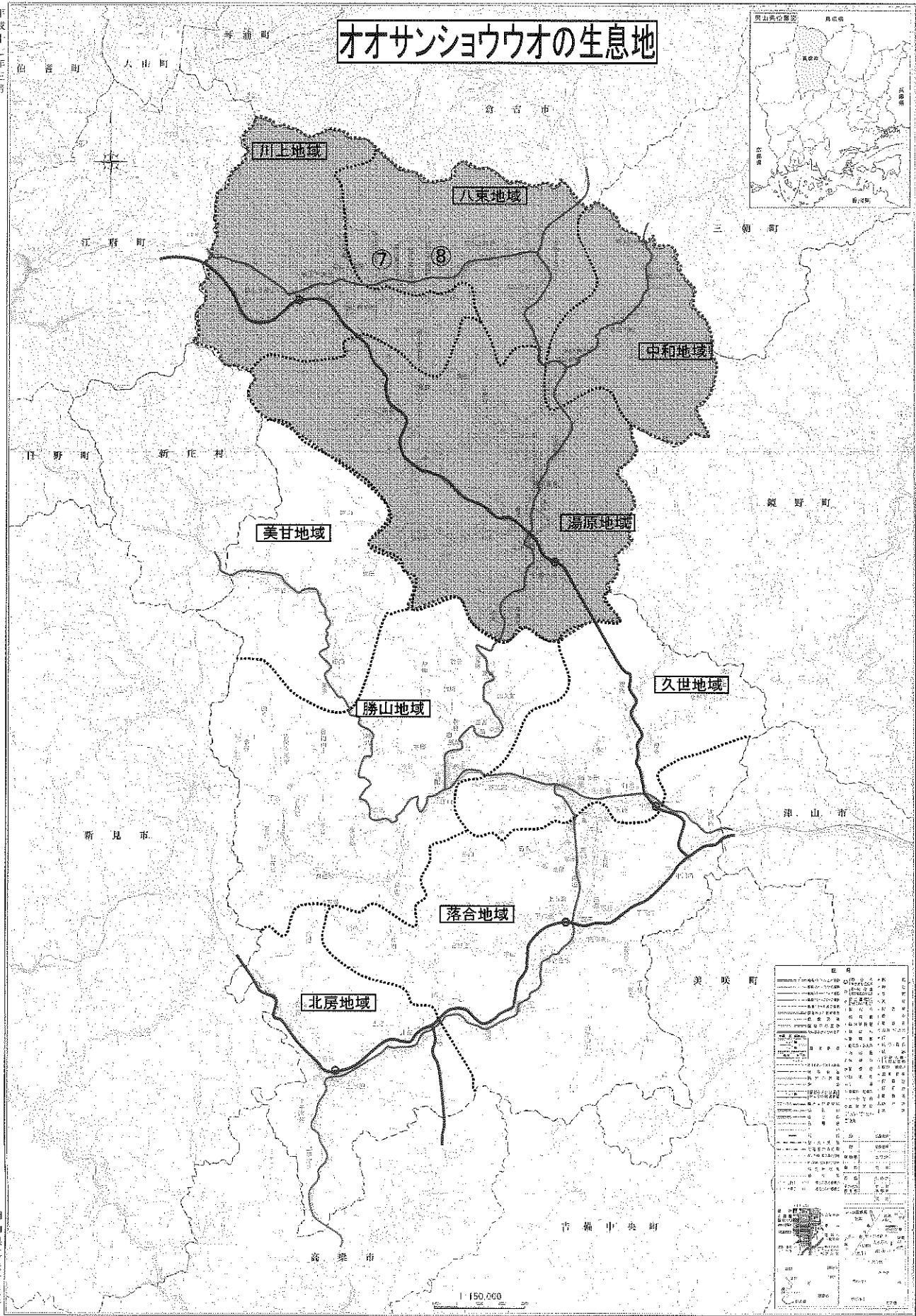
古代・中世を通じて灌漑用水の確保、耕作地の開発が推進されるが、近世に至り政情の安定と技術の向上による平野部の再開発。水田化が進む。しかし近代以降、特に近年における宅地開発など地域の都市化、周辺山間部の過疎化による耕作地の減少は急速に進んでいる。

(3-1) 【文化財・史跡の概要及び位置】

国指定								平成17年3月31日現在
連番	番種	別名	称	所 在 地	所有・管理者	指定年月日	旧町村名	概 要
1	①	彫 刻	不動明王（木造坐像）両童子	鹿田482	勇山寺	明治34. 8. 2	落合町	嵯峨天皇の弘仁六年、大師四十二歳の御時、自他法界衆生のため除厄を祈られ、自ら一刀三札の上彫刻、安置し給う。
2	②	彫 刻	彫刻薬師如来1体	鹿田482	勇山寺	明治34. 8. 3	落合町	聖武天皇神亀三年、行基菩薩が勅命を受け御年三十三歳の御時、自他除厄のため一刀三札の下に彫刻せられ、御丈六尺五寸。
3	③	建造物	旧遷喬尋小学校校舎	銅屋	市他	平成11. 5. 13	久世町	明治時代に建てられたルネッサンス調のロマンあふれる洋風建築で、校舎名は、山田方谷が中国の古典「詩経」の句にちなんで名付けた。
4	④	史 跡	四ツ塚古墳群	蒜山上長田	市他	昭和4. 12. 17 (追加指定・一部解除：昭和63. 9. 8)	八束村	古墳時代後期の大小16基の古墳からなる四ツ塚古墳群を中心に公園として整備したもので約4haの敷地には桜の樹林や松林が広がり、その間に広場や休息所が設けられている。
5	⑤	名 勝	神庭瀑	神庭	市	昭和5. 7. 8	勝山町	断崖絶壁を落する滝の豪壮さは圧巻。日本百景、日本の滝百選に選ばれ、岡山县立自然公園に指定されている。
6	⑥	天然記念物	湯原カジカガエル生息地	湯原温泉旭川田羽根川合流域	市	昭和19. 6. 26	湯原町	山地や清流とそのまわりの森林などに住む。5~7月が繁殖期で、オスは瀬に突出した石の上で「フィフィフィ」と鳴いてメスを呼び、この声は昔から美しいとされている。
7	⑦	天然記念物	オオサンショウウオ（生息地として）	湯原・蒜山の全域	市	昭和2. 4. 8	湯原町・川上村・八束村・中和村	おもに山地の渓流にすみ、水から上がる事がなく夜行性で、昼間は岸辺の横穴などにひそみ、サワガニや蛙、魚などを食べる。
8	⑧	特別天然記念物	オオサンショウウオ（動物として）	全域		昭和27. 3. 29 (天然記念物：昭和26. 6. 9)		"
9	⑨	天然記念物	トラフダケ自生地	中河内・上河内・三坂	市	大正13. 12. 9	落合町久世町	虎斑竹といつのは、竹やぶに生えた竹の幹に虎斑状のかびが付着するところからこの名がついている。その斑紋は黒褐色の渋みがまさった雅趣があふれているので古来名高い。
10	⑩	無形民俗文化財	大宮踊		大宮踊保存会	平成9. 12. 15	川上村八束村	蒜山地方に伝わる盆踊りで毎年8月13~19日の期間、川上、八束地域の神社やお寺などで踊られ、その中でも15日の夜、福田神社（別名大宮）の踊が一番盛大なので大宮踊と呼ばれています。



## オオサンショウウオの生息地



県指定

連番	番号種	別名 称	所 在 地	所有・管理者	指定年月日	旧町村名	概 要
1 ①	絵 画	絹本白描普賢菩薩像一幅	木山1212	木山寺	平成10. 3. 24	落合町	絹本の上にやや青味がかった墨線で白象の背に乗る大蓮華座に結跏趺坐する普賢菩薩の姿を描いている。本尊の円形頭光のみは金切金で表している。画法は極めて細勁な鉄線描風骨法が用いられ輪郭には外暈を加えており本画は中国元代の本格的な白描仏画である。このような仏画が地方寺院に伝わっていることは全国的にみても希有のことである。
2 ②	絵 画	絹本著色遣迎二尊十王十仏図一 幅	木山1212	木山寺	平成10. 3. 24	落合町	平安時代に貴族の中から発生した極楽往生信仰がやがて武士階級から庶民へ広がった結果、描かれるようになった物故者追善のための年忌供養にかける本尊仏画である。本画はその初期の物で鎌倉時代と推定される。
3 ③	絵 画	絹本著色阿弥陀三尊十仏来迎図 一幅	木山1212	木山寺	平成10. 3. 24	落合町	往生信仰が発展した結果、描かれるようになった物故者追善のための年忌供養にかける本尊仏画である。本画は十王十仏画から十仏画へと次の段階へ発展したもので、南北朝時代に描かれたものである。
4 ④	絵 画	絹本著色十三仏 図 1幅	木山1212	木山寺	平成10. 3. 24	落合町	物故者追善のための年忌供養にかける本尊仏画で、今日の三十三回忌までの十三仏が定まった段階のものである。本画は、室町時代に描かれたもので、中世仏画の様式手法をよく物語る作品である。
5 ①	彫 刻	清水寺仁王尊 (二躯)	闕4849	清水寺	昭和31. 4. 1	落合町	阿形像198cm、吽形像199. 3cmをはかり2躯とも寄木造の像である。製作年代は不明であるが室町時代初期の作と考えられる。
6 ②	彫 刻	獅子頭	高屋387	天津神社	昭和49. 5. 31	落合町	「獅子頭銘日奉 寄進 天津大明神獅子頭天正20年9月16日願主市虎熊丸」の銘がある。
7 ③	彫 刻	鼻高面一面	高屋387	天津神社	昭和49. 5. 31	落合町	「鼻高仮面書天正20年9月吉日 市五郎兵衛尉寄進也」の銘がある。
8 ④	彫 刻	木造獅子頭	上河内	熊野神社	昭和59. 4. 10	落合町	円融天皇の永観2年、熊野本宮の美作別宮として勅請せられたとき紀州より奉納せられたものと伝えられる。
9 ⑤	彫 刻	木山神社門客人 神立像	木山1265-4	木山神社	平成7. 4. 7	落合町	木山山上に本殿と共に残る神門に安置されている木像である。阿形・吽形一対になっており、阿形の総高156cm、吽形154cmを測る。いずれも寄木像で、挿首、玉眼、全身総漆地布貼の彩色像である。阿形像の首柄内部には「応永3年大仏定祐之作」の銘がある。

連番	番号	種別	名稱	所在地	所有・管理者	指定年月日	旧町村名	概要
10	⑥	彫刻	木造聖観音坐像	勝山郷土資料館	明徳寺	昭和35. 8. 23	勝山町	円応禅師ゆかりの寂光山明徳寺の本尊で、寺伝によれば明徳寺建立の折、原方龍玄寺裏山の觀音堂より移されたという。高さ42cm、頭に花形宝冠を着け、腕に宝相華を付けた腕钏などを掘り出し、彫刻は丁寧である。様式などから見て、藤原時代前期（11世紀はじめ）の作と想定され、県下仏像の中でもまれに見る傑作である。
11	⑦	彫刻	別当寺の獅子頭	勝山郷土資料館	別当寺	昭和44. 7. 4	勝山町	高さ21cm、最大幅26.5cm、最大奥行33cmで材は不詳であるが堅木を用い、頭頂部・顔面部・下頸部の3部に分かれる。上顎内面左内側、「延徳二年庚戌八月十四日」右内側に「河内源左衛門尉大願主」と記し「花押」がある。延徳2年（1490）高田城主7代目三浦貞連が篠向城攻撃当時で、高田城の支城岩井谷村則行城主の河内氏が、武軍長久祈願に奉納したものと伝えられる。
12	⑧	彫刻	銅造聖観音立像 (新羅様式)	美甘 国久	竹元寺	昭和31. 4. 1	美甘村	青銅製で、県下でもまれに見る立派な造りであり、県下最古の白鳳時代（700年前後）の仏像である。
13	⑨	彫刻	舞楽面	蒜山中福田	福田神社	昭和50. 6. 13	八束村	福田神社に伝わる舞楽面で「皇仁庭」と呼ばれる古面。鎌倉時代の作とされる。皇仁庭は舞楽の演目の1つで、仁徳天皇即位のおり百濟博士王仁がこれを祝つて庭で舞つたのが始まりと言われる。
14	⑩	工芸品	清水寺鰐口	閑4849	清水寺	昭和31. 4. 1	落合町	青銅製で応永11年鋳造の銘が刻まれている。鏡面径34.9cm、厚さ16cm、重量8.3kgである。
15	⑪	工芸品	若代出土備前焼 壺18個付・須恵器 かめ1個・瀬戸瓶子1個	勝山郷土資料館	市	昭和44. 7. 4	勝山町	昭和35年12月、旧勝山町若代・野田福井地内の家裏の崖崩れで出土。備前焼18個、亀山焼1個、瀬戸焼1個などの藏骨器（計20個）が出土した。いずれも壺で完全なもののが14個ある。大きさ、形も多様であるが器形や、五輪塔などから鎌倉から室町時代のものである。
16	⑫	考古資料	金銅装環頭大刀・金銅製品	下呂部	市	平成3. 4. 5	北房町	大谷古墳から出土した大刀。金銅金具が全面に施され、柄頭から鞘尻まではほぼ完存する希有な例。
17	⑬	建造物	木山神社本殿	木山	木山神社	昭和32. 11. 5	落合町	天正5年、火災のため社殿悉く鳥有に帰したが、天正8年再建し、400年余を経過した桃山時代の建物で、江戸初期の手法を残しているが軸部は原態を変えず、西作州隨一の神社建築と称されている。

連番	番号種	別名	称	所 在 地	所有・管理者	指定年月日	旧町村名	概 要
18	②	建造物	宇南寺本堂	美甘 河田上	宇南寺	昭和34. 1. 13	美甘村	桁行5間、梁間4間の単層入母屋造の簡素な木造建築物、古い建築様式を持つ建物で永世7年（1510年）の建立銘の棟札がある。
19	③	建造物	吉森の石造五輪塔（二基）	蒜山上長田	民（個人）	昭和59. 4. 10	八束村	総高約1.66mと1.59mの2基がIA八束支所の一角にある。石材は地元の安山岩である蒜山石を使用し、西に向いた表側の各輪に梵字が一字ずつ刻まれている。製作年代は記されていないが、鎌倉時代後期から南北朝時代（14～15世紀）の作と推定されている。
20	①	史 跡	川東車塚古墳（一基）	田原	民（個人）	平成14. 3. 12	落合町	全長59.1mの前方後円墳で、4世紀後半に築造され、墳丘は3段築成によって造られている。内部主体は粘土桶で遺体はその上に置かれた割竹形木棺に安置されていた。郡内は勿論、旭川中・上流地帯での最大の古墳であり、地方政治集団の首長墓と考えられる。
21	②	史 跡	大谷一号墳	上中津井	市	平成元. 4. 4	北房町	全国的にも例のない5段積みの方墳で、7世紀後半の築造と推定されている。当時は有力者以外は古墳築造が禁止されていた時期であり、調査では金銅製品や金銅装環頭大刀等が発掘されている事から当時の大和政権と深く関わりのあった高位の人物の墳墓ではないかと考えられている。
22	①	天然記念物	諫訪の穴	下呂部	市他	昭和32. 11. 5	北房町	カルスト大地の崖下にポッカリ口をあけた横穴で全長900mの未開発の鍾乳洞
23	②	天然記念物	備中鍾乳穴	上水田	市他	昭和32. 11. 5	北房町	文献に残る鍾乳洞としては日本最古といわれ、洞の長さ800mである。
24	③	天然記念物	岩屋の穴	阿口	市他	昭和32. 11. 5	北房町	総延長約1370m、高低差46mの北房で最大の鍾乳洞で洞内には60×20mのホールがあり、天井の高さは最高20mにもなる。
25	④	天然記念物	上野呂カルスト	下呂部	市他	昭和32. 11. 5	北房町	下呂部の北側の山に位置する、カルスト台地。全体が凹地形で内部に小ドリーネが見られる。また縦穴で「チンカラ坑」「カラソコロンの穴」がある。
26	⑤	天然記念物	栗原の四本柳4株	栗原	市	昭和30. 7. 19	落合町	推定樹齢500年で栗原の四本柳は、落合地区を流れる旭川の支流備中川沿いにあり、治水のために河岸に柳を植栽し、その内4本が現存したものと言われている。

連番	番号	種	別名	称	所 在 地	所有・管理者	指定年月日	旧町村名	概 要
27	⑥	天然記念物	塩滝の礫岩	閑・佐引	市他2名	昭和34. 9. 15	落合町		礫岩から流れ落ちる約30mのは滝は、周辺に奇岩や特有の植物も多く見られ、不思議な景観を見せていく。
28	⑦	天然記念物	箸立天神伊吹ひば	落合垂水968	垂水神社	昭和44. 7. 4	落合町		推定樹齢700～1000年で垂水神社の境内にあり、県下第一級のイブキの老樹である。伝承によると、天安2年(858年)、美作県守菅原是善が息子とこの地で休息し、昼食のあと箸を立てたのが生育し今日に至ったという。
29	⑧	天然記念物	醍醐桜	別所	市	昭和47. 12. 9	落合町		推定樹齢1000年の大桜で元弘2年、後醍醐天皇が隠岐御遷幸の際、この桜を見て賞賛したという伝承がある巨木である。
30	⑨	天然記念物	黄金杉	蒜山下長田	市	昭和31. 4. 1	八束村		推定樹齢180年で通称「キンスギ」と呼ばれており、葉は葉緑素が突然変異により失われ、黃金色を呈している。
31	⑩	天然記念物	黒岩の山桜	蒜山東茅部	市	昭和31. 4. 1	川上村		推定樹齢700年で黒岩の山桜は県下第1級の山桜の巨樹で、地上3.5mのところから7枝に分かれている。
32	⑪	天然記念物	ギフチョウ発生地	川上地区全域	市	昭和34. 3. 27	川上村		ダンダラチョウともよばれる。年1回、桜の咲くころだけに出現する。日当たりよい林地をゆるやかに飛びその舞い姿は美しいが、開発により激減した地域も多くレッドデーターブックの絶滅危惧Ⅱに指定されている。
33	⑫	天然記念物	カワシンジュガイ生息地	天谷川・小原川	市	昭和34. 3. 27	川上村		氷河時代にシベリア方面からわが国に分布を拡げた。河川の渓流部に生息し、冷たく清らかな水を好みます。近年河川改修等により数を減らしつづけ絶滅が伝えられる。
34	⑬	無形民俗文化財	法福寺念佛踊	吉	吉念佛踊り保存会	昭和36. 7. 25	落合町		古いパターンで繰り広げられ、盆踊りの原型とも言われている。

## 第 5 章

### マスタープラン作成事項

## 第5-1 【現況と課題の整理（環境評価）】

エリア設定理由

里山エリア

観光エリア

まちなみエリア

### (1) 里山エリア

○自然環境

中山間地において耕作放棄地が増加傾向にあり、棚田や棚田農業のもつている多面的機能が失われ国土や環境保全する機能が損なわれ洪水や土砂災害が生じやすくなり、周辺や下流域に悪影響を及ぼす原因と考えられる。

○社会環境

集落が広範囲に散在しているため集落排水整備率が低く、農業用排水の汚染を招いている。

○生産環境

中山間地は、生産基盤整備なども遅れており営農に多大な労力が必要で、さらに、地域社会の高齢化や過疎化が進み、後継者不足は深刻で、今後の農業振興に大きな影をしている。

### (2) 観光エリア

○自然環境

本地域は、国立公園、県立自然公園、郷土自然保護地域等が点在している自然(動植物)の宝庫であるが、近年このエリアはリゾート地としての条件に恵まれているため別荘地や観光開発が盛んに行われ、景観や豊かな生態系が失われる恐れがある。

○社会環境

蒜山地域内は大山隠岐国立公園に指定されているが、一部の原野、採草地については荒廃地等が見うけられ、このまま増え続けると、観光資源としての価値を下げるだけでなく、地域住民の景観に対する意識低下につながる。

## ○生産環境

本地域は、畑作（大根）や酪農が盛んに行われているが野菜集荷場及び各酪農において、副産物（大根の葉、牛の汚物）が発生し地区ごとに処理を行っているが、地域の環境問題に発展している。

### (3) まちなみエリア

## ○自然環境

宅地及び住宅団地化に伴い平地林の減少が発生し、緑のネットワークが分断されることにより動植物の生活範囲が狭められ、うるおいのある景色が少なくなりつつある。

## ○社会環境

市街地内を流下する農業用排水路は、一部について生活排水の流入が有り水質汚染に伴う異臭、汚水などの環境問題がおきている。

## ○生産環境

一部未整備の地区では生産基盤整備の立ち遅れにより、生産性が低い状況となっている。

## 第5-2 【環境保全の基本的な考え方】

### (1) 里山エリア

#### ○自然環境

耕作放棄地や空き地等の適正な土地管理指導のもとに、除草除去の徹底を図るとともに、側溝や排水路の病害虫駆除や有害鳥獣の防除を行い棚田のもつ多目的機能の継続しつつ、国土及び環境保全を行い下流域の安全を図る。

#### ○社会環境

地域内では、下水道、集落排水、合併浄化槽の推進を行うことにより河川や農業用排水路の水質保全と環境衛生面を守り地域の生活環境の向上を図る。

#### ○生産環境

農業法人化、組合、新規就農者の積極的支援を行いつつ個々に優れた品質の生産物を地域ブランドとして育成し、地域外との流通ネットワークを確立することにより農業の魅力を再認識し営農の安定を図る。

### (2) 観光エリア

#### ○自然環境

本地域については、国立公園、県立自然公園、自然保護地域等の指定を受けており真庭市は、蒜山特別地域条例を施行し開発計画の確認ならびに景観、生態系の維持及び保全に努めている。

#### ○社会環境

荒廃地対策の方法として酪農については、購入飼料に依存した経営から自給飼料生産基盤に立脚し、牛本来の特性、能力を重視した自然循環型酪農への転換を行い経営の低コスト化を図る。また、酪農が醸し出す牧歌的景観は地域の重要な観光資源でもあり、今後は畜産組合との連携をはかり環境保全に努める。

#### ○生産環境

副産物処理方法としては、堆肥センターを核とした耕種農家との連携による有機農

業の推進を図って営農の安定及び環境保全に努める。

(3) まちなみエリア

○自然環境

都市計画区域や用途地域の見直しを行い、地域の特性を活かした適切な土地利用を図り、住環境や景観に配慮した整備を推進する。

○社会環境

市街地内では、下水道の推進を行うことにより河川や農業用排水路の水質保全と環境衛生面を守り地域の生活環境の向上を図る。

○生産環境

生産基盤整備の推進を行い、農産物の品質性を高め、消費者への安全・安心が伝わる「真庭ブランド」の確立に努める。

### 第5-3 【地域の整備計画・関連上位計画の整理】

#### (1) 地域の整備計画

真庭市においては、“全ては地域と住民”的ため、水や緑など豊かな自然に包まれたまちを誇りとし、温かい人間性と文化の薫りが漂う、住みよい地域社会の構築に向けて、「創造・改革・融和」をまちづくりの基本理念とします。

“創出”によって、真庭の豊かな自然や歴史、人や文化など、地域資源を活かした新たな産業や交流を育むまちをつくります。

“改革”によって、新たな社会的制度や仕組みの変化に柔軟に対応し、市民が夢や希望のもてる自立したまちをつくります。

“融和”によって、市民と行政の連携・協働による一体感のあるまちをつくります。

#### (2) 関連上位計画の整理

農村環境計画一覧表

区域	地区名	予定期工期	エリア番号	事業名	事業内容
環境創造区 域	黒尾	平成18年～	①	農業用河川工作物応急対策事業	導水路
	黒尾三坂川	平成19年～	②	農業用河川工作物応急対策事業	転倒ゲート
	玄沢	平成20年～	③	農業用河川工作物応急対策事業	暗渠工
	福田開田	平成20年～	④	元気な地域づくり交付金 (基盤整備促進)	かんがい排水
	赤野	平成22年～	⑤	元気な地域づくり交付金 (基盤整備促進)	かんがい排水

：真庭市農林土木課より

## 第5-4 【環境保全対策の在り方】

### (1) 農業農村整備事業が関わる環境保全の在り方

現在の農業農村を取り巻く環境は、担い手の高齢化、後継者不足、国際協調のもとでの農産物の自由化などにより、内外を問わず極めて厳しい状況にある。特に中産間地域の農業においては、高齢化が著しく又、後継者不足による荒廃農地が発生している。しかし、現在は中産間地域直接支払い制度の助成事業により地域一帯での保全が行われているが、今後の農業は非常に厳しいくなるばかりであり懸念される。

このようななかで、農山村の環境は、水・土・里といった多様な環境が有機的に連携し、多くの生物相が育まれ多様な生態系が形成されていると共に良好な農村景観を形成してきた。こうした農村環境は、適切な維持管理の基に成り立った二次的自然を基調とするものであり、その保全や回復を図ることが、地域全体として良好な環境維持・形成するうえで重要なものである。

また、農業は長い歴史の中で、環境と良好な関わりを保ちながら我々の生存に欠くことの出来ないものを生産した重要な産業であり、将来とも農業が基幹産業として持続することによって、豊かな二次的自然である農村環境が保全されていくということを改めて認識する必要がある。そのため、『賑わいと安らぎの杜の都 真庭』を目標とし、今後も農用地の保全・整備を図っていく必要がある。

### (2) 地域環境保全対策

地域農業の状況を踏まえ、農業分野へのバイオマスの複合活用、高収入を目指した農業の推進、体質の強い経営基盤の確立、意欲ある担い手の育成・確保、環境に配慮した農業の推進及び農村環境の保全・整備等が必要である。

## 第5-5 【環境保全目標・基本方針の検討】

### (1) 環境保全目標（全体キャッチフレーズ）

真庭市総合計画 [基本構想] に位置づけられている「賑わいと安らぎの杜の都  
真庭」を目標として、市の将来像を次のように設定します。

“水と緑 人と文化を未来につなぐ 賑わいの『杜市』真庭”

清流旭川や緑豊かな山々と共に生き、多彩な地域の資源を情報・道路網により連携することによって、様々な産業が元気になり、若者が活き活きと働く賑わいのあるまちになります。また、子供たちが野山や川で楽しく遊ぶすばらしい自然環境を引き継ぐために、循環型の生活環境づくりを進め、安らぎを実感できるまちになります。四季折々の自然や祭りに人々が集い楽しみ、多彩な伝統・文化が育まれ、人のふれあいや交流が盛んなまちになります。

### (2) 地域特性による整備方針

#### 1) 地域資源を活かした産業のまちづくり

- ・農林水産業の振興
- ・工業の振興
- ・商業の振興
- ・観光の振興
- ・新たな地域産業の振興

#### 2) 交流、連携を支えるまちづくり

- ・道路網の整備
- ・公共交通の整備
- ・市街地、集落整備の推進
- ・地域情報化の推進

#### 3) 環境と共生したまちづくり

- ・自然環境、自然景観の保全、整備
- ・森林の保全、再生の推進
- ・公園、緑地、水辺の整備
- ・上下水道の整備
- ・環境衛生の整備、充実

## まとめ

以上が真庭市における田園環境整備のためのマスターplanである。今回のゾーニングは本市を三つのエリアに分割し、その中を環境創造区域と環境配慮区域とに分別したプランとなっているが、これらは必ずしも画一的にまとめられるものではなく、その地域ごとにさらに詳細で、綿密な調査計画行われるべきは当然のことである。今後本市における各種事業実施の際には、本マスターplanをひとつの指針として、他各種計画にも配慮したうえで調査、計画、実施を行うこととされたい。

## 1. 田園環境整備マスターplan関係用語解説

No.	用語	説明
1	農業農村整備事業	土地改良法に基づく土地改良事業を主体とし、農業生産基盤整備と併せ農村整備を実施。さらに食料の安定供給の確保、多面的機能の発揮、農業の持続的な発展及び農村の振興を図るための事業。
2	食料・農業・農村基本法	農業基本法（S36年）に変わるものとして、平成11（1999）年7月に施行された農政分野の基本法。食料の安定的な供給の確保、農業・農村の有する多面的機能の十分な発揮などが新たに規定されたもの。
3	土地改良法	戦前の耕地整理法等に変わるものとして、昭和24（1949）年に成立した土地改良事業を行うための法律。農業生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に質することを目的としている。
4	水辺環境施設	農村地域に身近に存在する、農業用排水路、農業用ため池等の水辺の自然環境や景観の保全を図ることにより、生態系保全に寄与するとともに、住民に憩いとやすらぎの場を提供する施設。
5	田園環境整備マスターplan	農業農村整備事業等の実施に際して農業生産性の向上等の目的を達成しつつ、地域全体の視野において可能な限り農村の二次的自然や景観等の負荷や影響を回避・低減するとともに、良好な環境を形成、維持し環境と調和に配慮してゆく必要がある。今後の農業農村整備事業については、地域の合意のもとに市町村が作成している環境保全に関する基本計画を踏まえて、実施する計画である。
6	農業振興地域	農業の振興を図ることが必要な地域において、優良農地の確保を目的として定めた地域。一筆ごとに農用地、農業用施設用地などに区分けされる。農振農用地（農業振興地域における農用地）からの除外は例外である。
7	農村環境計画	県や市町村等が事業主体として実施する、自然環境に配慮した農業農村整備事業を行うための、住民合意に基づく農村地域環境基本計画
8	ドーナツ化現象	市街地の中心部などの人口が減少して空洞のようになり、遠まきに住宅が建つ現象。
9	自然循環機能	自然界における生態系というシステムの中で、食物連鎖を介した多様な物質の循環、及びこれを促進する機能。
10	圃場整備事業	農地の区画整理で、整地、用排水路や農道などの整備、換地による耕地の集団化を総合的に実施するもので、生産性の高い農業を実現する上で重要な施策となる。
11	土地利用型農業	水田等を利用し、作業効率の向上とコスト削減のために機械化を図り、大規模に水稻、麦、大豆等を生産する農業。
12	農地流動化	農地の貸し借りの斡旋などを進めることにより、専業的な農家を中心とする経営規模の拡大を助長しようすること。
13	農地保有合理化事業	小区画で分散されている農地を集積し、利用希望農家に貸借・売買することにより、効率的な生産を可能とすること。
14	担い手	過疎化、高齢化が進む農村地域において、経営感覚に優れた効率的かつ安定的な、これから地域農業経営を担う者。

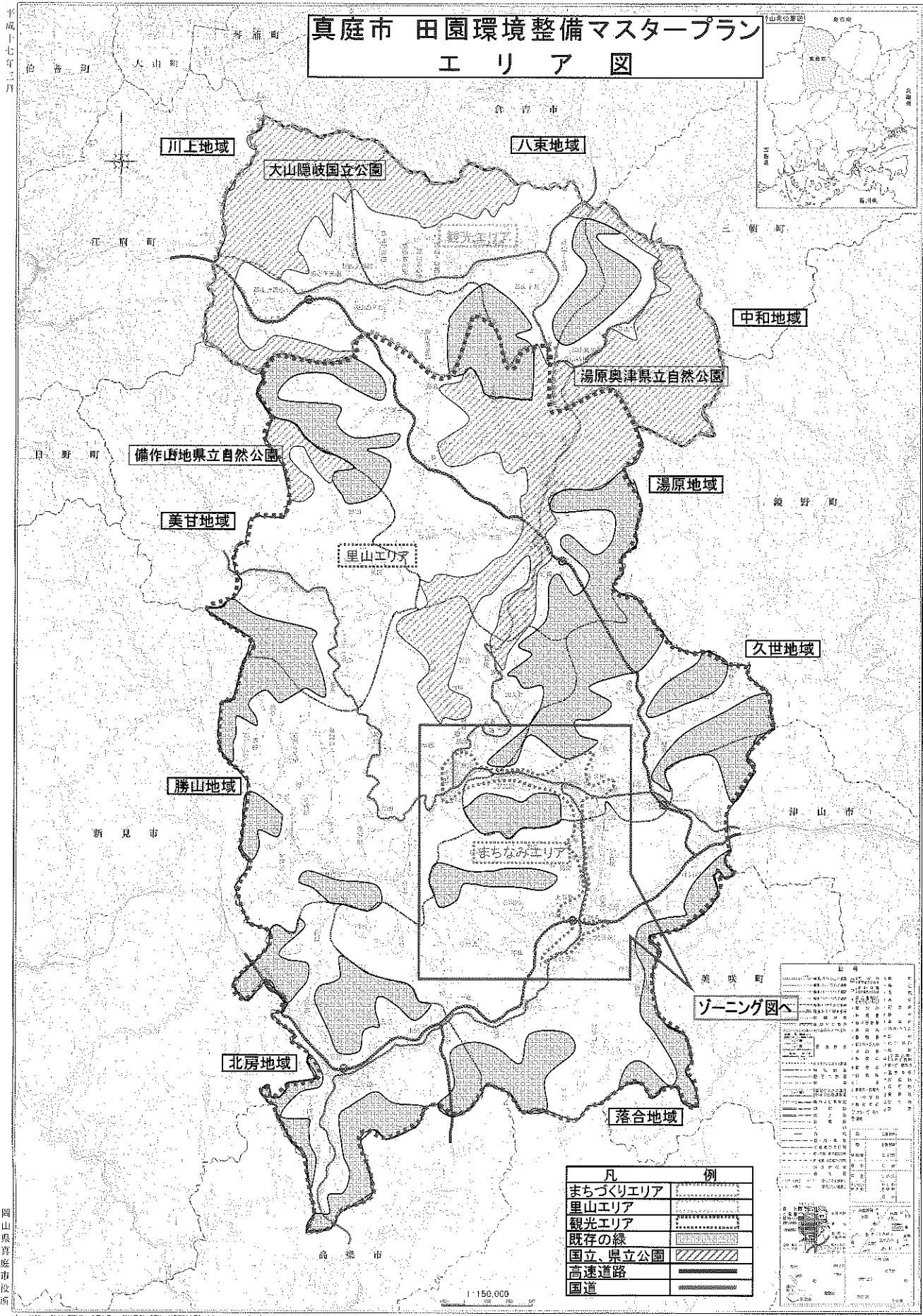
No.	用語	説明
15	資源循環型社会	資源を有効に使い、ごみをリサイクルして地球環境にできるだけ負担をかけないような社会。
16	環境保全型農業	農薬や化学肥料の適正使用、使用済みの農業用資材の適正処理により、安全な農産物を生産するなど、自然環境に優しい農業のこと。
17	二次的自然	人の手によって整備された農地や山林原野などの自然環境をさす。
18	ビオトープ	生命の場所という意味で、動植物の生息空間をさす。
19	環境創造区域	農業農村整備の実施により、自然と共生する環境を創造する区域
20	環境配慮区域	工事を実施するにあたり、第三者委員会による指導及び助言を得て、新たに工事の影響緩和や自然と共生する環境の創造についての検討を行い、環境に配慮した工事の実施を行う区域。
21	環境基準	大気汚染、水質汚濁、騒音、および土壤汚染に対して、人の健康を保護し生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準。環境基本法に基づいて設定され、公害防止対策を総合的かつ有効適切に講じることにより、環境基準が確保されるよう努めなければならないとされている。人の健康の保護に関する環境基準と生活環境の保全に関する環境基準がある。
22	環境保全	ここで定義される環境とは、人間を取り巻く自然・社会を含めた全ての環境で、いわば地球環境といわれている概念である。環境保全は地球環境全てわたる環境悪化・環境破壊の防止および修復再生を図る行為を指す。農業土木が対象とする環境保全は、農村地域における環境悪化・環境破壊の防止、修復再生を行う行為である。
23	環境保全機能	自然環境条件や人やその他の生物にとって望ましい状態に保つ働き。たとえば、水田や森林は気象や水の流出を緩和し、大気や水を浄化するなど。
24	自然保護	開発によって引き起こされる破壊から自然環境を守ること。昭和47年には自然環境保全法が制定された。わが国でも国民が資金を出し合って保護すべき土地などを買取り、保全している。
25	生態系保全	生態系は、生物とそれを取り巻く環境とが相互に作用する全体のシステムである。生態系は、環境とのバランスをとりながら維持されている。生態系に何らかの環境変化が加えられると、生態系に様々な影響が及ぶ。その顕著な例としては、アフリカサヘル地帯で起こっている砂漠化や水循環の改変による湖の縮小(アラル海)などを挙げることができる。そのような生態系の変化を防ぎ、現在の状態に保つことが生態系保全である。
26	環境ホルモン	合成化学物質の中で、人の体内に摂取された場合、ホルモンと同じように人体に作用する物質のこと。ホルモンの合成やホルモンの情報伝達をかく乱するので、微量でも人体に影響を及ぼす。塩素系化合物が混じったゴミを低い温度で燃焼させたときに発生する猛毒のダイオキシンも、その1つである。
27	環境基本法	環境保全に関する施策の基本的事項を定めた法律である。地球サミットで宣言された環境がもたらす恩恵の享受とその継承、持続可能な社会の構築、地球環境保全の推進を基本理念として制定された法律である。
28	地球環境	地球の環境は、陸地、大気、水に大別される。陸地環境は土壤の質や森林の増減、砂漠化などが対象となり、大気は地球温暖化やオゾン層破壊などが対象となり、水は酸性雨や一般的な水質汚濁問題が対象となる。

参考図書：平成15年1月10日改訂 農業土木標準用語辞典

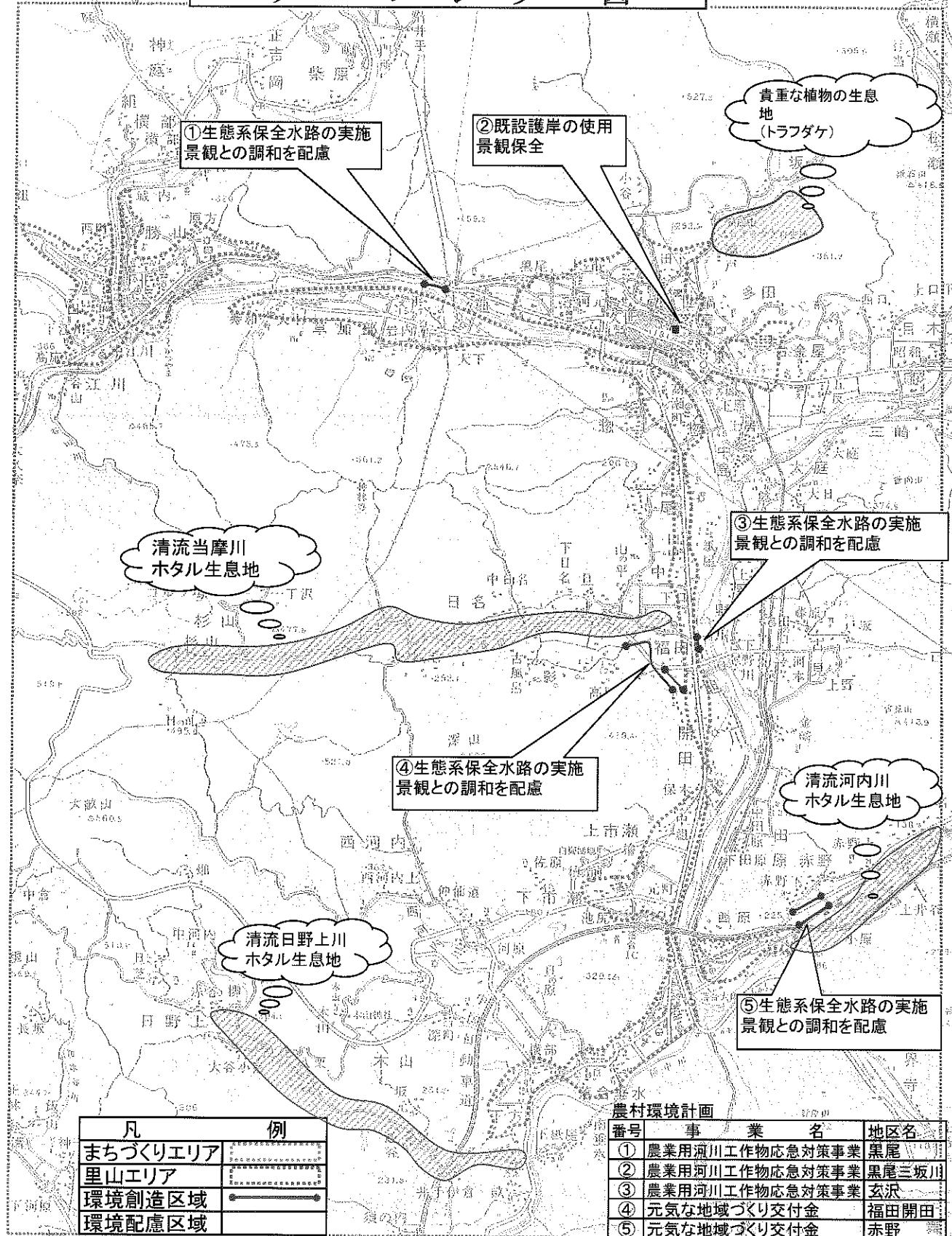
# 第 6 章

## 添 付 図 面

真庭市 田園環境整備マスター プラン  
エリヤ 図



真庭市 田園環境整備マスタープラン  
ゾーニング図



附図1号 土地利用計画図

大佐町

勝山町

蕃合町

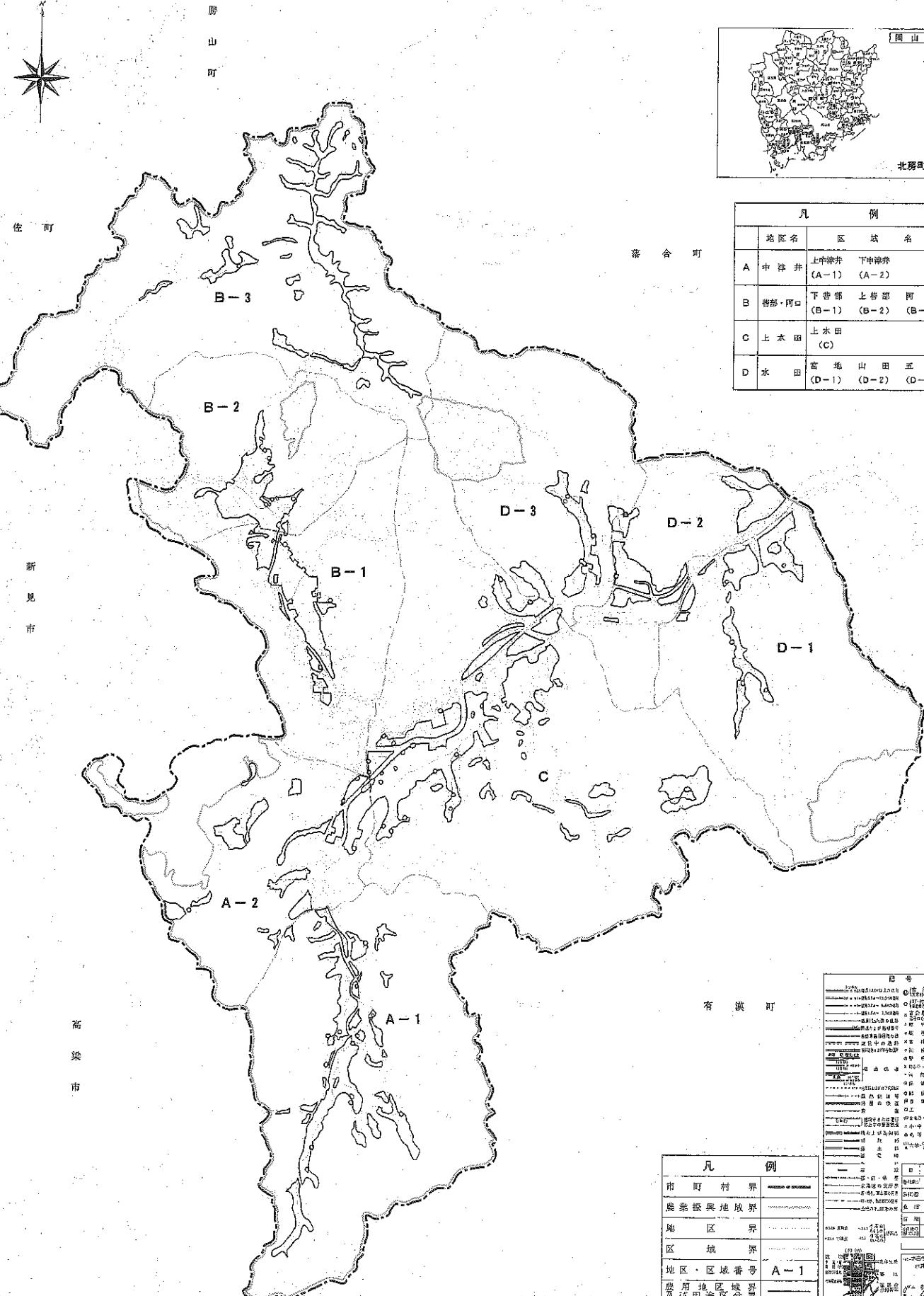
新見市

高  
染  
市

A = ?

- 1 -

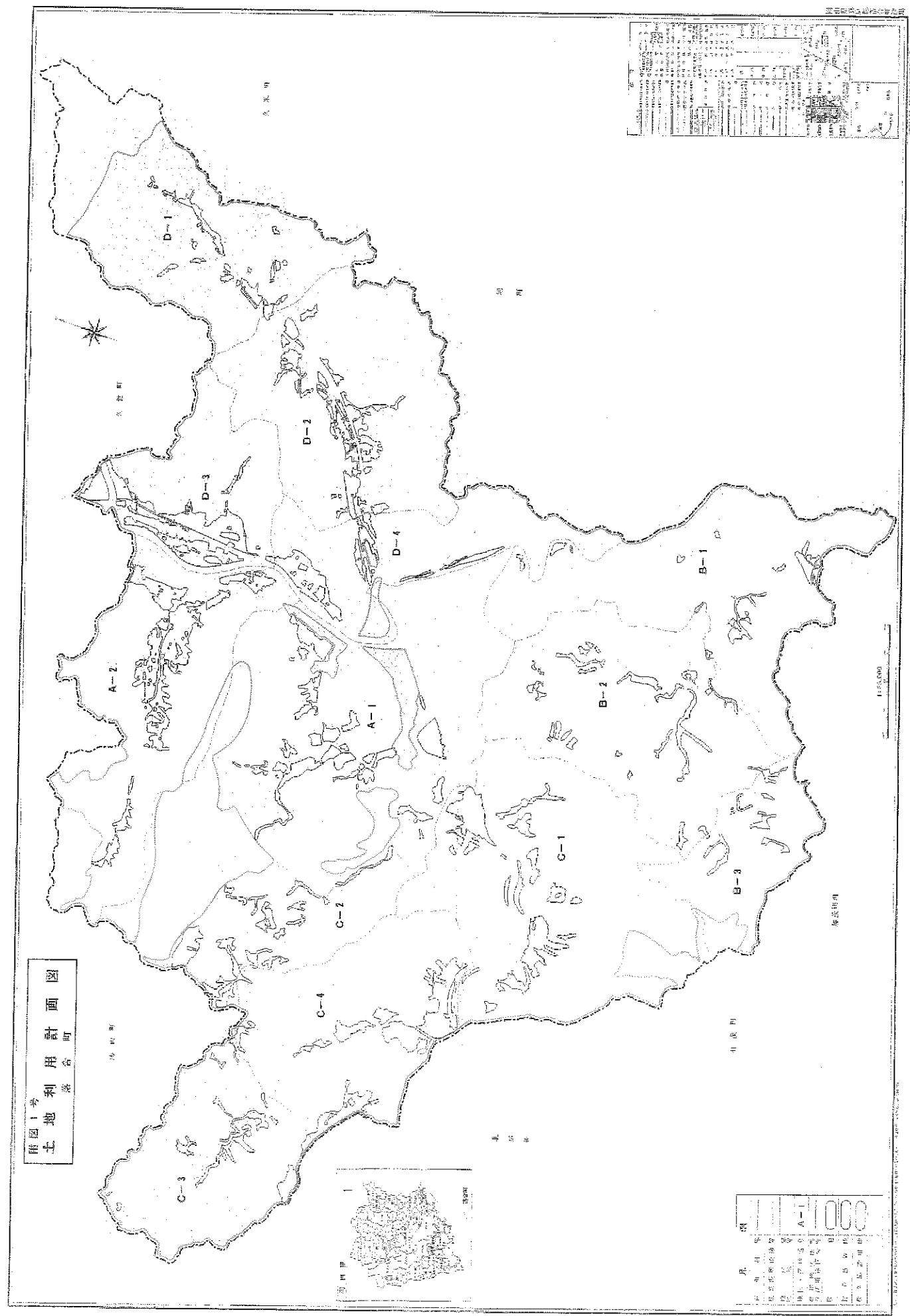
有 滴 环



凡例		
	地図名	区域名
A	中津井	上中津井 下中津井 (A-1) (A-2)
B	岩部・阿口	下岩部 上岩部 阿口 (B-1) (B-2) (B-3)
C	上水田	上水田 (C)
D	水田	高地 山田 玉名 (D-1) (D-2) (D-3)

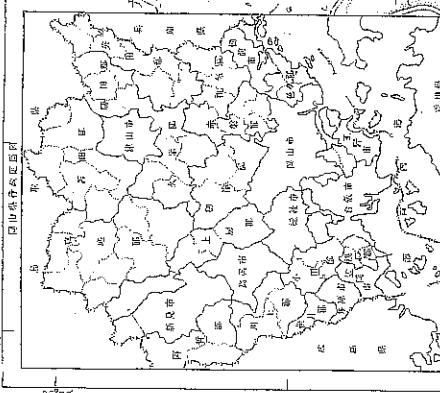
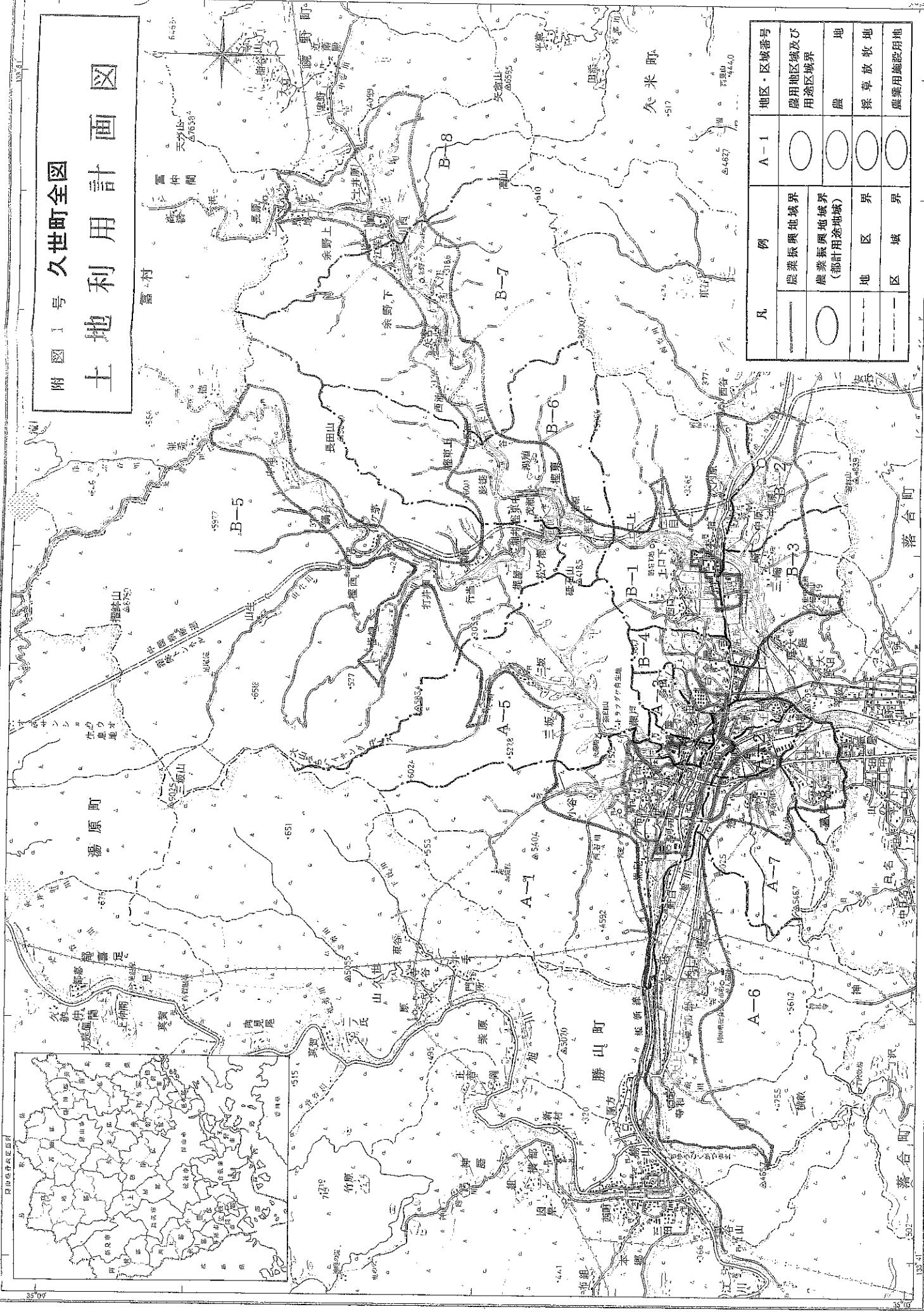
| : 25,000

圖四一號 土地利用計画図



附圖 1号 久世町全圖

土地利用計画図



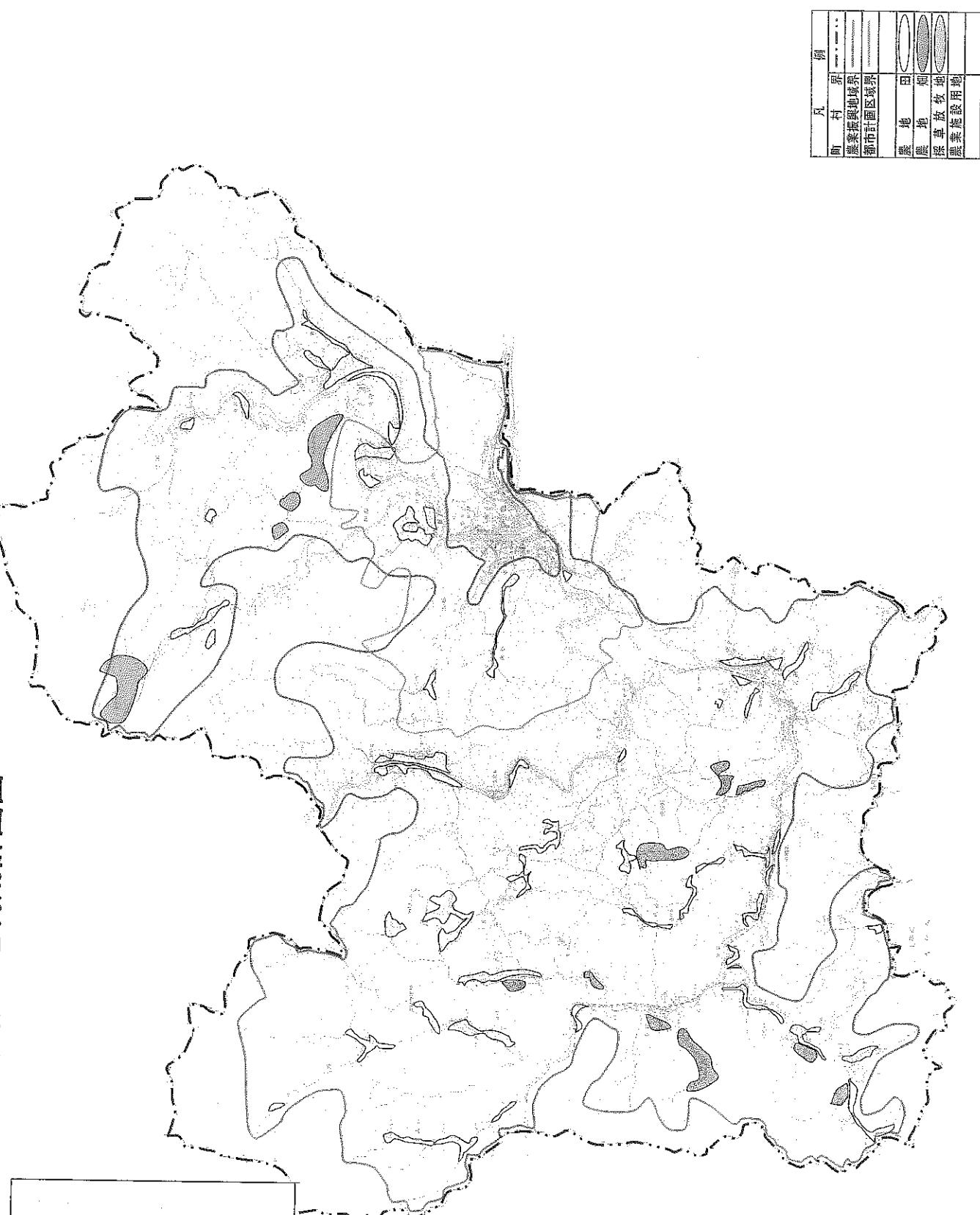
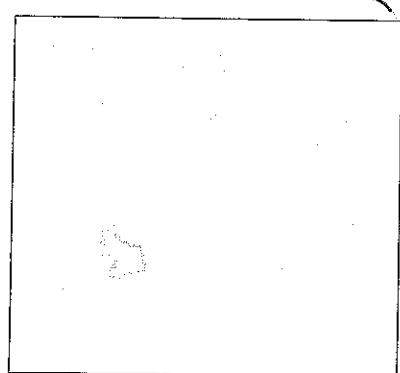
この地図は、沿岸部の地勢を示すと、開拓地の約5万haの1/10000000

測量図(平2年基盤)

を表したものである。

添付図3

勝山町農振土地利用計画図



附図1号 地利利用計画図  
湯原町

川上村

八束村

中瀬村

新田村  
新田村

糸吉村

西畠村  
部村

久曾町  
山町

山町

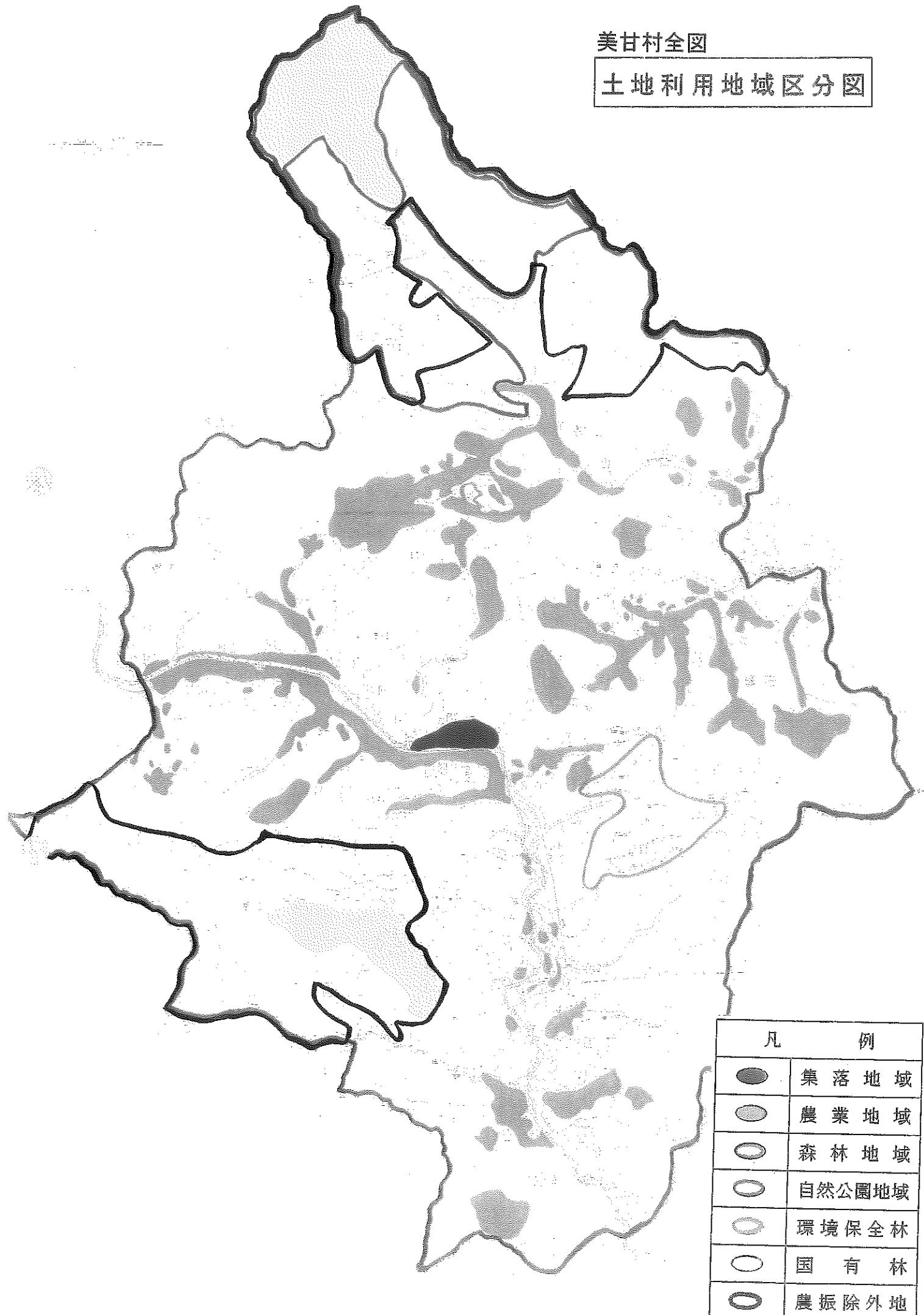


地区・区域番号		地名	
番号	地名	番号	地名
A-1	田	1	北
	河	2	南
	谷	3	東
	川	4	西
B-1	下	5	高
	高	6	原
C-1	社	7	川
	社	8	谷
D-1	水	9	田
	田	10	戸
B-1	東	11	河
	河	12	谷
B-2	西	13	高
	高	14	原
B-3	北	15	川
	川	16	谷
B-4	南	17	田
	田	18	戸
C-2	高	19	河
	原	20	谷
C-3	原	21	高
	谷	22	原
C-4	川	23	谷
	谷	24	田
D-2	高	25	戸
	原	26	河
D-3	原	27	谷
	谷	28	高
D-4	川	29	原
	谷	30	谷

地区・区域番号		地名	
番号	地名	番号	地名
A-2	伊	1	伊
	河	2	伊
	谷	3	伊
	川	4	伊
B-1	水	5	伊
	田	6	伊
C-1	伊	7	伊
	河	8	伊
C-2	伊	9	伊
	谷	10	伊
C-3	伊	11	伊
	谷	12	伊
C-4	伊	13	伊
	谷	14	伊
D-1	伊	15	伊
	谷	16	伊
D-2	伊	17	伊
	谷	18	伊
D-3	伊	19	伊
	谷	20	伊
D-4	伊	21	伊
	谷	22	伊
E-1	伊	23	伊
	谷	24	伊
E-2	伊	25	伊
	谷	26	伊
E-3	伊	27	伊
	谷	28	伊
E-4	伊	29	伊
	谷	30	伊

美甘村全図

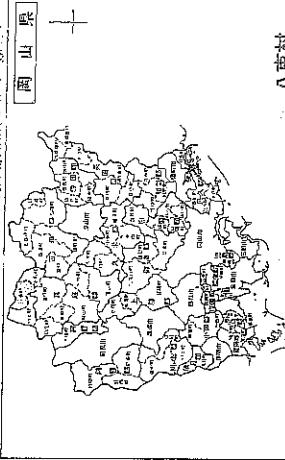
土地利用地域区分図





岡山県  
真庭郡  
八東村  
全圖

附圖1号  
土地利用計画圖



岡山県  
真庭郡  
八東村  
全圖

地区・区域名

A	中福田
B	掛田
C	富山根
D	下福田
E	上長田
F	下長田
G	下見

凡例

—	市町村界
農業振興地域界	
地 区 界	
農 地	
採 草 放 牧 地	
混 牧 地	
農業施設用地	

1:50,000

1:100,000

1:200,000

1:500,000

1:1,000,000

1:2,000,000

1:4,000,000

1:8,000,000

1:16,000,000

1:32,000,000

1:64,000,000

1:128,000,000

1:256,000,000

1:512,000,000

1:1,024,000,000

1:2,048,000,000

1:4,096,000,000

1:8,192,000,000

1:16,384,000,000

1:32,768,000,000

1:65,536,000,000

1:131,072,000,000

1:262,144,000,000

1:524,288,000,000

1:1,048,576,000,000

1:2,096,152,000,000

1:4,192,304,000,000

1:8,384,608,000,000

1:16,769,216,000,000

1:33,538,432,000,000

1:67,076,864,000,000

1:134,153,728,000,000

1:268,307,456,000,000

1:536,614,912,000,000

1:1,073,229,824,000,000

1:2,146,459,648,000,000

1:4,292,919,296,000,000

1:8,585,838,592,000,000

1:17,171,677,184,000,000

1:34,343,354,368,000,000

1:68,686,708,736,000,000

1:137,373,417,472,000,000

1:274,746,834,944,000,000

1:549,493,668,888,000,000

1:1,098,987,337,776,000,000

1:2,197,974,675,552,000,000

1:4,395,949,351,104,000,000

1:8,791,898,702,208,000,000

1:17,583,797,404,416,000,000

1:35,167,594,808,832,000,000

1:70,335,189,616,664,000,000

1:140,670,379,232,328,000,000

1:281,340,758,464,656,000,000

1:562,681,516,928,312,000,000

1:1,125,363,033,856,624,000,000

1:2,250,726,067,712,348,000,000

1:4,501,452,135,424,696,000,000

1:9,002,904,270,848,392,000,000

1:18,005,808,541,696,784,000,000

1:36,011,617,083,392,168,000,000

1:72,023,234,166,784,336,000,000

1:144,046,468,333,568,672,000,000

1:288,092,936,667,136,344,000,000

1:576,185,873,334,272,688,000,000

1:1,152,371,746,668,544,376,000,000

1:2,304,743,493,337,088,752,000,000

1:4,609,486,986,674,176,504,000,000

1:9,218,973,973,348,352,008,000,000

1:18,437,947,946,696,704,016,000,000

1:36,875,895,893,392,808,032,000,000

1:73,751,791,786,784,016,064,000,000

1:147,503,583,573,568,032,128,000,000

1:295,007,167,147,136,064,256,000,000

1:590,014,334,294,272,128,512,000,000

1:1,180,028,668,588,544,256,024,000,000

1:2,360,057,337,177,088,512,048,000,000

1:4,720,114,674,354,176,024,096,000,000

1:9,440,229,348,708,352,048,192,000,000

1:18,880,458,697,416,704,096,384,000,000

1:37,760,917,394,832,408,192,768,000,000

1:75,521,834,789,664,816,384,136,000,000

1:151,043,669,579,328,163,768,272,000,000

1:302,087,339,158,656,327,536,544,000,000

1:604,174,678,317,312,655,072,088,000,000

1:1,208,349,356,634,624,110,144,176,000,000

1:2,416,698,713,268,248,220,288,352,000,000

1:4,833,397,426,536,496,440,576,704,000,000

1:9,666,794,853,072,992,880,152,808,000,000

1:19,333,589,706,145,984,160,304,104,000,000

1:38,667,179,412,290,968,320,608,208,000,000

1:77,334,358,824,581,936,640,121,616,000,000

1:154,668,717,649,163,872,120,243,232,000,000

1:309,337,435,298,326,744,240,486,464,000,000

1:618,674,870,596,653,488,480,972,928,000,000

1:1,237,349,741,193,306,976,960,945,856,000,000

1:2,474,699,482,386,613,953,920,991,712,000,000

1:4,949,398,964,773,227,907,840,983,424,000,000

1:9,898,797,929,546,454,815,680,966,848,000,000

1:19,797,595,859,092,908,131,360,933,696,000,000

1:39,595,191,718,185,816,262,720,867,392,000,000

1:79,190,383,436,371,632,525,441,734,784,000,000

1:158,380,766,872,743,265,050,883,568,168,000,000

1:316,761,533,745,486,530,100,767,136,336,000,000

1:633,523,067,490,972,060,200,134,272,672,000,000

1:1,267,046,134,981,944,120,400,268,544,344,000,000

1:2,534,092,269,963,888,240,800,536,088,688,000,000

1:5,068,184,539,927,776,480,160,072,176,376,000,000

1:10,136,369,079,855,552,960,320,344,752,752,000,000

1:20,272,738,159,711,105,920,640,688,504,104,000,000

1:40,545,476,319,422,211,840,120,177,008,208,000,000

1:81,090,952,638,844,422,680,240,354,016,416,000,000

1:162,181,905,277,688,845,360,480,708,032,832,000,000

1:324,363,810,555,377,690,720,960,156,664,064,000,000

1:648,727,621,110,755,381,440,920,313,328,128,000,000

1:1,297,455,242,221,510,762,880,840,626,656,000,000

1:2,594,910,484,442,021,525,760,161,252,312,000,000

1:5,189,820,968,884,043,051,520,322,504,624,000,000

1:10,379,641,937,768,086,102,540,645,008,248,000,000

1:20,759,283,875,536,172,205,080,130,016,496,000,000

1:41,518,567,751,072,344,410,160,260,032,992,000,000

1:83,037,135,502,144,688,820,320,520,064,984,000,000

1:166,074,271,004,288,177,640,640,120,128,000,000

1:332,148,542,008,576,355,280,120,240,000,000,000

1:664,297,084,016,152,710,560,240,480,000,000,000

1:1,328,594,168,032,305,421,120,960,960,000,000,000

1:2,657,188,336,064,610,842,240,921,920,000,000,000

1:5,314,376,672,128,221,684,480,843,840,000,000,000

1:10,628,753,344,256,442,368,960,167,680,000,000,000

1:21,257,506,688,512,884,737,920,335,360,000,000,000

1:42,515,013,377,024,169,475,840,670,720,000,000,000

1:85,030,026,754,048,338,951,680,141,440,000,000,000

1:170,060,053,508,096,677,903,360,282,880,000,000,000

1:340,120,107,016,193,355,806,720,565,760,000,000,000

1:680,240,214,032,386,711,613,441,531,520,000,000,000

1:1,360,480,428,064,783,423,226,883,040,000,000,000

1:2,720,960,856,128,566,846,453,766,080,000,000,000

1:5,441,921,712,256,133,692,907,532,160,000,000,000

1:10,883,843,424,512,267,385,815,064,320,000,000,000

1:21,767,686,848,024,534,771,630,728,640,000,000,000

1:43,535,373,696,048,069,543,261,457,280,000,000,000

1:87,070,747,392,096,138,086,522,914,560,000,000,000

1:174,141,494,784,192,276,173,045,829,120,000,000,000

1:348,282,989,568,384,552,346,091,658,240,000,000,000

川上村全図  
附図1号 土地利用計画図

地区・地域名	
A	東才
B	鳥越
C	川上
D	湯船

凡例	
町村界	農業振興地域界
農業振興地域界	地区区界
地区区界	地区番号
A	農地
	草地
	農業用施設用地
	農用地区界

